

# 第2次島田市総合計画

笑顔あふれる 安心のまち 島田



# 第2次島田市総合計画

## 【目 次】

### ■ はじめに ■

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1 第2次島田市総合計画について .....   | 2  |
| 2 島田市をとりまく状況 .....       | 5  |
| 3 アンケート調査結果にみる市民意向 ..... | 16 |
| 4 まちづくりの課題認識 .....       | 20 |

### ■ 基本構想 ■

|                     |    |
|---------------------|----|
| 1 基本理念 .....        | 26 |
| 2 将来像 .....         | 27 |
| 3 土地利用の方向 .....     | 29 |
| 4 政策分野（施策の大綱） ..... | 31 |

### ■ 基本計画 ■

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 0 基本計画の前提 .....            | 38  |
| 1 分野別まちづくりの方向性 .....       | 40  |
| (1) 政策分野1【防災・福祉・健康】 .....  | 45  |
| (2) 政策分野2【子育て・教育】 .....    | 61  |
| (3) 政策分野3【経済・産業】 .....     | 77  |
| (4) 政策分野4【環境・自然】 .....     | 89  |
| (5) 政策分野5【歴史・文化・地域】 .....  | 103 |
| (6) 政策分野6【都市基盤】 .....      | 113 |
| (7) 政策分野7【行財政】 .....       | 125 |
| 2 重点的な取り組み .....           | 136 |
| 3 地域別まちづくりの方針 .....        | 138 |
| 4 計画の推進に向けて .....          | 152 |
| 5 前期基本計画を推進するための財政計画 ..... | 153 |





■ はじめに ■

# 1. 第2次島田市総合計画について

## (1) 策定の目的

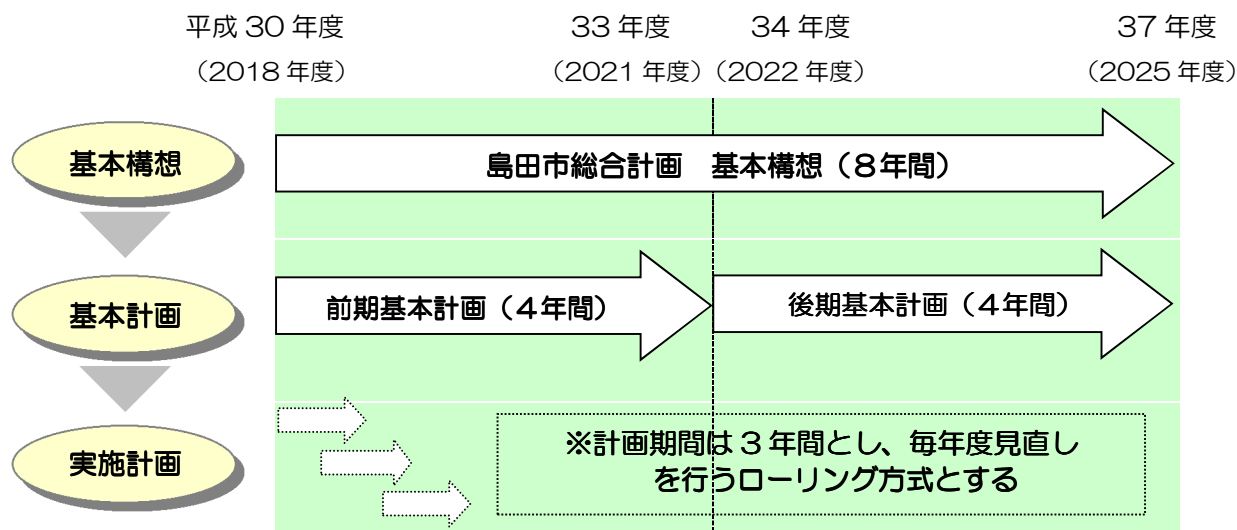
島田市では、平成20年の旧川根町との合併後、平成21年度から島田市・川根町まちづくり計画を引き継ぐ最初の総合計画（「(第1次)島田市総合計画」）に基づく市政運営をスタートさせ、市の将来像に定めた「人と産業・文化の交流拠点 水と緑の健康都市 島田」の実現に向けてまちづくりを進めてきました。

全国の地方都市では、わが国の人口が減少局面を迎え、896の自治体が行政機能を維持できず消滅するという可能性が指摘される中、少子高齢化対策や地方への若者の定住促進、交流人口の拡大などの取り組みが進められ、当市においても、平成27年度に「島田市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」を策定しました。

このような状況のもと、(第1次)島田市総合計画が、平成29年度をもって計画期間の満了を迎えることから、人口減少や不安定な社会経済情勢の中にあっても、真に豊かな生活を実現していくための指針となり、描くまちの姿とその実現のための新たな方策を位置づける「第2次島田市総合計画」（以下「総合計画」と記す。）を策定します。

## (2) 構成と期間

総合計画は、「基本構想」「基本計画」「実施計画」で構成し、期間を8年間とします。



### (3) 島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンとの関係

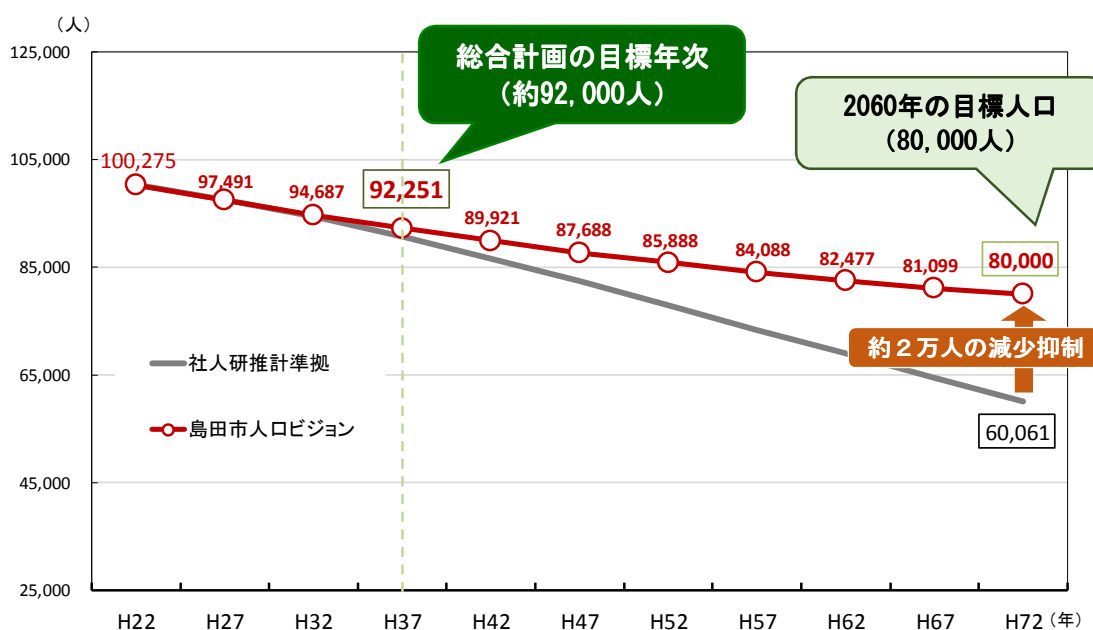
総合計画における将来指標として、基本となる人口・世帯数については、「島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」に示す人口の将来展望（2060年：80,000人）<sup>1</sup>を前提とするものとし、総合計画の目標年次である平成37年（2025年）時点の値を位置づけます。

目標年次 平成37年（2025年）における目標人口

**92,000 人**

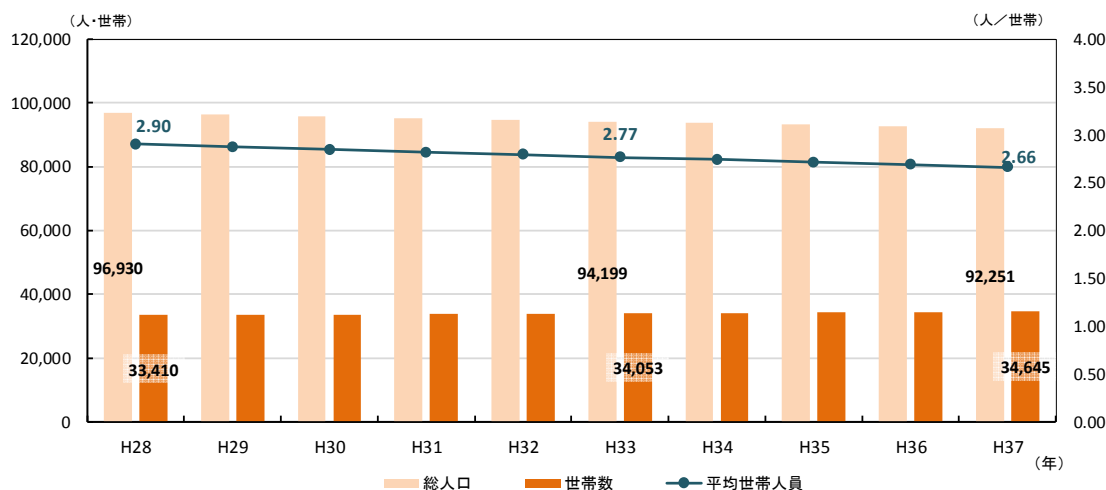
#### ■人口の将来展望と総合計画の目標年次人口

（島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン）



また、当該値をもとに、世帯数、平均世帯人員について算出すると、次のとおりとなります。

#### ■人口・世帯数の見込<sup>2</sup>



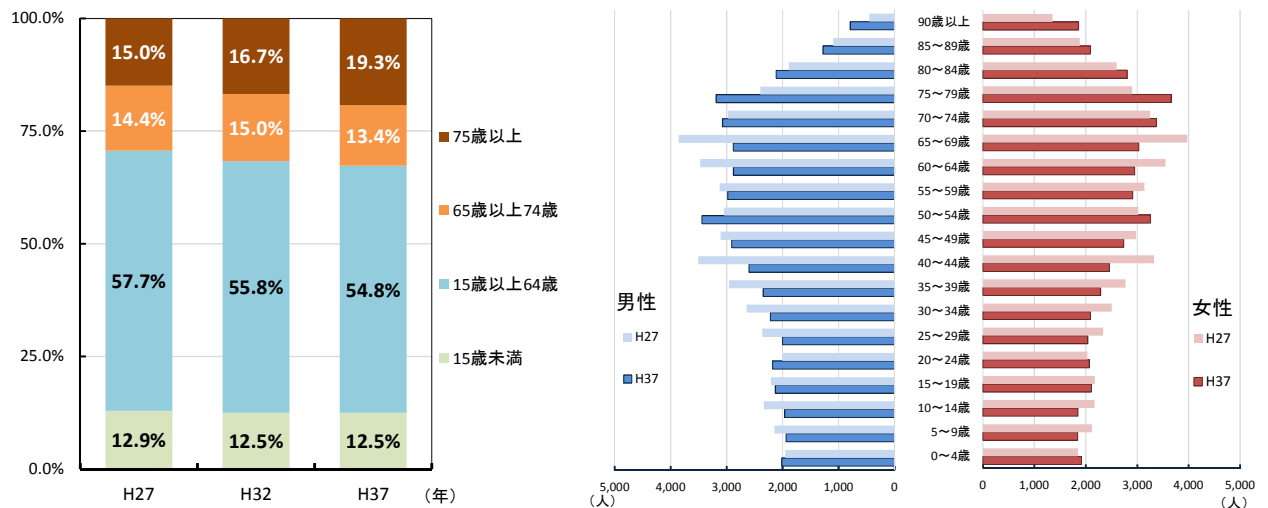
#### 用語解説

1 【人口の将来展望】国勢調査人口に基づく推計値

2 【人口・世帯数の見込】各年推計値：島田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン「人口の将来展望」から算出

将来推計人口をもとに、平成37年(2025年)の年齢別の人口をみると、15歳未満人口は11,520人(12.5%)、15～64歳人口は50,593人(54.8%)、65～74歳人口は12,358人(13.4%)、75歳以上人口は17,780人(19.3%)となり、特に75歳以上の後期高齢者人口が増加し、さらなる高齢化の進行が予想されます。

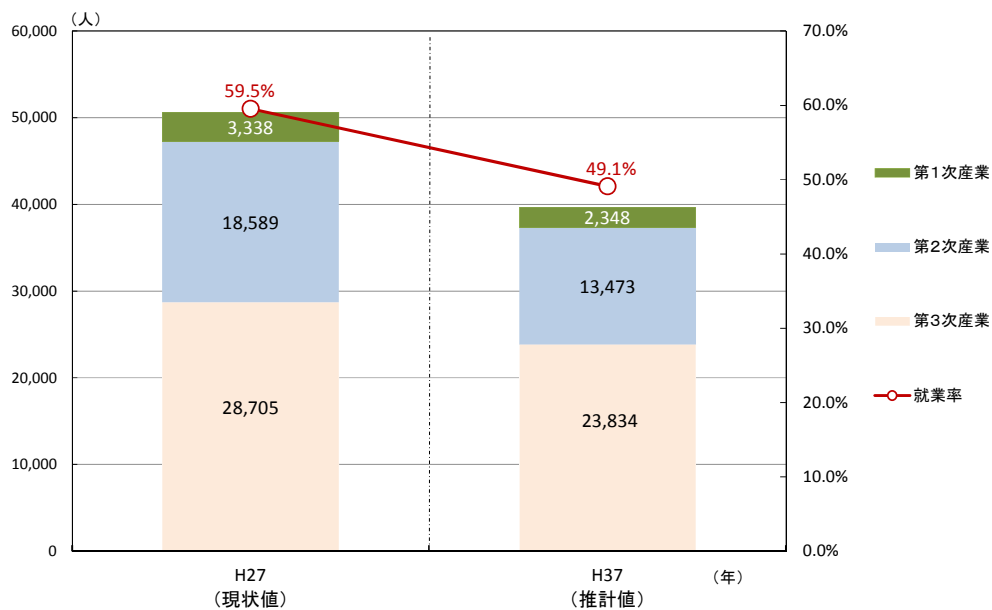
### ■年齢別人口構成の見込



人口の見通しに応じた就業人口については、平成37年(2025年)で約40,000人と見込まれます。

### ■将来就業人口の推計

※就業率(就業人口/15歳以上の市人口)



## 2. 島田市をとりまく状況

### (1) 時代の潮流

#### ① 人口減少・少子高齢化の進行

わが国の総人口は、平成20年の約1億2千8百万人をピークに減少に転じ、平成35年(2023年)には約1億2千万人になると見込まれています。また、少子高齢化は一層進行し、合計特殊出生率<sup>1</sup>は、昭和50年に2.0を下回ってからは低下傾向が続き、その後は増減を繰り返しています。一方、総人口に占める高齢者(65歳以上)の割合は、平成17年には2割程度でしたが、平成35年(2023年)には約3割まで上昇すると見込まれています。

こうした状況から、労働力の減少や地域活力の低下、社会保障費の増加など社会の様々な面での影響が懸念されます。

#### ② 安全・安心への思い

近年、わが国では、平成23年3月に発生した東日本大震災や、平成28年4月に発生した熊本地震、各地で発生している大規模な水害など、これまで経験したことのない大規模で激しい自然災害が発生する傾向にあります。

これらへの対応として防災・減災のほか、迅速な復旧・復興を実現するための平素からの取り組みが求められています。また、身近で発生する犯罪への不安から、日常生活の様々な面で安全・安心の確保が強く求められています。

さらに、住み慣れた地域で、誰もが自分らしく暮らせるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステム<sup>2</sup>の構築により、「健康長寿社会」を実現させていくことが求められています。

#### ③ 子育てや教育に対する関心の高まり

子どもの学力の低下やいじめ、不登校などへの対応が求められているほか、子どもの将来が生まれ育った環境に左右されることなく、すべての子どもたちが夢と希望を持って成長する社会を実現しなければなりません。

学校における教育環境の充実をさらに進めるとともに、地域における教育体制づくりや、子どもと親が共に成長していける社会、子育てに喜びや楽しみを持ち安心して子どもを産み育てることができる社会の形成が求められています。

#### ④ 価値観の多様化

家族や結婚、就労に関する価値観や生活様式、就労形態の多様化が進んでいます。

また、経済的な「ものの豊かさ」よりも精神的な「こころの豊かさ」を重んじる人が増えています。しかし、若い世代ほど、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに重きをおきたい」という志向があり、世代間格差が見られます。

こうしたことから、多様なニーズに応えられる柔軟性ときめ細やかさが、行政に求められています。

#### 用語解説

<sup>1</sup>【合計特殊出生率】15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、一人の女性が一生の間に生む子どもの数に相当する。

<sup>2</sup>【地域包括ケアシステム】高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスを提供する体制

## ⑤ 地域経済をとりまく状況変化

国内市場と国際市場の境目が無くなり、経済活動の拡大と自由化が進む中で、国際間・地域間の競争は一層激しさを増しています。

非正規雇用<sup>1</sup>や外国人労働力の活用など雇用形態の多様化が進んでいるほか、賃金格差の拡大や長時間労働なども社会問題となっています。

## ⑥ 地域の歴史、文化の再認識

21世紀は「こころの時代」とも言われ、地域の特徴、独自の伝統・文化が、地域への帰属意識や住民の連帯感を強めるキーワードとして注目されています。

一方、少子高齢化や人口減少によって、歴史・文化の継承が困難になりつつある地域が増えており、伝承者の確保や育成のあり方が課題となっています。

## ⑦ 環境問題の進行

温室効果ガスの増加傾向による地球温暖化<sup>2</sup>の影響は、年々顕在化しています。

国内でも、猛暑や各地で発生する集中豪雨などにより、深刻な被害が出ています。

こうした中、平成28年5月に「地球温暖化対策の推進に関する法律」が改正され、国際協力を通じた対策に加え、地域における対策の推進のために必要な措置を講じることが掲げられています。

## ⑧ 社会資本の老朽化

わが国全体で、高度経済成長期に多く整備された道路、橋りょう、公園、下水道などの社会資本が一斉にその更新時期を迎えつつあります。

国土交通省が平成25年に定めた「インフラ長寿命化基本計画」には、全国のあらゆる社会資本の安全性向上と効率的な維持管理を目指して、国や自治体がメンテナンスサイクル<sup>3</sup>を構築し、行動計画を策定していく必要性が掲げられ、早急な対応が求められています。

## ⑨ 情報通信技術（ICT）<sup>4</sup>の進展

情報処理や通信技術の進歩とともに、情報伝達の高速大容量化が目まぐるしい速さで進んでいます。これにより、時間や場所、距離にとらわれず、必要な情報をいつでもどこでも引き出せるようになるなど、私たちの生活に様々な利点をもたらしています。

これらの技術を結集したことで人工知能（AI）<sup>5</sup>が進化し、生活支援・産業などのロボット技術や自動車自動運転技術など様々な分野への応用が期待されています。

一方、情報通信技術の進展に伴い、高齢者など情報弱者への配慮や個人情報保護をはじめとするセキュリティの強化も、これまで以上に求められています。

### 用語解説

- 1【非正規雇用】期間を限定し、比較的短期間での契約を結ぶ雇用形態。臨時社員、派遣社員、契約社員、パートタイマー、アルバイトなどがこれにあたる。
- 2【地球温暖化】二酸化炭素やメタンなどといった「温室効果ガス」が大気中に大量に放出され、地球全体の平均気温が急激に上がる現象。地球規模で気温が上昇すると、海水の膨張や氷河などの融解により海面が上昇したり、気候メカニズムの変化により異常気象が頻発したりするおそれがあり、ひいては自然生態系や生活環境、農業などへの影響が懸念されている。
- 3【メンテナンスサイクル】社会資本の安全安心等を確保するため、点検・診断・措置・記録の業務サイクルを通じて予防的な保全を進める取り組み
- 4【情報通信技術（ICT）】Information and Communication Technology の略で、情報・通信に関する技術の総称
- 5【人工知能（AI）】Artificial Intelligence の略で、「学習」「認識・理解」「予測・推論」「計画・最適化」など、人間の知的活動をコンピュータによって実現するもの

## ⑩ 市民参画・協働意識の高まり

地方の財政が一層厳しさを増す中で、行政は多様化する市民ニーズすべてに応えていくことが困難になっていることから、市民自らが自主的、自発的に地域の課題を解決していくことが求められています。これを受け、自治会やNPO法人、市民団体の活動が活発になり、その内容も多岐にわたっています。

近年では都市部を中心に、インターネットを活用した情報発信、電子版会議の設置といった、ICTを活用した市民参画も導入され始めており、今後、地域単位のコミュニティに加え、個々の市民が関心のあるテーマごとに集い、活動するといった複層的なコミュニティが形成されることが期待されています。

## ⑪ 地方財政の逼迫

平成28年版地方財政白書（総務省）によると、地方債現在高<sup>6</sup>は昭和50年度末では歳入総額の0.44倍、一般財源総額の0.88倍でしたが、平成4年度末以降急増し、平成26年度末では歳入総額の1.43倍、一般財源総額の2.55倍となっています。

加えて、財政の弾力性を示す経常収支比率は、平成26年度に92.1%を示しています。前年度と比較し0.5ポイント上昇し、硬直化が進んでいる状況です。

要因として、人件費や公債費が占める割合が10年前と比較して低下している一方で、扶助費の占める割合が年々増えていることが挙げられます。

### 用語解説

6 【地方債現在高】地方公共団体の借入金

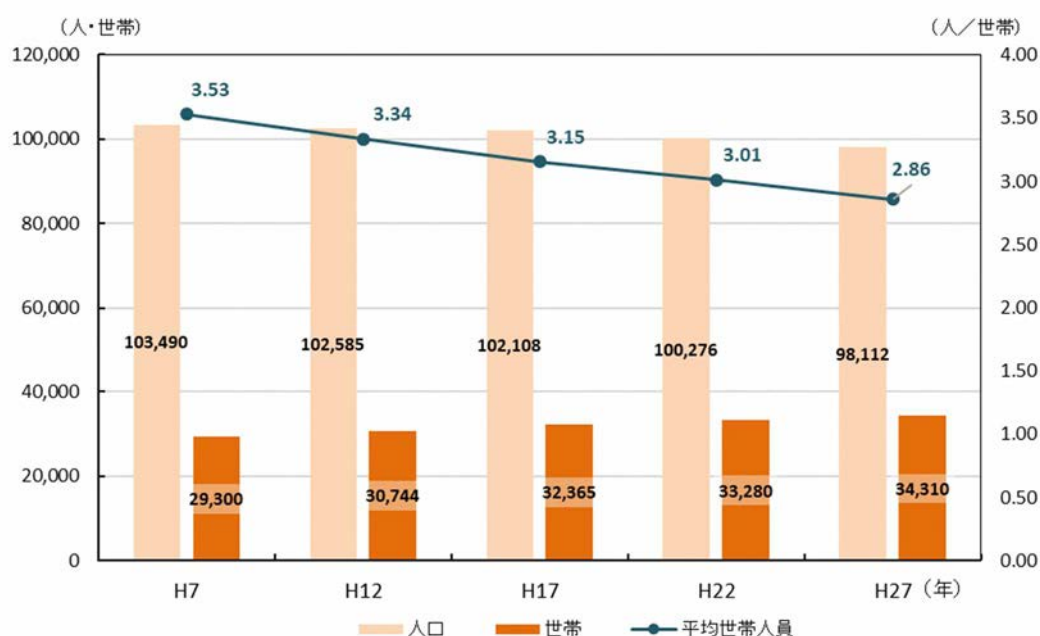
## (2) 島田市の概況

### ① 人口等の状況

総人口は平成7年の103,490人をピークに減少に転じています。日本の総人口のピークの平成20年や静岡県人口のピークの平成19年と比較して、10年ほど早く人口減少に転じています。

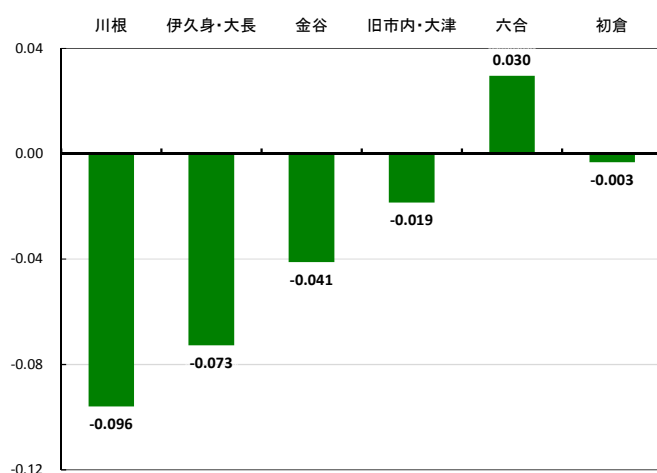
また、市内6地域別に平成24年と平成28年の地域別人口増減比をみると、六合地域では増加傾向にあります。山間部である川根地域や伊久身・大長地域では、人口減少の比率が大きくなっています。なお、地域別人口の構成比では、旧市内・大津地域が全体の4割以上を占めています。

### ■人口の推移(全市)

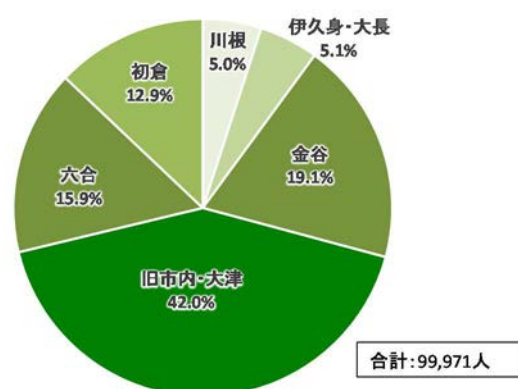


資料：総務省「国勢調査」（各年10月1日現在）

### ■地域別人口増減比（平成28年／平成24年）



### ■地域別人口構成比(平成28年)



資料：市民課「島田市の人口・世帯」（各年12月31日現在）

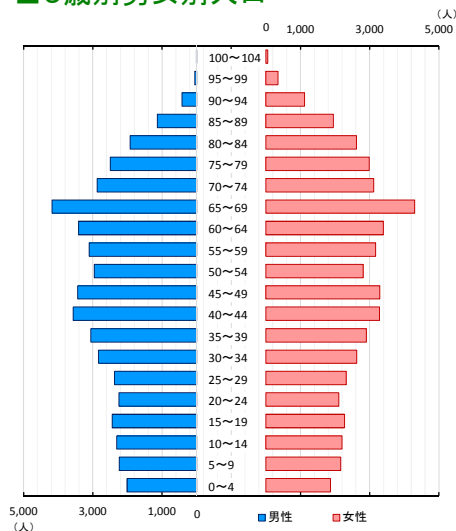


「5歳別男女別人口」が示すとおり少子高齢化が進み、自然動態が減少傾向を示しています。特に0～29歳の若い世代の人口が少なくなっていることがその要因に挙げられます。また、社会動態においては差は縮まりつつありますが、依然として転出者数が転入者数を上回っています。

主要な人口指標について静岡県内23市で比較すると、「高齢化率（65歳以上人口÷人口総数）」は23市中6番目、「平均世帯人員数」は4番目となっています。

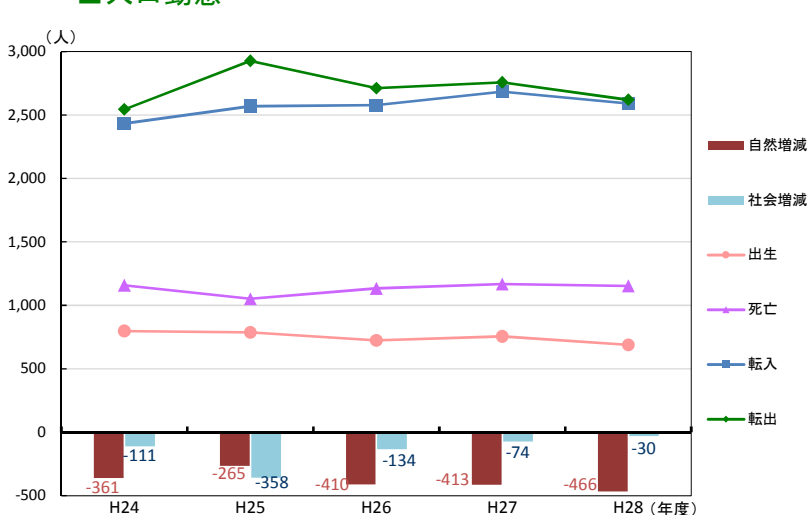
一方、一般世帯に占める単独世帯の割合は、23市の中で最も低くなっています。

### ■5歳別男女別人口



資料：市民課「島田市の人口・世帯」  
(平成28年12月31日現在)

### ■人口動態



資料：総務課「島田市統計書」(平成28年度)

### ■人口・世帯に関するポジショニング

|       | 人口総数(人)   | 65歳以上人口(人) |       |    | 平均世帯人員<br>(人口総数÷一般世帯) |    | 単独世帯数(世帯) |            |    |
|-------|-----------|------------|-------|----|-----------------------|----|-----------|------------|----|
| 調査年   | H27       | H27        |       |    | H27                   |    | H27       |            |    |
| 県・市名  | 実数        | 実数         | 高齢化率  | 順位 | 実数                    | 順位 | 実数        | 一般世帯に占める割合 | 順位 |
| 静岡県   | 3,700,305 | 1,021,283  | 27.6% |    | 2.6                   |    | 407,224   | 28.5%      |    |
| 静岡市   | 704,989   | 200,229    | 28.4% | 9  | 2.5                   | 18 | 89,061    | 31.2%      | 6  |
| 浜松市   | 797,980   | 208,355    | 26.1% | 16 | 2.6                   | 15 | 91,670    | 29.7%      | 8  |
| 沼津市   | 195,633   | 57,076     | 29.2% | 7  | 2.4                   | 19 | 25,730    | 31.9%      | 7  |
| 熱海市   | 37,544    | 16,742     | 44.6% | 1  | 2.0                   | 23 | 8,686     | 46.2%      | 1  |
| 三島市   | 110,046   | 29,366     | 26.7% | 14 | 2.4                   | 20 | 14,059    | 31.1%      | 5  |
| 富士宮市  | 130,770   | 34,921     | 26.7% | 13 | 2.7                   | 11 | 12,482    | 25.5%      | 18 |
| 伊東市   | 68,345    | 26,762     | 39.2% | 2  | 2.2                   | 21 | 10,218    | 33.6%      | 4  |
| 島田市   | 98,112    | 28,840     | 29.4% | 6  | 2.9                   | 4  | 7,252     | 21.2%      | 23 |
| 富士市   | 248,399   | 64,166     | 25.8% | 17 | 2.7                   | 12 | 22,848    | 24.7%      | 16 |
| 磐田市   | 167,210   | 43,711     | 26.1% | 15 | 2.7                   | 9  | 15,782    | 25.8%      | 15 |
| 焼津市   | 139,462   | 38,648     | 27.7% | 10 | 2.8                   | 6  | 11,976    | 23.7%      | 20 |
| 掛川市   | 114,602   | 29,096     | 25.4% | 18 | 2.8                   | 5  | 10,170    | 24.8%      | 17 |
| 藤枝市   | 143,605   | 39,753     | 27.7% | 11 | 2.7                   | 7  | 11,401    | 21.8%      | 21 |
| 御殿場市  | 88,078    | 20,244     | 23.0% | 22 | 2.8                   | 10 | 8,568     | 27.2%      | 10 |
| 袋井市   | 85,789    | 18,997     | 22.1% | 23 | 2.7                   | 8  | 8,654     | 27.5%      | 12 |
| 下田市   | 22,916    | 8,848      | 38.6% | 3  | 2.2                   | 22 | 3,724     | 35.9%      | 2  |
| 裾野市   | 52,737    | 12,384     | 23.5% | 21 | 2.5                   | 17 | 6,395     | 30.8%      | 3  |
| 湖西市   | 59,789    | 15,079     | 25.2% | 19 | 2.7                   | 13 | 6,377     | 28.3%      | 11 |
| 伊豆市   | 31,317    | 11,752     | 37.5% | 4  | 2.6                   | 14 | 3,336     | 27.5%      | 13 |
| 御前崎市  | 32,578    | 8,767      | 26.9% | 12 | 2.9                   | 3  | 2,965     | 26.2%      | 14 |
| 菊川市   | 46,763    | 11,682     | 25.0% | 20 | 2.9                   | 2  | 3,834     | 23.9%      | 19 |
| 伊豆の国市 | 48,152    | 14,788     | 30.7% | 5  | 2.6                   | 16 | 5,165     | 27.7%      | 9  |
| 牧之原市  | 45,547    | 13,137     | 28.8% | 8  | 3.0                   | 1  | 3,396     | 22.1%      | 22 |

資料：総務省「国勢調査」(平成27年10月1日現在)

## ② 健康・子育て環境の状況

市立島田市民病院が大井川流域における医療の中核的役割を担う中で、静岡県内23市の状況を比較すると、当市は人口総数1万人あたりの一般病院数が23市中で最も少なく、一般診療所数については、23市中14番目となっています。

0～5歳人口1千人あたりの保育所等件数は、23市中10番目と中位にあります。

また、保育所入所待機児童数は23市中5番目と、比較的上位に位置しています。

### ■健康・子育て環境のポジショニング

|       | 人口総数（人）   | 0～5歳人口（人） | 一般病院数（件） |               |    | 一般診療所数（件） |               |    | 保育所等の数（件） |                 |    | 保育所入所待機児童数（人） |    |
|-------|-----------|-----------|----------|---------------|----|-----------|---------------|----|-----------|-----------------|----|---------------|----|
| 調査年   | H27       | H27       | H28      |               |    | H28       |               |    | H28       |                 |    | H28           |    |
| 県・市名  | 実数        | 実数        | 実数       | 人口総数1万人あたりの件数 | 順位 | 実数        | 人口総数1万人あたりの件数 | 順位 | 実数        | 0～5歳人口1千人あたりの件数 | 順位 | 実数            | 順位 |
| 静岡県   | 3,700,305 | 178,484   | 150      | 0.4           |    | 2,711     | 7.3           |    | 348       | 1.9             |    | 449           |    |
| 静岡市   | 704,989   | 32,040    | 24       | 0.3           | 12 | 541       | 7.7           | 9  | 136       | 4.2             | 6  | 46            | 2  |
| 浜松市   | 797,980   | 40,803    | 28       | 0.4           | 11 | 648       | 8.1           | 6  | 105       | 2.6             | 21 | 214           | 1  |
| 沼津市   | 195,633   | 7,867     | 8        | 0.4           | 8  | 153       | 7.8           | 8  | 32        | 4.1             | 7  | 17            | 7  |
| 熱海市   | 37,544    | 923       | 5        | 1.3           | 2  | 35        | 9.3           | 3  | 6         | 6.5             | 2  | 1             | 11 |
| 三島市   | 110,046   | 5,263     | 5        | 0.5           | 5  | 91        | 8.3           | 5  | 18        | 3.4             | 13 | 14            | 9  |
| 富士宮市  | 130,770   | 6,406     | 3        | 0.2           | 19 | 178       | 13.6          | 1  | 22        | 3.4             | 12 | 0             | 13 |
| 伊東市   | 68,345    | 2,304     | 3        | 0.4           | 6  | 57        | 8.3           | 4  | 10        | 4.3             | 5  | 33            | 3  |
| 島田市   | 98,112    | 4,738     | 1        | 0.1           | 23 | 66        | 6.7           | 14 | 17        | 3.6             | 10 | 24            | 5  |
| 富士市   | 248,399   | 12,001    | 5        | 0.2           | 22 | 89        | 3.6           | 23 | 42        | 3.5             | 11 | 24            | 5  |
| 磐田市   | 167,210   | 8,650     | 6        | 0.4           | 10 | 116       | 6.9           | 12 | 24        | 2.8             | 17 | 0             | 13 |
| 焼津市   | 139,462   | 6,684     | 4        | 0.3           | 15 | 81        | 5.8           | 19 | 13        | 1.9             | 23 | 15            | 8  |
| 掛川市   | 114,602   | 6,213     | 3        | 0.3           | 17 | 80        | 7.0           | 10 | 16        | 2.6             | 20 | 0             | 13 |
| 藤枝市   | 143,605   | 7,415     | 4        | 0.3           | 16 | 100       | 7.0           | 11 | 16        | 2.2             | 22 | 5             | 10 |
| 御殿場市  | 88,078    | 4,928     | 8        | 0.9           | 3  | 46        | 5.2           | 21 | 18        | 3.7             | 9  | 0             | 13 |
| 袋井市   | 85,789    | 5,169     | 2        | 0.2           | 18 | 56        | 6.5           | 15 | 14        | 2.7             | 18 | 25            | 4  |
| 下田市   | 22,916    | 759       | 2        | 0.9           | 4  | 25        | 10.9          | 2  | 4         | 5.3             | 4  | 0             | 13 |
| 裾野市   | 52,737    | 3,137     | 2        | 0.4           | 9  | 34        | 6.4           | 16 | 9         | 2.9             | 16 | 0             | 13 |
| 湖西市   | 59,789    | 2,965     | 2        | 0.3           | 13 | 41        | 6.9           | 13 | 8         | 2.7             | 19 | 0             | 13 |
| 伊豆市   | 31,317    | 933       | 5        | 1.6           | 1  | 17        | 5.4           | 20 | 8         | 8.6             | 1  | 0             | 13 |
| 御前崎市  | 32,578    | 1,533     | 1        | 0.3           | 14 | 17        | 5.2           | 22 | 5         | 3.3             | 15 | 0             | 13 |
| 菊川市   | 46,763    | 2,616     | 1        | 0.2           | 21 | 29        | 6.2           | 18 | 10        | 3.8             | 8  | 1             | 11 |
| 伊豆の国市 | 48,152    | 2,101     | 2        | 0.4           | 7  | 30        | 6.2           | 17 | 7         | 3.3             | 14 | 0             | 13 |
| 牧之原市  | 45,547    | 2,100     | 1        | 0.2           | 20 | 36        | 7.9           | 7  | 12        | 5.7             | 3  | 0             | 13 |

資料：人口総数、0～5歳人口・・・総務省「国勢調査」（平成27年10月1日現在）

一般病院数、一般診療所数、保育所等の数・・・厚生労働省「平成28年（2016）医療施設（動態）調査」

保育所入所待機児童数・・・静岡県「保育所等利用待機児童数の詳細について」（平成28年4月1日現在）

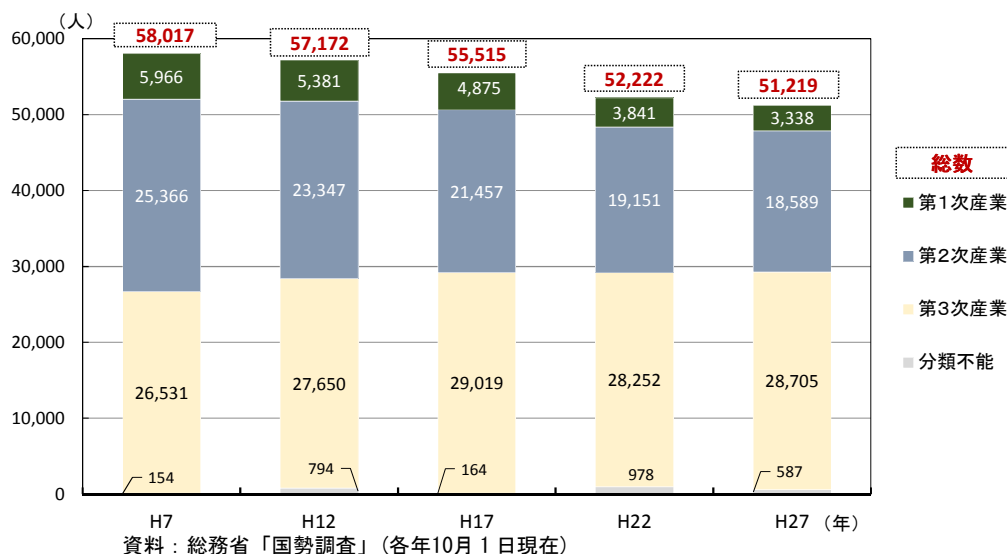
※「保育所等」は、保育所、幼保連携型認定こども園、保育所型認定こども園

### ③ 産業等の状況

産業別就業者数については、全体の就業者数は平成7年以降減少傾向にあり、特に第1次産業は20年間で4割以上減少しています。

また、当市における事業所数と従業者数の状況を静岡県内23市で比較すると、第2次産業事業所数が事業所総数に占める割合は23市中5番目と上位にあります。一方で、第3次産業事業所数が総事業所数に占める割合は23市中17番目となっています。

■産業別就業者の推移



■事業所数・従業者数に関するポジショニング

|       | 事業所総数   | 第2次産業事業所数 |                 |    | 第3次産業事業所数 |                 |    | 従業者<br>総数(人) | 第2次産業従業者数(人) |                 |    |           | 第3次産業従業者数(人)    |    |  |
|-------|---------|-----------|-----------------|----|-----------|-----------------|----|--------------|--------------|-----------------|----|-----------|-----------------|----|--|
| 調査年   | H26     | H26       |                 |    | H26       |                 |    | H26          | H26          |                 |    |           | H26             |    |  |
| 県・市名  | 実数      | 実数        | 事業所総数に<br>占める割合 | 順位 | 実数        | 事業所総数に<br>占める割合 | 順位 | 実数           | 実数           | 従業者総数に<br>占める割合 | 順位 | 実数        | 従業者総数に<br>占める割合 | 順位 |  |
| 静岡県   | 182,631 | 39,450    | 21.6%           |    | 142,426   | 78.0%           |    | 1,857,811    | 562,768      | 30.3%           |    | 1,286,203 | 69.2%           |    |  |
| 静岡市   | 37,081  | 7,134     | 19.2%           | 17 | 29,877    | 80.6%           | 6  | 372,917      | 80,537       | 21.6%           | 19 | 291,758   | 78.2%           | 5  |  |
| 浜松市   | 37,660  | 8,389     | 22.3%           | 14 | 29,094    | 77.3%           | 11 | 394,381      | 112,665      | 28.6%           | 14 | 279,586   | 70.9%           | 10 |  |
| 沼津市   | 11,046  | 2,178     | 19.7%           | 16 | 8,837     | 80.0%           | 8  | 111,759      | 29,855       | 26.7%           | 15 | 81,436    | 72.9%           | 9  |  |
| 熱海市   | 2,928   | 360       | 12.3%           | 22 | 2,560     | 87.4%           | 2  | 21,537       | 1,712        | 7.9%            | 23 | 19,745    | 91.7%           | 1  |  |
| 三島市   | 5,530   | 867       | 15.7%           | 20 | 4,649     | 84.1%           | 4  | 48,493       | 10,701       | 22.1%           | 18 | 37,721    | 77.8%           | 6  |  |
| 富士宮市  | 5,837   | 1,404     | 24.1%           | 9  | 4,378     | 75.0%           | 15 | 58,314       | 23,650       | 40.6%           | 5  | 33,963    | 58.2%           | 19 |  |
| 伊東市   | 4,596   | 621       | 13.5%           | 21 | 3,960     | 86.2%           | 3  | 30,113       | 3,143        | 10.4%           | 21 | 26,876    | 89.3%           | 3  |  |
| 島田市   | 4,571   | 1,201     | 26.3%           | 5  | 3,358     | 73.5%           | 17 | 41,816       | 15,132       | 36.2%           | 10 | 26,504    | 63.4%           | 14 |  |
| 富士市   | 12,532  | 2,820     | 22.5%           | 12 | 9,689     | 77.3%           | 10 | 127,542      | 43,317       | 34.0%           | 12 | 84,002    | 65.9%           | 12 |  |
| 磐田市   | 7,000   | 1,885     | 26.9%           | 4  | 5,088     | 72.7%           | 20 | 88,797       | 41,388       | 46.6%           | 3  | 47,173    | 53.1%           | 21 |  |
| 焼津市   | 6,597   | 1,720     | 26.1%           | 6  | 4,838     | 73.3%           | 18 | 64,179       | 21,848       | 34.0%           | 11 | 41,349    | 64.4%           | 13 |  |
| 掛川市   | 5,023   | 1,244     | 24.8%           | 8  | 3,758     | 74.8%           | 16 | 59,458       | 24,033       | 40.4%           | 6  | 35,188    | 59.2%           | 18 |  |
| 藤枝市   | 6,236   | 1,391     | 22.3%           | 13 | 4,827     | 77.4%           | 9  | 60,759       | 18,352       | 30.2%           | 13 | 42,160    | 69.4%           | 11 |  |
| 御殿場市  | 3,864   | 647       | 16.7%           | 19 | 3,200     | 82.8%           | 5  | 46,487       | 11,881       | 25.6%           | 17 | 34,510    | 74.2%           | 7  |  |
| 袋井市   | 3,569   | 842       | 23.6%           | 10 | 2,714     | 76.0%           | 13 | 40,296       | 16,008       | 39.7%           | 7  | 24,183    | 60.0%           | 17 |  |
| 下田市   | 2,117   | 221       | 10.4%           | 23 | 1,883     | 88.9%           | 1  | 12,569       | 1,138        | 9.1%            | 22 | 11,247    | 89.5%           | 2  |  |
| 裾野市   | 1,980   | 462       | 23.3%           | 11 | 1,499     | 75.7%           | 14 | 31,495       | 11,845       | 37.6%           | 8  | 19,483    | 61.9%           | 15 |  |
| 湖西市   | 2,415   | 627       | 26.0%           | 7  | 1,761     | 72.9%           | 19 | 37,385       | 23,708       | 63.4%           | 1  | 13,478    | 36.1%           | 23 |  |
| 伊豆市   | 1,876   | 403       | 21.5%           | 15 | 1,447     | 77.1%           | 12 | 14,416       | 2,488        | 17.3%           | 20 | 11,646    | 80.8%           | 4  |  |
| 御前崎市  | 1,684   | 529       | 31.4%           | 2  | 1,133     | 67.3%           | 22 | 16,212       | 6,006        | 37.0%           | 9  | 9,975     | 61.5%           | 16 |  |
| 菊川市   | 1,884   | 518       | 27.5%           | 3  | 1,349     | 71.6%           | 21 | 20,173       | 8,574        | 42.5%           | 4  | 11,150    | 55.3%           | 20 |  |
| 伊豆の国市 | 2,493   | 479       | 19.2%           | 18 | 2,003     | 80.3%           | 7  | 20,679       | 5,346        | 25.9%           | 16 | 15,209    | 73.5%           | 8  |  |
| 牧之原市  | 2,651   | 862       | 32.5%           | 1  | 1,778     | 67.1%           | 23 | 26,896       | 12,841       | 47.7%           | 2  | 13,966    | 51.9%           | 22 |  |

資料：総務省「平成26年（2014）経済センサス-基礎調査結果」

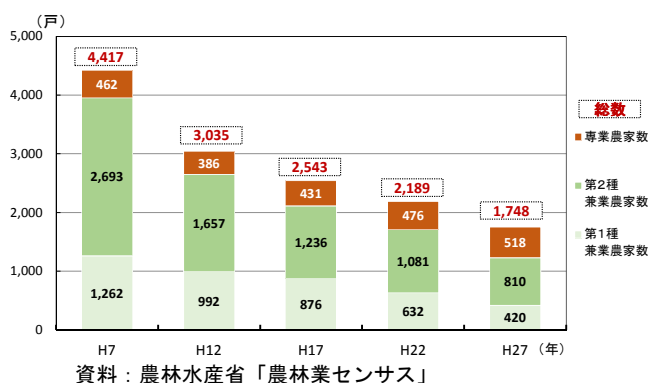
農業の状況については、農家数は専業農家数の増加が見られるものの、全体としては年々減少傾向にあり、現在は20年前の2分の1以下になっています。

工業の状況については、製造品出荷額等は減少傾向にあるものの、1事業者あたり及び1従業員あたりの製造品出荷額等は10年前に比べて増加しています。

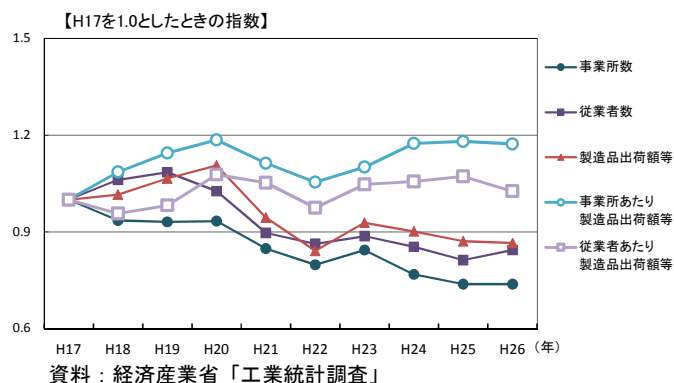
商業の状況については工業と同様、1事業者あたり及び1従業員あたりの年間販売額が増加しています。特に卸売業は、15年前に比べて1.5倍程度の増加が見られます。

観光の状況については、観光レクリエーション客数が平成28年度には前年度から約46万人増と大きく増加し、周辺市町（焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町）の中でも比較的上位にあります。宿泊客数は平成24年度から平成27年度までは増加が続いていましたが、平成28年度には減少に転じています。

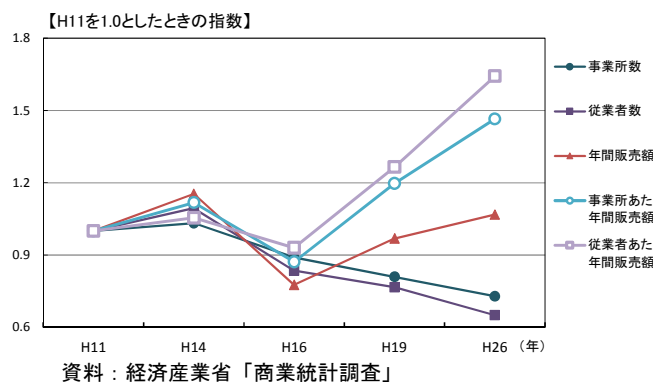
### ■農業の状況



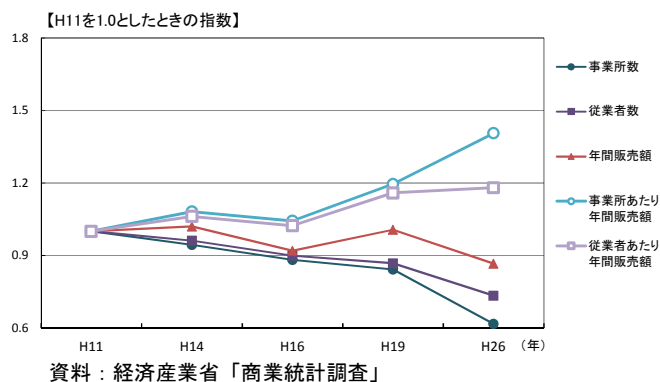
### ■工業の状況



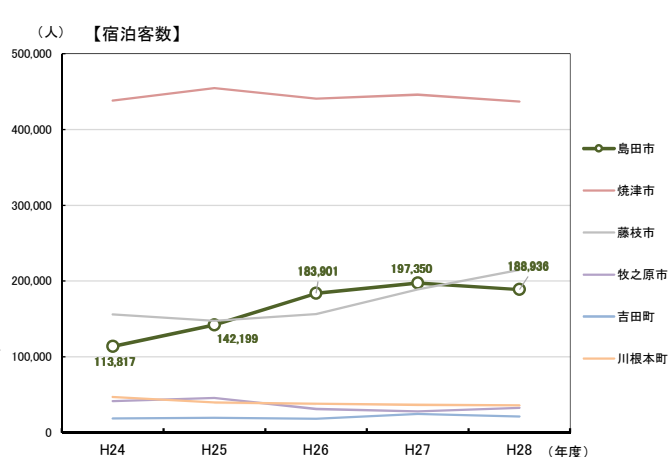
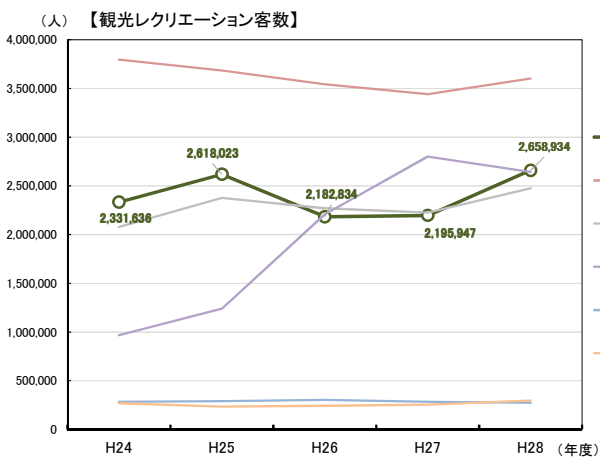
### ■商業の状況（卸売業）



### ■商業の状況（小売業）



### ■観光の状況



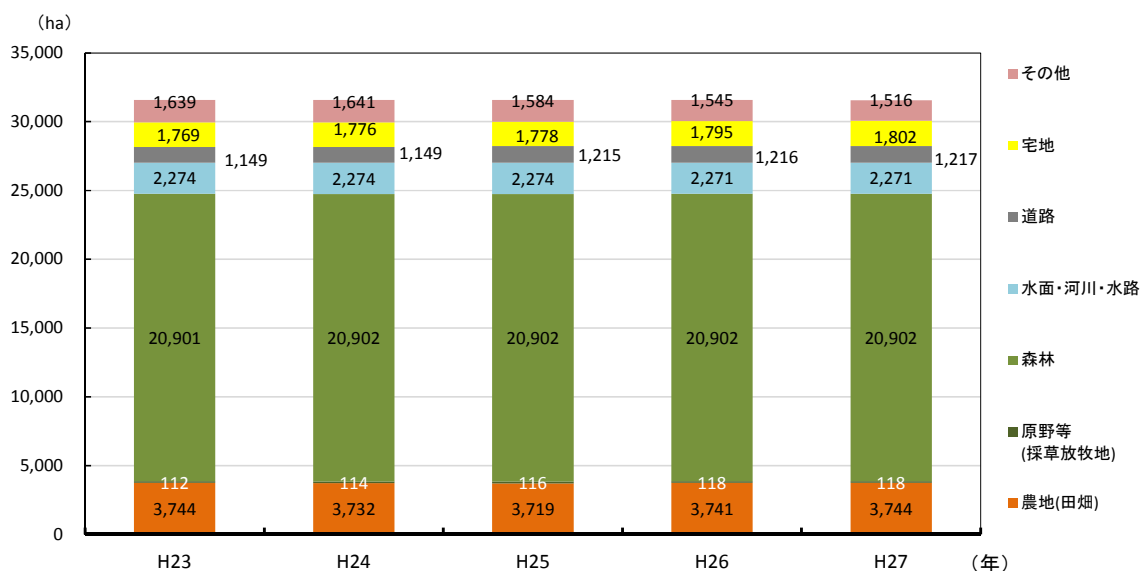
資料：静岡県観光政策課「静岡県観光交流の動向」（平成28年度）

## ④ 土地利用・開発等の状況

### 1) 土地利用の状況

市域の約8割が森林や農地などの自然的土地利用で占められています。各地目の動向は概ね横ばいながら、宅地については若干の増加が見られます。

#### ■国土利用別面積の推移



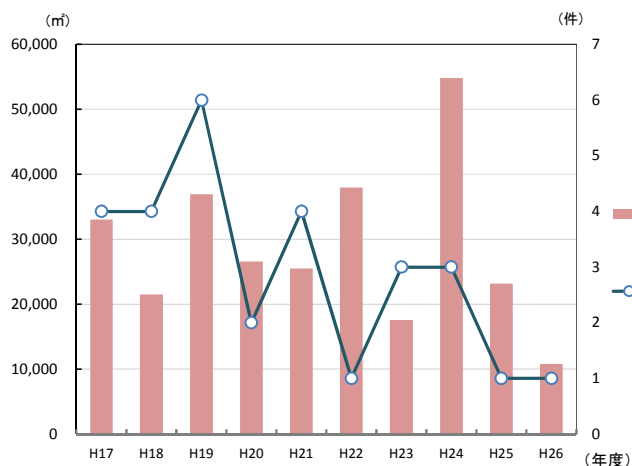
資料：国土利用計画島田市計画（平成29年度）策定時のデータ

### 2) 市街地開発等の状況

開発行為の許可状況についてみると、近年の件数は10件未満の範囲で、増減を繰り返しており、面積は平成24年度を除いて、増減はありつつも縮小傾向がみられます。

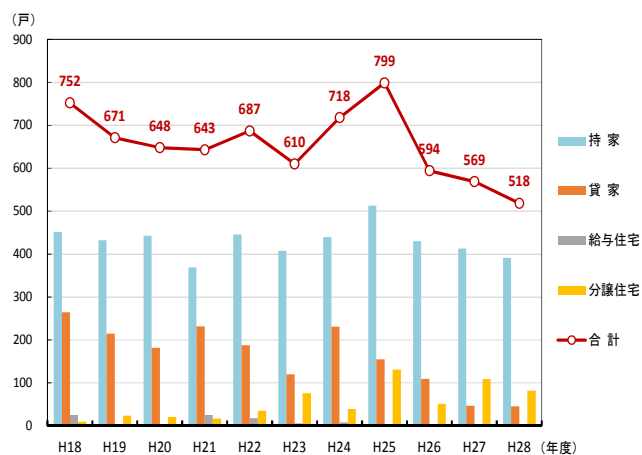
新設住宅戸数は、平成19年度以降600～700戸台で推移していましたが、平成26年度にはじめて600戸を割り込み、その後も減少が続いています。

#### ■開発行為の許可件数及び面積の推移



資料：都市政策課「島田市都市計画のあらまし」

#### ■所有関係別新設住宅戸数の推移



資料：静岡県「静岡県住宅行政概要等（住宅着工統計）」

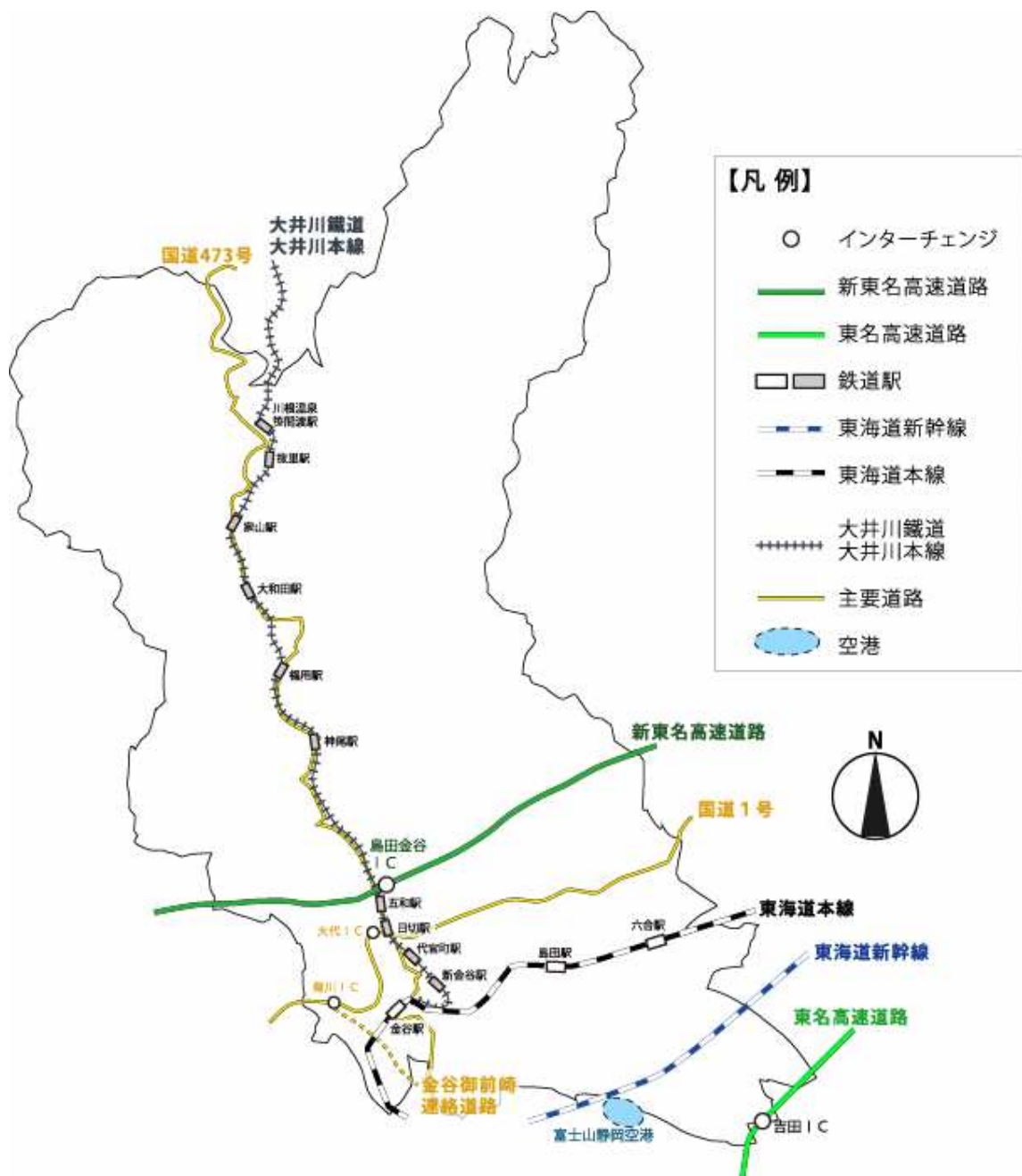
### 3) 交通基盤等の状況

広域交通網は市域の南半分に集中し、東名高速道路や新東名高速道路、東海道本線・新幹線など、首都圏と中京圏をつなぐ交通の要衝となっています。

市域を東西に横断する国道1号では、4車線化に向けた事業が進められているほか、御前崎港と国道1号菊川インターチェンジを結ぶ「金谷御前崎連絡道路」の整備も進められています。

一方、南北に目を向けると大井川鐵道大井川本線が通り、奥大井への玄関口として観光客をはじめ多くの人を迎えています。

市域の南端には富士山静岡空港があり、国内線・国際線とも就航しています。島田駅と直通バスでつながるとともに、2,000台の無料駐車場が整備されるなど、高いアクセス性を有しています。



資料：都市政策課「島田市都市マスタープラン」

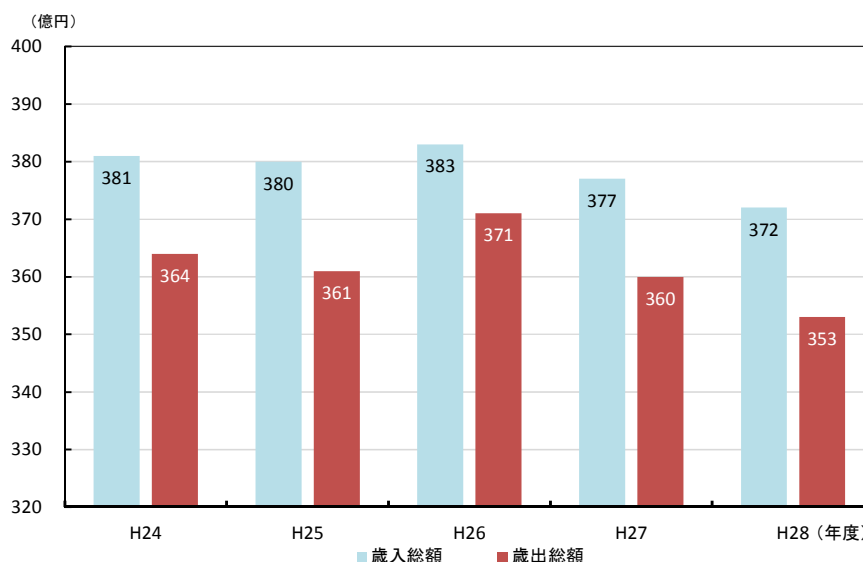
国土交通省「国土地理院 地理院地図」

## ⑤ 市財政の状況

歳入総額、歳出総額は平成28年度でそれぞれ372億円、353億円となっています。

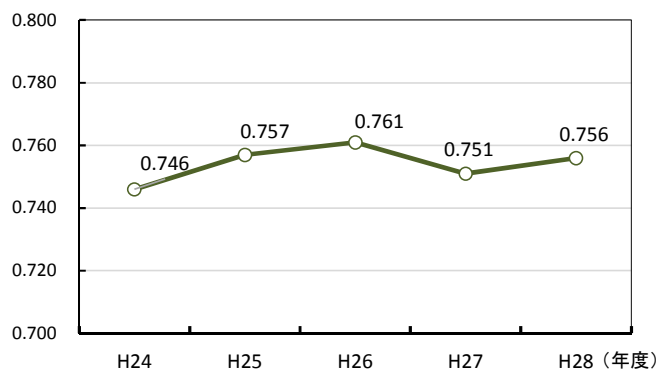
主たる財政指標の状況についてみると、低下傾向にあった財政力指数<sup>1</sup>は、平成24年度～28年度では概ね0.75前後で推移しています。実質公債費比率<sup>2</sup>は平成28年度で7.8%となり、将来負担比率<sup>3</sup>も平成28年度には算定されておらず、いずれも改善傾向にあります。

### ■ 歳入歳出総額の推移

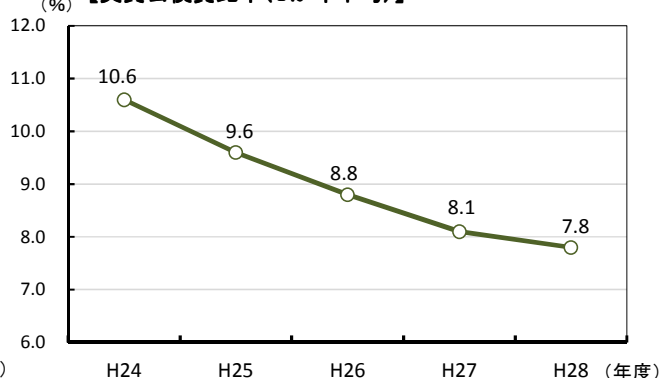


### ■ 主な財政指標の状況

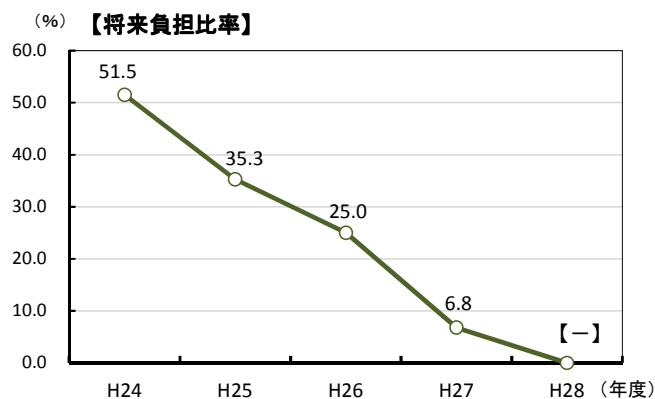
#### 【財政力指数の推移(単年度)】



#### 【実質公債費比率(3か年平均)】



#### 【将来負担比率】



### 用語解説

- 1 【財政力指数】 地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があるといえる。
- 2 【実質公債費比率】 地方公共団体の借入金の返済額の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示したもの
- 3 【将来負担比率】 地方公共団体が抱える負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示したもの



### 3. アンケート調査結果にみる市民意向

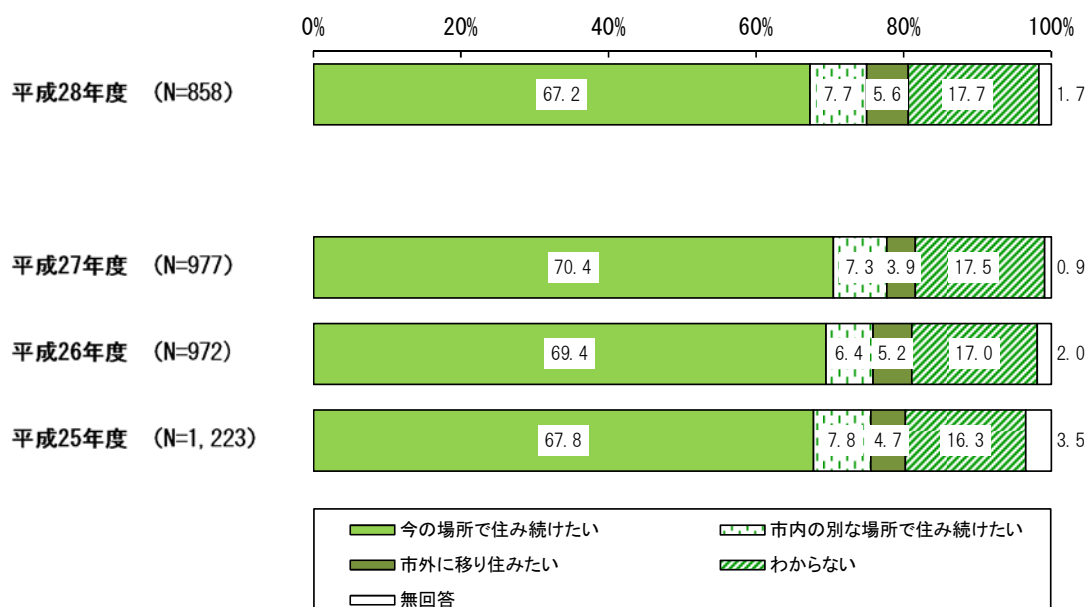
総合計画にかかる市民意識調査（平成28年度島田市総合計画市民意識調査、平成28年度第2次島田市総合計画の策定に向けた市民意識調査）の実施結果により、主な意見を整理します。

#### (1) 居住意向

島田市に住み続けたい意向については、「今の場所で住み続けたい」と「市内の別な場所で住み続けたい」の回答を合わせた「住み続けたい」の割合が74.9%となっています。

平成27年度と比較すると、「住み続けたい」の割合が77.7%と、平成28年度の方が2.8ポイント低くなっています。

##### ■これからも、島田市に住み続けたいと思いますか



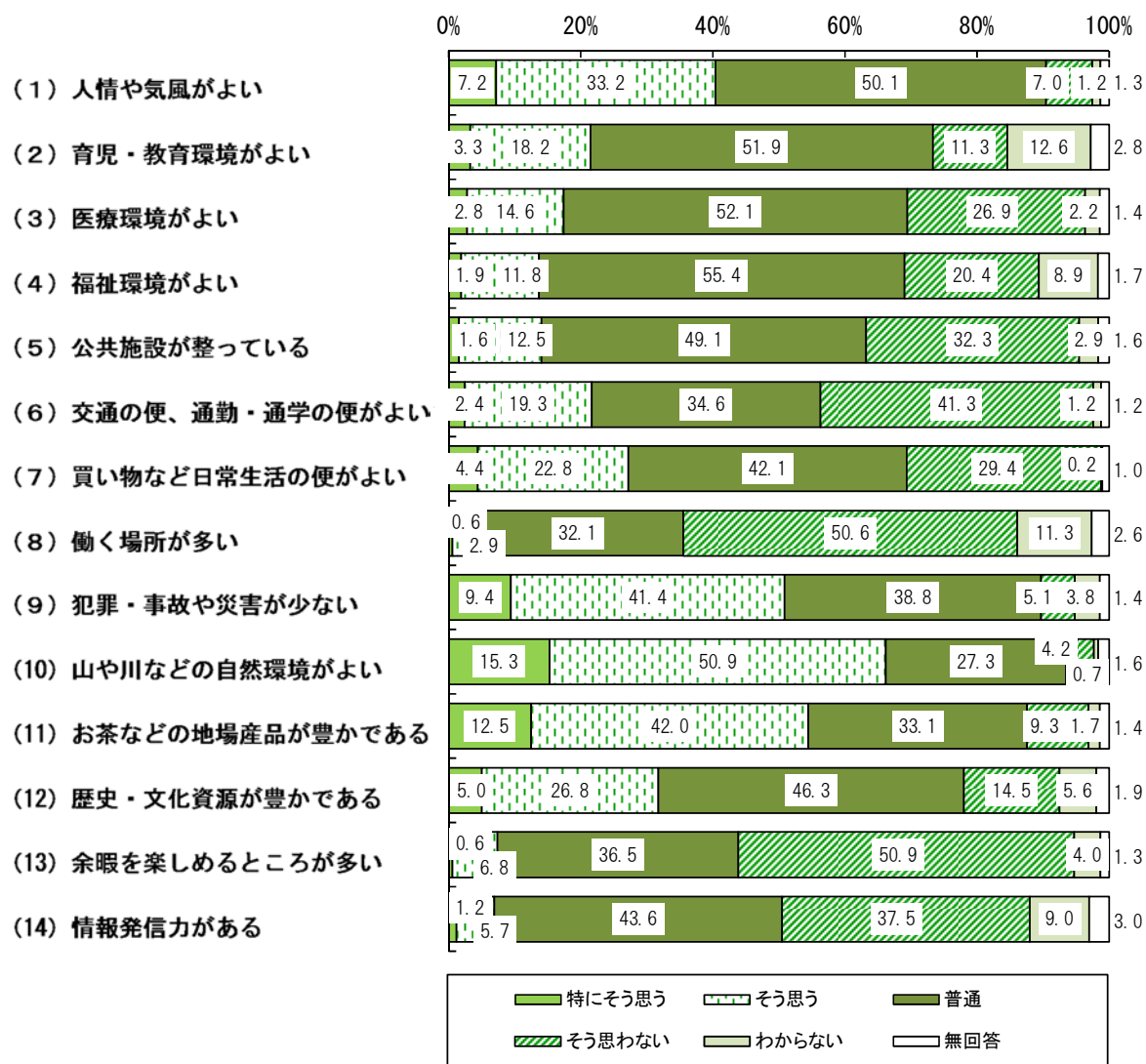
資料：戦略推進課「平成28年度島田市総合計画市民意識調査」（平成29年1月）



## (2) 島田市について感じていること

『島田市について感じる事』については、「特にそう思う」と「そう思う」の回答を合わせた[そう思う]の割合は「(10) 山や川などの自然環境がよい」が最も高く 66.2%、次いで「(11) お茶などの地場産品が豊かである」が 54.5%、「(9) 犯罪・事故や災害が少ない」が 50.8%となっています。

### ■日ごろ、島田市をどのように感じていますか



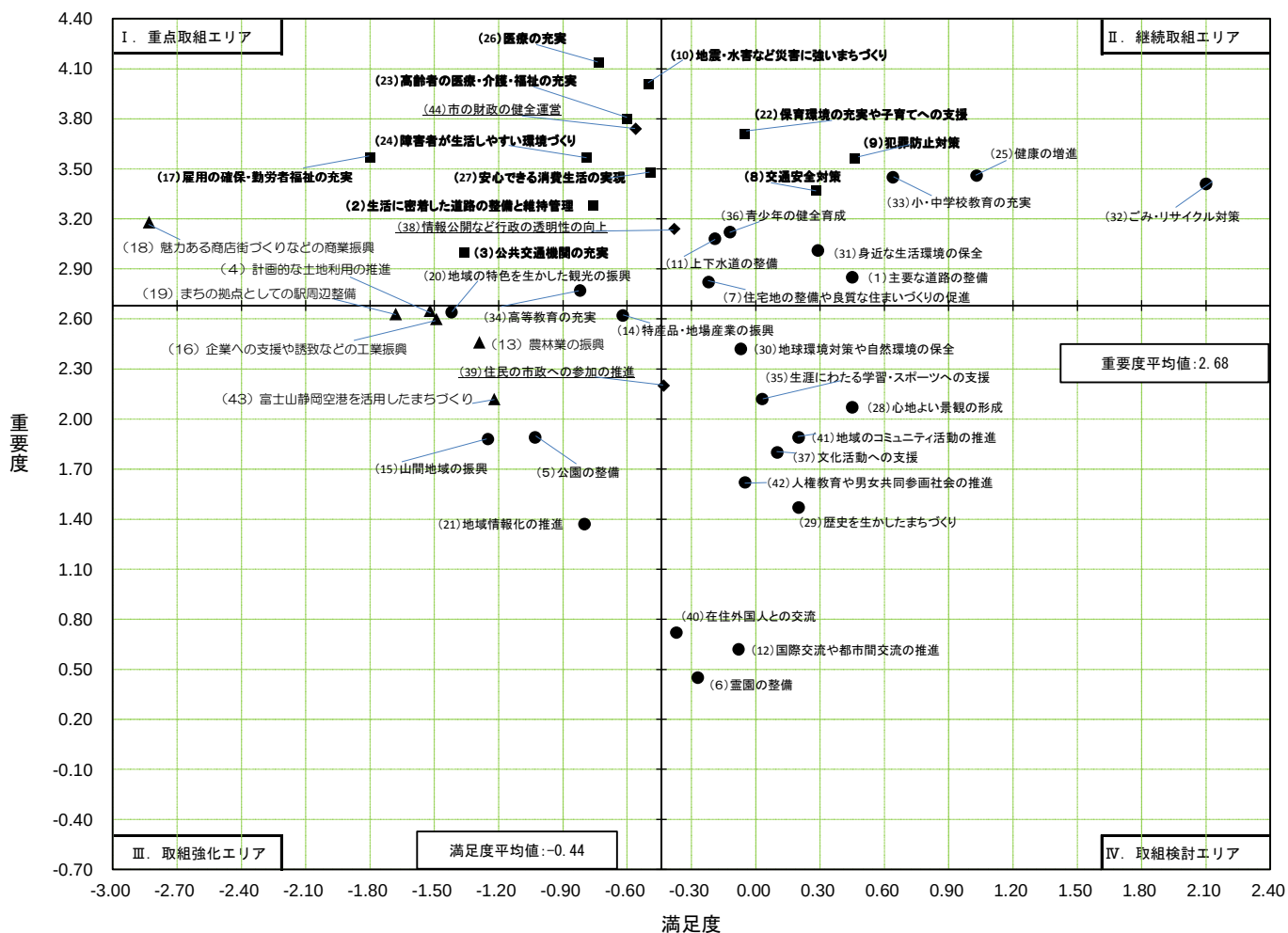
資料：戦略推進課「平成28年度島田市総合計画市民意識調査」（平成29年1月）

### (3) 主な施策の評価について

現在の評価（満足度）と今後への期待（重要度）を点数化し、「Ⅰ. 重点取組エリア」、「Ⅱ. 継続取組エリア」、「Ⅲ. 取組強化エリア」、「Ⅳ. 取組検討エリア」の4つの領域に分類しました。

特に満足度が低く重要度が高い「(18) 魅力ある商店街づくりなどの商業振興」や「(17) 雇用の確保・勤労者福祉の充実」などに優先的に取り組むことが求められます。

#### ■満足度・重要度の平均ポイントによる散布図（全体）



資料：戦略推進課「平成28年度島田市総合計画市民意識調査」（平成29年1月）

## (4) 今後の取り組みについて

総合計画に位置づけ、進めていくべきと考えられる施策についてどのように感じるか、「期待度」によって回答してもらったところ、「子どもを安心して産み育てられる子育て支援体制の充実」が最も高く、[期待する]（「大いに期待する」と「まあ期待する」の合計）は68.9%となっています。

### ■総合計画において進めていくべき取り組み

| (%)                                            | 大いに期待する | まあ期待する | わからない | あまり期待しない | 期待しない | 無回答  |
|------------------------------------------------|---------|--------|-------|----------|-------|------|
| 子どもを安心して産み育てられる子育て支援体制の充実                      | 38.2    | 30.7   | 17.0  | 2.8      | 1.7   | 9.6  |
| S L や温泉、ニューツーリズムや歴史・文化資源を活用した観光の振興             | 27.4    | 39.7   | 15.5  | 7.1      | 2.0   | 8.4  |
| 若者に対する島田市内での定住に関する対策                           | 38.2    | 26.1   | 17.7  | 7.4      | 2.4   | 8.2  |
| 茶のまちとしての島田市ならではの商品の開発やブランド化の推進                 | 26.2    | 34.3   | 19.4  | 8.7      | 3.4   | 8.0  |
| 商業・サービス産業の活性化                                  | 26.4    | 30.3   | 21.9  | 9.9      | 2.1   | 9.5  |
| 空港やインターの立地をふまえた、市外部との交流を促進する拠点形成の充実            | 25.6    | 30.7   | 21.5  | 9.7      | 3.3   | 9.2  |
| 大規模店の出店や工場の誘致                                  | 27.4    | 25.3   | 21.8  | 12.5     | 4.8   | 8.2  |
| 安心して暮らし続けられる明るい地域社会（コミュニティ）の形成に向けた、多世代交流・共生の取組 | 19.9    | 31.9   | 30.0  | 7.5      | 1.8   | 8.9  |
| 市内の鉄道駅周辺や中山間地域との交流を促す日常生活拠点形成の充実               | 15.1    | 30.6   | 31.2  | 9.1      | 2.8   | 11.2 |
| 市民利用施設の使用料等における受益と負担の適正化                       | 16.1    | 27.9   | 37.1  | 7.0      | 2.3   | 9.7  |
| 行政運営の見直しによる事業の縮小や廃止（スリム化）                      | 17.9    | 25.9   | 36.3  | 7.3      | 2.4   | 10.2 |
| 公共施設マネジメントの着実な実施                               | 15.8    | 27.9   | 37.3  | 6.8      | 2.3   | 10.0 |
| 拡大する生活圏、経済圏の中、適切な行政サービスの提供を目指した関係自治体との広域行政の推進  | 16.1    | 24.0   | 41.9  | 6.3      | 2.0   | 9.8  |
| 市民協働のまちづくりをさらに促すための対策                          | 13.4    | 26.3   | 40.7  | 7.1      | 1.8   | 10.7 |

資料：戦略推進課「平成28年度第2次島田市総合計画の策定に向けた市民意識調査」（平成28年9月）

## 4. まちづくりの課題認識

### (1) 分野別の認識

時代潮流や市の現状把握（データ）、都市比較などからみた当市の課題等について、以下の視点に基づき整理します。

#### ① 防災

東日本大震災や熊本地震、各地における大規模な水害など、これまで経験したことのない災害が発生しています。市民の防災に関する高い関心と当市の特性（地域コミュニティの強さ）を最大限に活かし、自助や共助の取り組み・実践の一層の定着化が求められています。

高齢者の単独世帯の増加により、災害時に孤立する高齢者が増えることが懸念されます。一人暮らしの高齢者を含む要配慮者<sup>1</sup>への支援や中山間地域での孤立化対策に力を入れる必要があります。

大規模・激しい自然災害や原子力災害、大規模感染症などのあらゆる危機事態に柔軟に対応し、広域防災拠点としての役割を果たすため、ソフト・ハード両面での防災・減災対策、強靱化対策を着実に進めるとともに、中核となる人材を育成し、防災関係機関や関係自治体との一体的な災害対応能力を一層高める必要があります。

消防については、平成28年4月1日、静岡地域（静岡市、島田市、牧之原市、吉田町、川根本町）消防救急広域化を行い、災害の複雑化や救急需要の増加などに対応しています。

#### ② 福祉・健康

県内各市と比較すると当市は高齢化が進んでいる地域であり、高齢者のみの世帯や一人暮らしの高齢者も増加しています。

多様化する医療ニーズへの対応や既存市民病院の老朽化を踏まえて、新たな市立島田市民病院の建設を推進するとともに、医師をはじめとする医療スタッフの確保が必要です。

地域福祉及び健康づくりの推進とともに、医療と介護の連携や、自助、互助、共助、公助<sup>2</sup>の考え方に基づき、高齢者のみならず、障害者、子ども、生活困窮者など、支援を必要とする人すべてを地域全体で支え合う体制づくり、すなわち地域共生社会の実現が求められています。

生活保護の受給者数は最近10年間で急増し、それに伴い生活保護扶助費も増加しています。今後も、高齢化の進行とともに、扶助費の一層の増大が見込まれることから、福祉サービスにかかる市民負担のあり方や、予算配分の適正化などに取り組んでいく必要があります。

#### 用語解説

1【要配慮者】高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する者

2【自助、互助、共助、公助】「自助」は自身のことを自身ですること、「互助」は家族や友人、近所の人などと相互に支え合うこと、「共助」は町内会や自治会などの地域コミュニティ単位で助け合うこと、「公助」は行政による公的な援助や支援を指す。

### ③ 子育て・教育

女性の社会進出が進む中、保育所等への入園希望者や放課後児童クラブへの利用希望者が増えています。また、県内23市の中でも比較的市外で働く就業者が多く見られることから、産後・育児中の働き方や保育支援の確保など、今後も仕事を続けながら安心して出産・子育てができる環境づくりが求められます。

少子化により就学児童・生徒数は減少しており、特に中山間地域では減少が顕著になっています。また、学校施設・設備の老朽化が進む状況の下、今後の適正な学校配置・規模については、将来の児童・生徒数や地域ごとの実情を踏まえ、施設の改築・改修の時期なども勘案し検討していく必要があります。

一方、家庭をとりまく環境が大きく変化を遂げる中で、様々な問題を抱えた子供たちが増加しています。児童・生徒一人ひとりに向き合う体制を整えるとともに、地域コミュニティと学校の関わり方や学校の役割などについても再構築していくことが求められています。

高齢者をはじめ幅広い年代の市民が、生きがいを持っていきいきと生活し、活躍できる機会を増やすために、様々なニーズに応じた生涯学習環境の充実が求められます。

「しまだ大井川マラソンinリバティ」をはじめとする各種大会が開催され、多くの交流が生まれていることや、市民1人あたりのスポーツ広場面積が静岡県内1位であることなどスポーツをとりまく環境に恵まれています。これらを市民全体で共有し、地域に根付くスポーツ文化をさらに発展させていく必要があります。

### ④ 経済・産業

就業者数を見ると、第1次・第2次産業で減少し、第3次産業で増加しているものの、全体では減少傾向にあります。今後、第3次産業にとどまらず、農林業や製造業などのかつての主要産業の再興が望まれます。

第2次産業の就業者数は、静岡県内23市の中では比較的多い状況にありますが、傾向としては減少していることから、引き続き雇用の拡大や人材の育成に取り組む必要があります。

ＩＣＴの進展や技術革新を背景に、市場の多様化やグローバル化<sup>3</sup>が急速に進んでいるため、こうした変化へ対応しようとする企業への支援を積極的に進める必要があります。

また近年、全国の自治体において、教育をはじめ、産業やまちづくりの分野でＩＣＴ活用への期待が高まっています。当市においても、今後のさらなる普及・発展に向けて、学校や企業、地域団体におけるＩＣＴの普及啓発に取り組むことが求められています。

農林業については、従事者の高齢化や後継者の不足からくる担い手の減少、茶葉をはじめとする農林産物の価格低迷、荒廃農地<sup>4</sup>・荒廃森林の拡大など、とりまく状況が厳しさを増しています。

#### 用語解説

3 【グローバル化】情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、ヒト、モノ、情報の国際的移動が活性化して、様々な分野で「国境」の意義があいまいになり、世界の産業、文化、経済市場の統合が進む現象

4 【荒廃農地】現に耕作に供されておらず、耕作の放棄により荒廃し、通常の農作業では作物の栽培が客観的に不可能となっている農地



蓬莱橋や川越遺跡をはじめ、祭事、茶畑、温泉、大井川鐵道など、市内には固有の歴史や文化、豊かな自然環境を見て体験できる観光資源が多く存在しています。これらの観光施設を市内外に広くPRすることで認知度を上げていくとともに、観光ボランティア活動といった市民の自主的な取り組みなどを支援する体制づくりや気運づくりを進めていくことも必要です。

富士山静岡空港に隣接する好アクセス性を活かし、中国や台湾、韓国をはじめとした東アジア圏を視野に入れた観光PR活動を行うことが重要です。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックを契機とする訪日外国人観光客の増加を見据えて、外国人の受け入れ体制を強化することが求められています。

## ⑤ 環境・自然

良好な自然環境が将来にも受け継がれていくよう、様々な角度から取り組んでいくことが求められます。

国内外で地球温暖化防止に向けた取り決めが採択されているにもかかわらず、平均気温の上昇は現在も進行しており、その影響と考えられる異常気象や災害が多発しています。

地球温暖化の原因とされる二酸化炭素の排出を抑制する低炭素社会<sup>1</sup>の実現や、限りある資源の有効活用を図るため、再生可能エネルギー<sup>2</sup>の利用を促進するとともに、民間企業などにも適切な指導を行い、地球温暖化の抑制に向けた取り組みを全市一体となって展開する仕組みづくりが重要です。

農林業従事者の減少が続くことは、生産量への影響のほか、荒廃農地、荒廃森林の発生といった自然環境、さらには国土保全に影響を及ぼす問題につながっていく観点から対応が求められています。

市民生活における安全・安心を確保する課題として、高齢者や子どもが被害者となる詐欺犯罪の増加が挙げられます。こうした犯罪に遭わない・発生させないようにするためには、防犯・啓発活動を強化するとともに、地域全体での見守りの実施など、日常的に防犯意識を高める活動も必要です。

人口減少が進む一方、増加する高齢者の日常生活を支えるために、今後の交通ネットワークの必要性・重要性が一層高まると考えられることから、バス、鉄道といった公共交通機関の維持に加え、補完する輸送手段の構築など、より利用しやすい体系づくりが求められます。

### 用語解説

- 1【低炭素社会】地球温暖化の原因となる温室効果ガスのうち、その大きな割合を占める二酸化炭素の排出量を削減するために、化石エネルギーへの依存から脱却した社会
- 2【再生可能エネルギー】「エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」で、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスがこれにあたる。

## ⑥ 歴史・文化・地域

地域の特徴、独自の生活様式、歴史・文化的な資源といったものが、帰属意識や住民同士の連帯感を高めることにつながると期待されています。

そのためにも、当市が進めている「シティプロモーション<sup>3</sup>」などの活動をさらに発展させていくことが不可欠です。市民が地域への愛着と誇りを高め、それが市外・国外への強い発信力となって、さらなる連携や交流が生み出されるよう、地域固有の歴史・文化の再認識と市民の共通財産としての定着化、さらに、その効果的な活用が重要になります。

近年、全国的に教育や産業活動、まちづくりへのICTの活用が期待されています。こうした気運の高まりをとらえて、地域づくりに関わる団体などをはじめ、学校や企業に対してもICTの普及啓発を図り、地域の特徴や歴史・文化等を活かした魅力ある地域づくりを進めていくことが重要です。

## ⑦ 都市基盤

新東名高速道路や富士山静岡空港といった広域高速交通網の強みを活かし、地域振興の発展と交流人口の拡大を図るため、新東名島田金谷インターチェンジ周辺や旧金谷中学校跡地の活用は不可欠です。

さらに、交流の増進による転入や、若い世代の定住などを促進するため、うるおいのある良好な住環境の整備や住宅供給の推進が必要となっています。

今後、長期的な人口減少傾向は避けられない状況であるため、鉄道駅などの周辺に公共施設や生活利便施設を集約し、コンパクトで利便性の高い市街地を形成していくことが求められます。

## ⑧ 行財政

今後のまちづくりを進めていくうえで、子育て、防災、防犯、環境美化から、総合的な地域福祉の推進といった、あらゆる分野において、市民の主体的な参画、学校や企業、様々な団体活動などのさらなる活発化が不可欠となります。

このため、自主性・自発性・自立性を尊重した活動や、活動を担う人々の連携を支援し、「市民と行政とのパートナーシップに基づくまちづくり」、さらにその先にある「自分たちの地域を住みやすくし、みんなが活躍できる元気なまちづくり」を進めていくことが重要です。

国・地方の財政は総じて厳しい状況が続いており、柔軟で的確な行政サービスを提供していくことが求められます。これまで以上に行財政運営の効率化を進めるとともに、市民に最も身近な場所で行政サービスを提供する基礎自治体の役割を認識し、市民サービスの維持・向上に努める必要があります。

### 用語解説

3 【シティプロモーション】都市が有する地域資源や優位性を発掘・創造し、価値を高めるとともに、内外に効果的に訴求し、ヒト・モノ・カネ・情報を呼び込み地域経済の活性化を図る一連の活動。地域再生、観光振興、住民協働など様々な概念が含まれている。

## (2) 戦略課題の認識

計画策定の背景となる社会情勢、市の現状、市民意識調査結果などを踏まえて、今後のまちづくりにおいて解決していくべき課題の方向性を整理します。

整理にあたっては、市の外部環境（機会、脅威）と内部環境（強み、弱み）の組み合わせから成る4つの領域【成長戦略】、【回避戦略】、【改善戦略】、【改革戦略】へと分類するSWOT分析を活用しています。

また、本分析結果を踏まえ、後段の前期基本計画において、「重点的な取り組み」を位置づけています。

| 成長戦略<br>(強みによって機会をさらに活かす方向)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 回避戦略<br>(強みで脅威を回避・克服する方向)                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・風土を活かした、再生可能エネルギーの利活用促進や自然体験・交流の場づくりの推進</li> <li>・東海道の宿場町として栄えた歴史的背景、蓬萊橋や島田藩など地域固有の文化を観光資源として積極的に活用</li> <li>・「島田市緑茶化計画」の推進（当市特産物の地域ブランド<sup>1</sup>としての磨き上げ・PRや6次産業<sup>2</sup>化への展開）</li> <li>・広域交通結節点の立地条件を活かした企業誘致の促進や、より生活しやすい居住環境づくり</li> <li>・第2次産業の集積による製造関連企業の集中立地促進、産業・情報基盤の整備促進</li> <li>・子育て世代の定住を促すための教育・子育て支援策の充実</li> <li>・市民の参加による自然環境保全の取り組みや、安全・安心なまちづくりの継続・維持</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生産年齢人口のさらなる流入による都市活力の維持</li> <li>・広域交通網の好アクセス性といった企業立地環境の確保や、水と緑に恵まれた地域資源を活かした企業の誘致などによる都市活力の維持</li> <li>・「島田」固有の資源の掘り起こしとその活用</li> <li>・環境にやさしいまちづくりの推進</li> <li>・市民の健康づくりの推進</li> </ul> |
| 改善戦略<br>(機会を逃さないように弱みを改善する方向)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       | 改革戦略<br>(脅威を克服して最悪の事態を招かない)                                                                                                                                                                                                       |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て世代の市内定住の促進、子育て支援策などのPR</li> <li>・生産活動と居住、自然環境のバランスに配慮した市街地形成</li> <li>・市域の8割を占める森林や農地などの良好な緑の保全、回復</li> <li>・地域の特産物、観光資源などを活かした商業振興</li> <li>・まちづくりに対する市民の参加意欲の醸成</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少、少子高齢化に応じた公共施設ストックの適切な維持・管理及び整備の推進</li> <li>・働く場所や生活利便施設の整備などによる若者流出防止や地域の人口バランスの確保</li> <li>・地域住民主体による生活に密着したまちづくりの展開</li> <li>・安定的な財源確保と効率的な行政サービスの実施</li> </ul>                    |

### 用語解説

- 1 【地域ブランド】 地域発の商品・サービスのブランド化と、地域イメージのブランド化を結び付け、好循環を生み出し、地域外の資金・人材を呼び込むという持続的な地域経済の活性化を図ること
- 2 【6次産業】 農山漁村の活性化のため、地域の第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業（加工・販売等）にかかる事業の融合等により地域ビジネスの展開と新たな業態の創出を行う取り組み



# 基本構想

# 1. 基本理念

これからのまちづくりを進める上で、継続性を持った基礎的な考え方として基本理念を定めます。

基本理念は、市民一人ひとりが、意識をもって取り組むまちづくりの共通の指針となるものであり、広く市民に浸透させていくことが必要であることから、第1次総合計画で定めた内容を継承していくものとします。

### (第1次総合計画より再掲)

#### ◆ここにしかない「個性」を大切に

大井川や牧之原台地などの自然環境、茶やバラに代表される一次産品、大井川鐵道のS L や川根温泉、田代の郷温泉などの観光交流資源、大井川川越遺跡や蓬萊橋といった歴史・文化資源など、当市にしかない資源を守り、未来に伝えます。

これらの資源を、身近な生活環境の向上をはじめ、産業の活性化や教育・文化活動の振興、市民の健康づくりなど、快適な生活空間づくりやまちの魅力・個性の強化に積極的に活かすことで、この地域だからこそ住みたくなる、いつまでも住み続けたいくなるまちづくりを目指します。

#### ◆どこよりも「元気」に

富士山静岡空港及び東名高速道路、新東名高速道路のインターチェンジといった広域交通拠点や大井川流域の豊かな地域資源を有する特徴を活かし、人や地域が相互に連携し、呼応しあった相乗効果の高いまちづくりを目指します。

その中で、技術・ノウハウ・知識を結集させ、豊かな水や優れた交通条件などの当市の利点を活かした企業の立地を促し、十分な雇用の場が確保されるよう、産業の活性化を図ります。

地域の魅力・個性を積極的に発信することで、多くの人々が訪れ、にぎわいにあふれるまちづくりを進めます。

こうした取り組みの中で、新たな元気・活力を呼ぶ若者の定住化を促進し、輝く未来を担う豊かな人材が育っていくまちづくりを進めます。

#### ◆ともに支え合い「協働」して

だれもがお互いを認め合い、支え合いながら、世代を超えて健やかに暮らせるまちづくりを目指します。

このため、自主的・自発的なコミュニティ活動や市民活動を促進し、市民自らが自らの住むまちをより良くしていこうとする市民主体のまちづくりを進めます。

郷土を愛する思いのもと、市民・事業者・行政それぞれが互いにその特性や役割を理解し、相互の信頼関係に基づく対等な立場で、ともに力を合わせる協働のまちづくりを進めます。

## 2. 将来像

将来像は、総合計画の実行によって目指す「島田市のあるべき将来の姿」を明示するものとします。市職員のみならず、市民や事業者、各種団体など、あらゆる「島田市民」にとって、イメージしやすく、将来（計画目標期間）への希望やメッセージ性を備えた「キャッチフレーズ」として設定します。

### 島田市の将来像

笑顔あふれる 安心のまち 島田

#### 将来像に込めた思い

島田の特性（広域交通条件や固有の歴史・文化資源など）を活かした、にぎわい（産業、観光）が生まれる活力ある持続可能なまちづくりを目指します。

安心して子どもを産み育てられ、「子育てするなら島田」と思われるまちづくりを目指します。

大井川に育まれた水と緑豊かな自然環境の島田に生まれ、育ち、地域でのつながりや支え合いの中で住み続けられ、一旦は進学や就職などで島田を離れたとしても、かつての仲間たちと再び過ごしてみたい気持ちを引き起こす、一人ひとりが人生を描くことができるまちづくりを目指します。

島田に住んだことがない方でも、暮らすなら島田と思われる、まち全体に漂うあたたかさ、ゆったりした雰囲気大切に、まちづくりを目指します。

～ 島田への愛着や誇りを抱きつつ、安全・安心にいきいきと

笑顔で過ごしていけることを実感できるまち ～

### 将来像を実現するための役割

将来像の実現に向け、市民・事業者・行政がともに力を合わせてまちづくりに取り組むよう、それぞれの役割を定めます。

#### 「市民」

- ・まちづくりに参加する権利を有し、まちづくり全般に関心を持ち、情報の収集や学習活動を行い市民同士が積極的に交流するなど、まちづくりの主役となります。

#### 「事業者」

- ・それぞれの経営理念に基づく事業活動により、安全で良質な商品やサービスを提供し、さらには社会貢献活動を通して地域との信頼関係や協力関係を構築するなど、まちづくりに携わる構成員となります。

#### 「行政」

- ・将来像の実現に向け、市民の意向を踏まえつつ施策・事業を選択し、実行します。
- ・市民活動を支援する中で、総合的・計画的にまちづくりを進めます。さらに、財政力・組織力など行財政基盤の強化を図るとともに、複雑多様化する行政課題に効率的・効果的かつ迅速に対応します。

### 3. 土地利用の方向

当市の土地利用については、国土利用計画（島田市計画）に基づいて展開していくものとして、以下にその基本となる考え方や土地利用の方向性を示します。

#### （1）土地利用の基本的な考え方

土地は、市民生活及び産業・経済活動の共通の基盤と認識し、以下の方針のもとに今後の土地利用を図っていきます。

##### 土地利用の基本方針

- ◆大規模災害に備えた安全な土地利用
- ◆活力あふれ持続的な成長を確保する土地利用
- ◆自然と共生し快適でうるおいのある土地利用
- ◆地域の魅力や個性を活かした土地利用
- ◆市民や地域が主体的に参画して進める土地利用

#### （2）地域類型別の土地利用の基本方向

市域を土地利用上の特徴によって類型化し、その類型（ゾーン）ごとに土地利用を進めていきます。

##### ① 自然保全ゾーン

市北部の山間地、大茶園、田園、丘陵地などについて位置づけ、豊かな緑・水辺の環境を保全するとともに、山間地にあつては、林業の振興や森林の整備（荒廃化した山林の回復等）を図ります。

##### ② 集落ゾーン

島田及び金谷地域の市街地周辺の集落部を位置づけ、農業経営の規模拡大や生産性の向上を図る基盤整備を進めるほか、市街地に近接している立地特性を活かし、都市近郊型農業など、新たな営農形態への転換や他産業との連携等により活力を生み出す場としていきます。

##### ③ 市街地ゾーン（中心市街地周辺、六合、金谷、初倉、川根）

鉄道駅・高速道路インターチェンジ周辺にあたる既成市街地を位置づけ、居住・福祉・市民サービス・交流等の多様な生活機能の維持・向上や、商業・業務施設等の立地を促進し、人口増加がみられる地域を中心にゆとりある暮らし空間を提供する住宅地の整備を推進します。

富士山静岡空港や東名高速道路、新東名高速道路などの交通ネットワークに近接する強みを活かし、農業的土地利用との調整に配慮しつつ産業機能との調和を図ります。

##### ④ 中心市街地ゾーン（島田駅・市役所周辺）

島田駅周辺の中心市街地を位置づけ、都市基盤の整備や商業・業務施設等の立地促進を

また、駅周辺の利便性の高い良好な住環境を形成し、空き家の活用等も含めた住宅供給による人口増加を目指します。

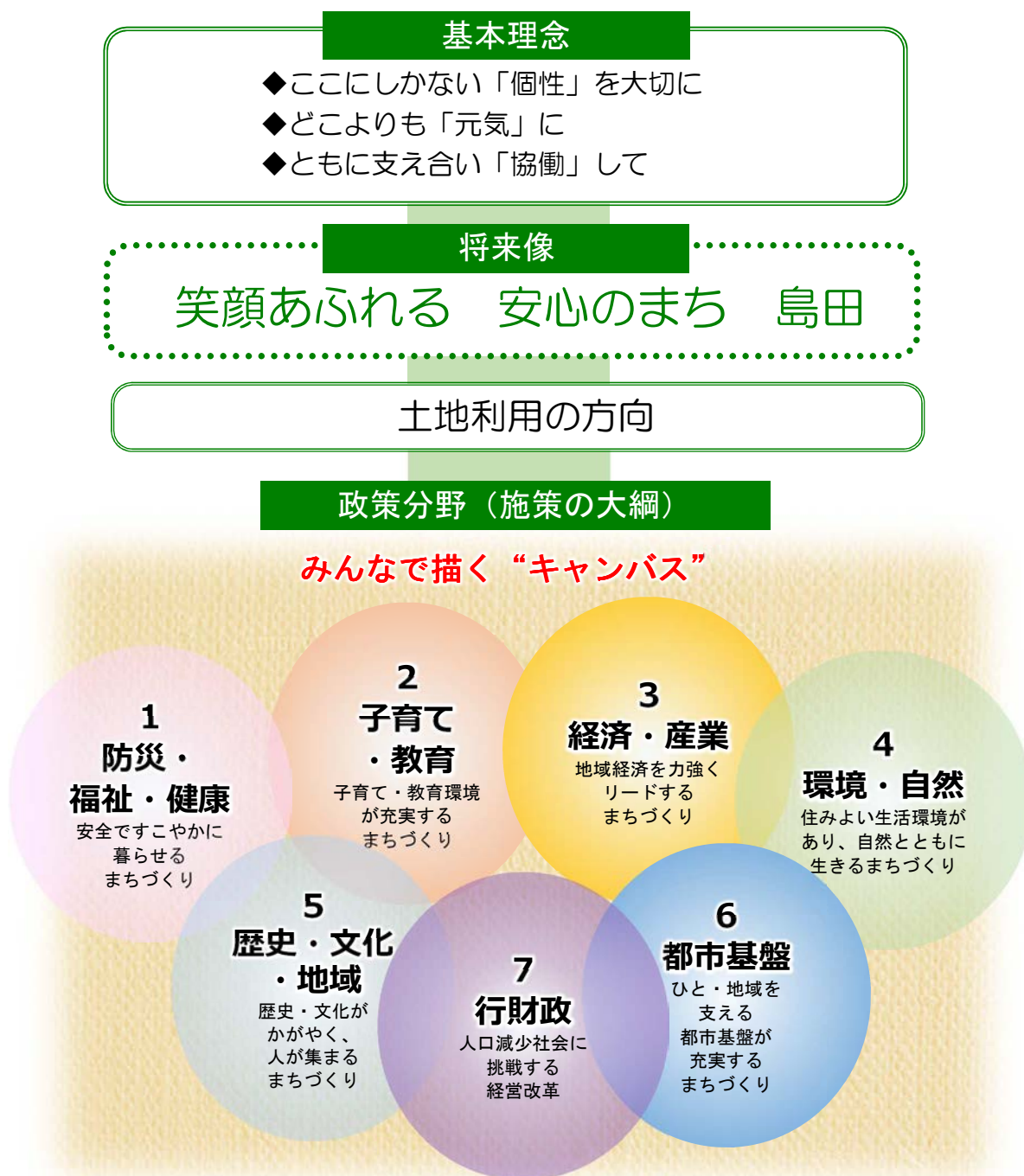
新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺及び旧金谷中学校跡地周辺をにぎわい創出ゾーンに位置づけ、充実した交通機能を背景に、にぎわいを生み出す拠点施設の整備や既存観光施設との連携、今後の成長が期待される産業分野の企業立地などにより、まちのにぎわいを創り出していきます。

富士山静岡空港の周辺部を位置づけ、広域交通拠点としての立地特性と日本一の茶園景観等を活かしながら、農業的土地利用との調整に配慮しつつ、都市基盤の整備や企業立地、散策路整備などを促進し、交流とにぎわいのある「ふじのくに」の空の玄関口にふさわしいまちづくりを進めます。



## 4. 政策分野（施策の大綱）

将来像の実現に向けて、7つの「政策分野（施策の大綱）」を定め、まちを“キャンパス”に見立てて、市民、事業者、行政が、ともに未来を描いて（具体的な施策を推進して）いきます。





## (1) 防災・福祉・健康

安全ですこやかに暮らせるまちづくりを進めます。

市民の安全な生活の確保を最優先します。激甚化し、暮らしを脅かす自然災害、そして発生が危惧される南海トラフ巨大地震に備えるため、市民の自助に対する意識の定着化と、地域力を活かした共助の仕組みづくりに基づく危機管理体制の実効性を高めながら、市民の命と財産を守る様々な取り組みを進めていきます。

健康な暮らしの確保についても、日々の生活の中で欠くことのできない要素です。

市民のライフステージに応じた健康づくりへの支援とともに、市民ニーズに応じた急性期医療から介護までのサービスを提供していきます。そして、身近な家族から医療機関、福祉機関、そして行政までが、それぞれの役割を果たしながら連携し、誰もが適切かつ継続的にサービスを楽しむ体制を構築していきます。

高齢社会の進展により、多様化する医療・介護ニーズに適切に対応するほか、生活習慣病の発症及び重症化予防、また「からだ」だけでなく「こころ」にも配慮した健康づくりを進めていきます。

さらに、性別や収入、障害の有無に関わらず、誰もが自立した生活を送ることができる環境づくりも重要です。そのため、様々な担い手による支え合いにより、自助・互助・共助・公助のバランスの取れた社会を目指します。

### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）
- 健康で自分らしく暮らす（健康づくり・地域医療）
- 生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）
- 弱い立場の人を支えあう（地域福祉・障害福祉）

## (2) 子育て・教育

子育て・教育環境が充実するまちづくりを進めます。

このまちで安心して子どもを産み、育てていく環境を整え、家族のみならず、社会全体で子どもや保護者に「切れ目なく」支援できる体制づくりを促します。

幼児期の教育における質の向上を図るとともに、幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の連携による、きめ細やかな就学支援体制の構築や待機児童の解消に向けた取り組みにより、保護者の就労を支援していきます。また、家庭での「教育」を促し、子どもの成長過程に応じた「<sup>おやりのく</sup>親力」の向上を図ります。

少子化に伴う教育環境の適正規模の見直しや学校施設の更新にあたっては、地域の声を踏まえて検討していきます。それは、子供たちにとって最も望ましい教育環境の構築と、安全な学校施設の整備を進める「地域総ぐるみ」による教育力の向上を目指すものです。

児童・生徒の「夢」を膨らませるための活動や、身近な地域について理解を深める学習機会を提供し、子供の頃から「地元への愛着心」や「市民としての誇り」を醸成していく取り組みを進めます。また、児童・生徒自らが問題解決できる力を養い、心身ともにたくましく成長できるよう、個性や能力に応じて適切に指導します。

家庭の中だけでなく学校や地域が一体となって、青少年が明るい未来を切り拓いていく

力を育むことができるよう支援していきます。また、子どもからお年寄りまで、ライフステージごとの能力・意欲に応じた学習活動や社会活動に取り組める環境づくりを進めます。

市民のスポーツを通じた体力の増進、健康維持につなげるため、普及・啓発活動を重ね、スポーツを楽しむ機会を増やすとともに、実践できる施設整備を進めていきます。

#### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- 子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）
- 地域ぐるみの教育環境をつくる（学校支援・子供支援）
- 豊かな心を育む教育を進める（義務教育）
- 地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）
- 生涯スポーツを楽しむ人を増やす（スポーツ活動）

### (3) 経済・産業

地域経済を力強くリードするまちづくりを進めます。

近年、「モノのインターネット（IoT）」や「人工知能（AI）」といった、第4次産業革命とも称される技術革新が目まぐるしい勢いで進んでいます。こうした潮流に乗り遅れることなく、当市を支える中小企業が先端技術を自らのものとし、活用・応用が進み、生産力や競争力を高める経営安定化に向けた支援に取り組みます。

さらに、恵まれた交通基盤を背景に広域交通結節点としての当市の優位性を活かした企業進出の受け皿づくりと積極的な誘致に取り組み、経済活動の活性化と雇用の拡大を図っていきます。

商業については、経営者の高齢化や後継者不足といった課題がある中で、「おび通り」などの公共空間を活用しながら、気軽に訪れ立ち寄れる、にぎわいのある商店街づくりを進めるほか、地域の特産品や観光資源を活かして振興を図っていきます。

同様の課題を抱える農林業についても、土地の集約化や効率的な経営により生産性の向上を図るほか、生産基盤整備の充実、農林産物の高品質化、流通の多様化を進め、「稼ぐ農林業」を目指していきます。

特に、当市の特産品である「茶」については、新たな消費者ニーズを意識した生産体制への転換を支援するなど、経営基盤の強化を図っていきます。

当市が持つ「強み」ともいえる観光については、歴史・文化・自然に由来する魅力ある地域資源を活かし、多くの人が訪れ、滞在につながる取り組みを進めていきます。

#### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- 雇用の創出や新技術の導入により地域経済を発展させる（地域経済）
- 世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる（工業）
- 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（商業）
- 地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）
- 人と地域の魅力を伝える観光施策を進める（観光）

## (4) 環境・自然

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくりを進めます。

当市の水とみどりに恵まれた自然環境を守り後世に引き継ぎ、環境への負荷低減を目指す、地域の「低炭素社会」「循環型社会」を実現するため、新エネルギー、再生可能エネルギーの積極的な活用やごみの減量化と再資源化の推進、環境教育の充実など、市民一人ひとりが「今できること」に継続的に取り組んでいきます。

また、次世代に引き継ぐべき市民共通の財産であるとの認識に立ち、当市を潤す「大井川」の水資源、水環境の状況を注視し、その保全に向けて市民一人ひとりの「意識」の醸成を図っていきます。

良好な住環境の中で事故や犯罪に遭うことがなく安心して快適に、市民誰もが「住み続けたい」と思える居住環境の形成に取り組めます。また、必要となる公共交通手段の整備・充実により、通勤・通学・通院等の利便性を確保していきます。

住みよい環境づくりの大前提となる性別、年齢に関わらず、一人ひとりが尊重され、誰もが平等に活躍できる社会をつくっていきます。

### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- 地球環境の保全に貢献する（新エネルギー・再生可能エネルギー・低炭素社会・資源循環型社会）
- みどり豊かな自然を守り育む（農地保全・森林環境・緑化活動）
- 水資源と水環境を守る（水環境）
- 住みよい生活環境をつくる（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・男女共同参画・人権）

## (5) 歴史・文化・地域

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくりを進めます。

地域で育まれてきた歴史や、伝統・風習などの文化を背景に、当市に住まい、関わる人々が生み出す「芸術」に触れる機会を創出し、教育、観光、産業等の幅広い分野と市民との関わりを得ながら、さらに新しい文化を創造していきます。

特に、当市固有の「茶文化」については、シティプロモーションとの連携を図りつつ、市民の理解と愛着のもと、誇りある独自の文化として国内外に広くアピールしていきます。

このほか、当市有数の誇るべき「歴史資源」の保護、継承、活用を進める中で、より多くの人々に触れていただき、歴史資源への理解と保全を続ける気運を高めます。

当市の「豊かな自然環境」や「市民の温かさ」を、移住の促進や幅広い世代間の交流の場面から、国内・国際交流の機会へと活かすことで、その「魅力度」を高めていきます。

### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- 培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）
- 島田を知り、好きになってもらう（情報発信・シティプロモーション）
- 人との連携・交流が生まれる地域をつくる（移住・国際交流・多世代交流）

## (6) 都市基盤

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくりを進めます。

市民が快適に日常生活を送るうえで欠くことのできない、生活道路や身近な水と緑、上下水道等の社会インフラの維持管理を基本に、さらなる計画的な整備を進めます。

加速化する高度情報化社会に対応できる情報基盤（超高速ブロードバンドなど）整備を進め、いつでもどこでも、必要な情報に素早くアクセスできる環境を構築していきます。

東名高速道路、新東名高速道路、国道1号、国道473号、富士山静岡空港、ＪＲ、大井川鐵道など広域交通結節機能を活かした、にぎわいあふれる「まちの拠点」を形成するとともに、補完する幹線道路の整備を進めることで交通ネットワークの強化に努めていきます。また、新東名島田金谷インターチェンジ周辺や旧金谷中学校跡地周辺、川根地域への観光交流拠点の形成を進めます。

広大な市域を有する、当市の都市機能を健全に維持していくために必要な、新たな地域拠点の形成について検討していきます。特に、地域交通の中核にあるＪＲ六合駅の駅前ロータリー広場や周辺道路整備を進め、利用者の安全を確保していきます。

### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- 安全で快適な生活基盤を整える（生活道路・河川・公園・上下水道等・通信）
- 地域と地域の活発な交流を支える道をつくる（幹線道路）
- 便利で魅力あるまちの拠点をつくる（都市計画）

## (7) 行財政

人口減少社会に挑戦する経営改革を進めます。

人口減少・超高齢社会の中で、市民・事業者・行政がそれぞれの責任や役割を分担しつつ相互の信頼と理解のもと、共通の目的に向かって「協働」することの必要性がさらに高まっています。こうしたことから、幅広い世代の市民から積極的に意見・提案を受けつつ市民一人ひとりが参画し、地域が主体性を持つまちづくりを進め、新たな公共サービスを担う市民活動をバックアップしていきます。

行政サービスを縮めながら充実させていく「縮充」の考え方が、これからの行政が目指すべき方向です。行財政運営については、選択と集中により効果的な施策展開を図ります。併せて、透明性が確保され高い生産性を持ち合わせた行政経営を掲げ、効率的な行政サービスの提供へとつながる広域的な協力体制の構築にも引き続き努めていきます。

高度成長期以降に集中的に整備された公共施設の老朽化が一斉に進むことは、当面の行財政運営の大きな課題となっています。施設の維持管理経費の適正化を図りながら、長期的視点に立った計画的な施策を展開することで、健全な財政運営を進めていきます。

### 【施策の柱】(まちづくりの素材)

- みんなの協力でまちをつくる（市民協働）
- 安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）
- 都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）
- 公共施設を賢く持って、賢く使う（公共施設の保全・再編・利活用）



## ■ 基本計画 ■

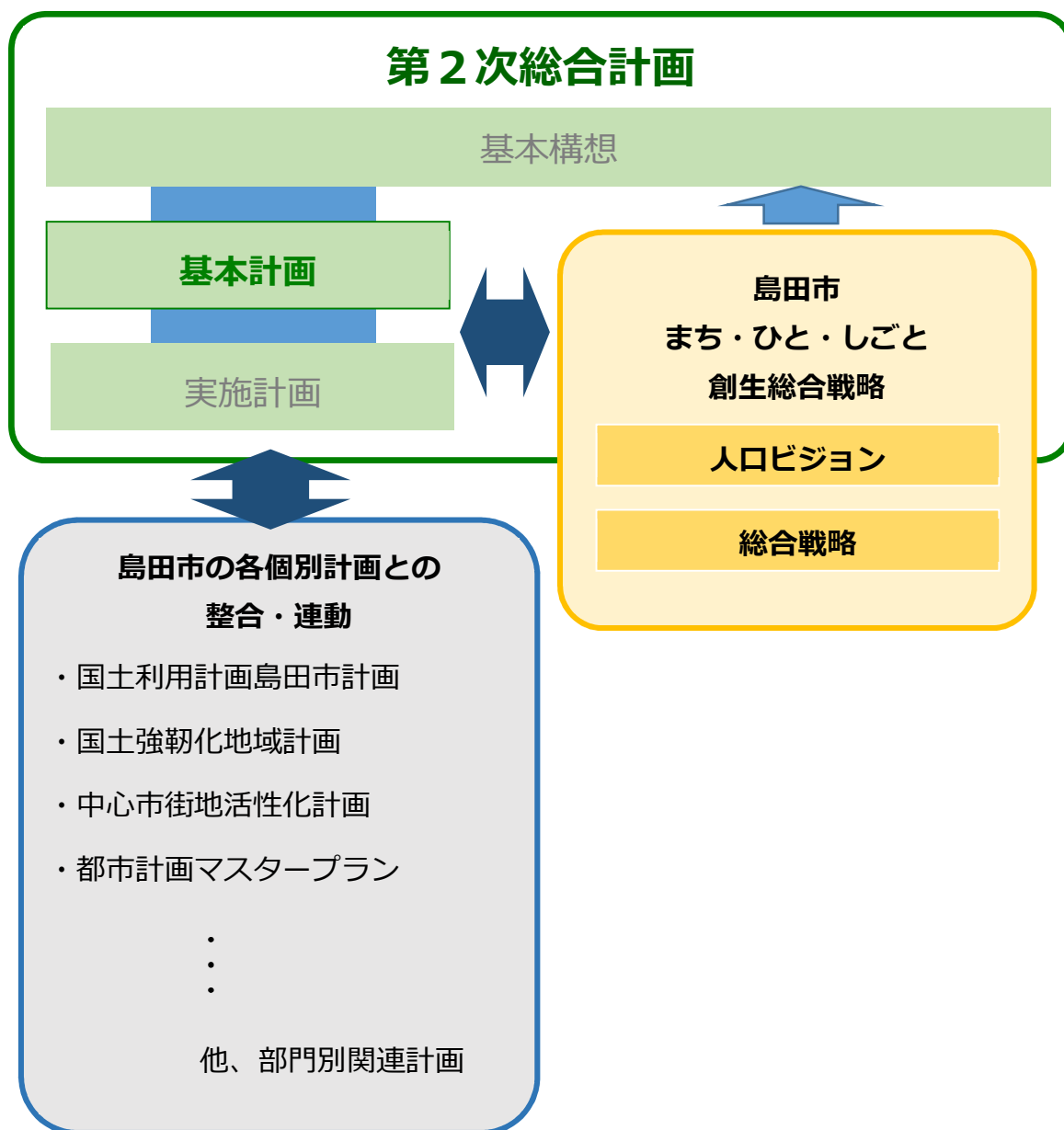
## 基本計画

# 0. 基本計画の前提

## (1) 基本計画の位置づけ

基本計画は、基本構想に掲げる将来像及び、地方創生の実現に向けて、政策分野ごとの具体的な取組方向を示します。

また、基本計画（及び実施計画）に示す事項は、当市が別に定める各個別計画との整合・連動を図ったものとして設定します。





## (2) 計画の構成と期間

基本計画では、次の事項を示しています。

### ●分野別まちづくりの方向性

政策分野ごとの市をとりまく状況と課題認識の内容、「分野別計画」に示す取組内容のエッセンスを記載しています。

### ●重点的な取り組み

分野別計画に示す、施策・事業内容のうち、第1次総合計画後期基本計画に示す「重点プロジェクト」の進捗等の確認とともに、特に島田市人口ビジョン・総合戦略や国土強靱化計画の推進に関係のある内容を抽出し、「重点的な取り組み」として示しています。

### ●地域別まちづくりの方向性

都市の将来的な構造や土地の利用方向などを踏まえた、市民生活に身近な地域ごとのまちづくりの方向性を示すとともに、分野別計画に示す施策・事業内容から、各「地域」に関わりの深い事項を抽出します。

### ●計画の推進に向けて

総合計画を進めていくうえで必要となる、市民との協働や効率的・効果的な行財政運営のあり方について記載しています。

総合計画は、平成37年度（2025年度）を展望したまちづくりの目標と快適な市民生活を実現するための施策を明らかにするものであり、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」により構成されます。

このうち、基本計画期間については、前期と後期に区分し、各4年の計画期間とし、前期計画終了後に見直しを行うものとします。

| （年度） | H30<br>(2018) | H31<br>(2019) | H32<br>(2020) | H33<br>(2021) | H34<br>(2022) | H35<br>(2023) | H36<br>(2024) | H37<br>(2025) |
|------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 基本構想 | 基本構想（8年間）     |               |               |               |               |               |               |               |
| 基本計画 | 前期基本計画（4年間）   |               |               |               | 後期基本計画（4年間）   |               |               |               |

# 1. 分野別まちづくりの方向性

将来像『笑顔あふれる 安心のまち 島田』の実現に向けて、以下の分野ごとにまちづくりを進めていきます。

## (1) 防災・福祉・健康

安全ですやかに  
暮らせるまちづくり

①ここに住むすべての人の安全な生活を守る

p.46～

②健康で自分らしく暮らす

p.50～

③生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす

p.54～

④弱い立場の人を支えあう

p.58～

## (2) 子育て・教育

子育て・教育環境が  
充実するまちづくり

①子どもを生み育てやすい環境をつくる

p.62～

②地域ぐるみの教育環境をつくる

p.66～

③豊かな心を育む教育を進める

p.68～

④地域で学びの力を発揮する人材を育てる

p.70～

⑤生涯スポーツを楽しむ人を増やす

p.74～

## (3) 経済・産業

地域経済を力強く  
リードするまちづくり

①雇用の創出や新技術の導入により地域経済を発展させる

p.78～

②世界に誇れる技術を持った中小企業を育てる

p.80～

③商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す

p.82～

④地域の特色を活かした農林業を進める

p.84～

⑤人と地域の魅力を伝える観光施策を進める

p.86～

## (4) 環境・自然

住みよい生活環境が  
あり、自然とともに  
生きるまちづくり

①地球環境の保全に貢献する

p.90～

②みどり豊かな自然を守り育む

p.94～

③水資源と水環境を守る

p.96～

④住みよい生活環境をつくる

p.98～

## (5) 歴史・文化・地域

歴史・文化がかがやく、  
人が集まるまちづくり

①培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める

p.104～

②島田を知り、好きになってもらう

p.108～

③人との連携・交流が生まれる地域をつくる

p.110～

## (6) 都市基盤

ひと・地域を支える  
都市基盤が充実する  
まちづくり

①安全で快適な生活基盤を整える

p.114～

②地域と地域の活発な交流を支える道をつくる

p.118～

③便利で魅力あるまちの拠点をつくる

p.120～

## (7) 行財政

人口減少社会に  
挑戦する経営改革

①みんなの協力でまちをつくる

p.126～

②安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める

p.128～

③都市間連携による地域の活性化を進める

p.132～

④公共施設を賢く持って、賢く使う

p.134～

## ★「分野別まちづくり」の見方

分野別まちづくりの方向性について、政策分野ごとに以下のように示しています。

### 施策の柱

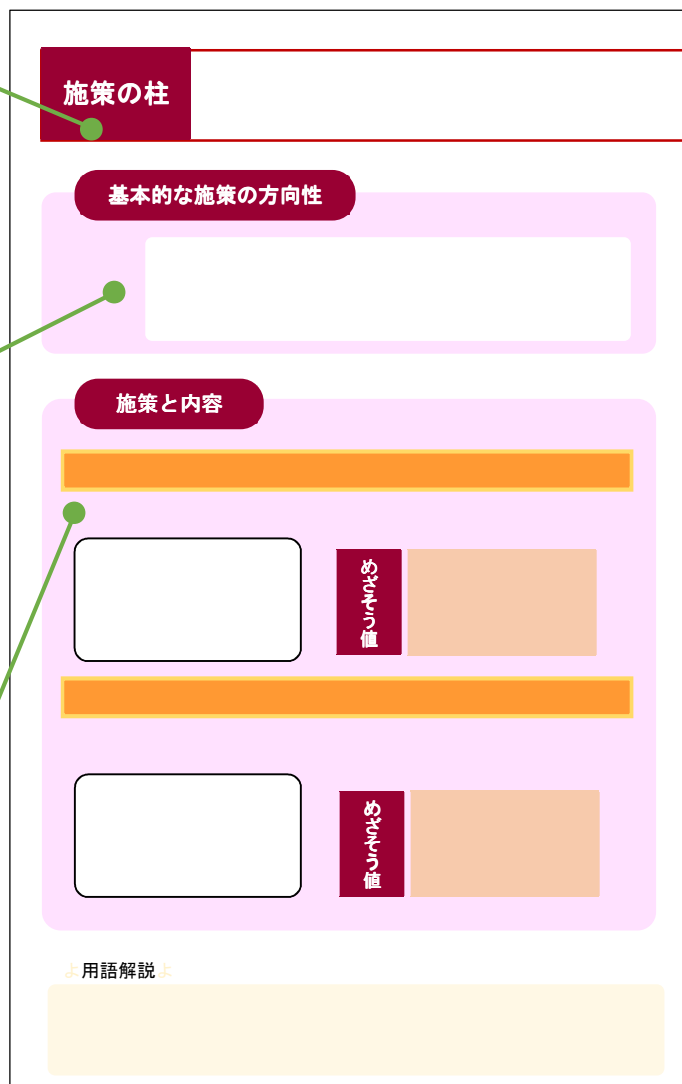
○政策分野ごとに示すまちづくりの方向について項目（目標）立てしています。

### 基本的な施策の方向性

○施策の柱ごとに、まちづくりを進めていくうえで必要な、取り組みの方向性を記しています。

### 施策と内容

○「施策の方向性」を踏まえた主要な取り組み内容と、その事例を記しています。



## 指標と目標値について

○分野別まちづくりの方向に示す「施策の柱」と「主要な取り組み」に応じて、それぞれの達成状況を測るための指標と目標値を設定しています。

（具体的には以下の3階層で設定）

【階層1】第2次総合計画前期基本計画のすべてを包含する目標として、「市民の幸福度」を最上位に置きます。 ※ 資料編に別掲

【階層2】政策分野を包含するものとして、施策の柱ごとに設定します。

【階層3】主要な取り組みの進捗を測るものとして、施策単位ごとに設定します。



## この柱のみんなめざそう値

市民意識調査「健康の増進  
(健康診断や予防対策)」  
における市民満足度

H28(2016)

58.0%

68.6%

H33(2021)

60.0%

69.7%

「市民意識調査(アンケート)」の満足度や重要度を測る指標は2段階書きとなっています。

(上段)すべての回答のうち「満足(重要)」、「やや満足(やや重要)」と回答した割合  
(下段)「わからない」や「無回答」を除いた中で「満足(重要)」、「やや満足(やや重要)」と回答した割合

政策  
分野

この柱のみんなめざそう値  
(階層2)

## 分野に関連する情報

○当該施策の柱に記載している内容にかかる写真やデータ(表・グラフ)などを適宜掲載しています。

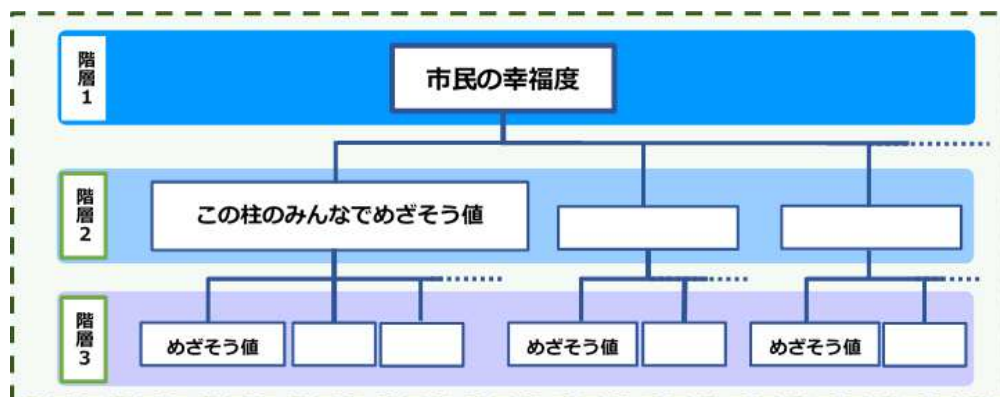
めざそう値  
(階層3)

## 用語解説

○必要に応じて、専門用語などに対する解説を記載しています。

※対象となる用語は、文中の表記の右下に番号を付しています。(例:スーパー台風<sub>1</sub>)

用語解説





# 政策分野1

## 【防災・福祉・健康】

安全ですこやかに暮らせるまちづくり

- 1-1 ここに住むすべての人の安全な生活を守る  
(危機管理・防災・消防)
- 1-2 健康で自分らしく暮らす  
(健康づくり・地域医療)
- 1-3 生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす  
(高齢者・介護)
- 1-4 弱い立場の人を支えあう  
(地域福祉・障害福祉)



# ここに住むすべての人の安全な生活を守る（危機管理・防災・消防）

## 基本的な施策の方向性

南海トラフ巨大地震の切迫性、局地的・短時間豪雨やスーパー台風<sup>1</sup>による風水害・土砂災害の激甚化<sup>2</sup>、大規模感染症やテロ・武力攻撃のリスク拡大など、これまで経験したことのないあらゆる危機事態への対応が求められています。

さらに、少子高齢化の進展や防災施設を含めた公共インフラの老朽化等は、これら危機事態への対応を難しくさせる要因でもあります。

それでも、当市が持つ地域のつながりやコミュニティはそれらを跳ね返す力を持っています。これまでの防災への活動成果を最大限活かしながら、自助・共助・公助を促進する取り組みを総合的に推進し、市民の命と暮らしを守る体制強化を進めていきます。

## 施策と内容

### 1. 危機管理体制の実効性を向上させます

あらゆる危機事態に迅速に対応する体制を維持するとともに、経験したことのない危機事態への対応力を向上させるために、状況の変化にも的確に対処できる取り組みを進めます。

また、災害対応の原動力となる消防団の組織力を強化するほか、災害対応のキーマンとなる市職員の育成を進めることで、危機管理体制の実効性を向上させます。

#### 主要な取り組みの事例

- 国土強靱化地域計画や地震対策アクションプログラムに沿った事業の推進
- UPZ安全協定<sup>3</sup>の適切な運用
- BCP<sup>4</sup>等に基づく対応力の強化
- 消防団の体制の見直しと団員確保の取り組み
- 危機管理の専門知見を有する人材の育成

めざす値

#### 防災マイスター<sup>5</sup>育成講座修了者数

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 77人       | 230人      |

### 2. 地域防災力の維持・向上の取り組みを加速します

激甚化する自然災害の様相は、気象警報や避難情報の伝達が間に合わないことがあり得ることを示しています。また、大規模地震時には、初動での人命救助活動や初期消火活動、さらに、要配慮者<sup>6</sup>を含めて地域の隅々まで救援の手を差し伸べる行動は、自主防災組織等の地区の救援組織が担うことになります。

少子高齢化の中にあって、地域のコミュニティ力を活かし、地域の特性や実情に応じた共助の仕組みづくりを着実に進めるなど、地域防災力強化の取り組みを加速します。

#### 主要な取り組みの事例

- 自主防災組織の活動支援や補助金制度の検討
- 洪水・土砂災害ハザードマップ<sup>7</sup>の更新
- 地域防災の核となる人材の育成

めざす値

#### 地域の防災訓練参加率

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 50.29%    | 52.0%     |

めざす値

#### 静岡県ふじのくにジュニア防災士認定者数（累計）

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 314人      | 4,000人    |

#### 用語解説

- 【スーパー台風】風速が70m/sを超える台風
- 【激甚化】きわめてはげしいこと、はなはだしいこと。また、そのさま
- 【UPZ安全協定】「浜岡原子力発電所の周辺市町の安全確保等に関する協定書」のこと。平成28年7月8日に、県知事、中部電力株式会社代表取締役社長社長執行役員、5市2町（島田市、藤枝市、焼津市、袋井市、磐田市、吉田町、森町）首長が調印した。
- 【BCP（業務継続計画）】Business Continuity Planの略で、災害・事故を受けても重要業務をなるべく中断せず、中断してもできるだけ早急に復旧させるための計画
- 【防災マイスター】市の危機管理に関する当事者意識や目的意識を堅持して、市長（対策本部長）や住民の立場に立って判断・行動し、冷静・沈着に職責を遂行できる人材

## この柱のみんなでめざそう値

防災メール登録者数

H28(2016)  
3,900人H33(2021)  
6,500人政策分野1  
防災・福祉・健康

▲防災訓練（救出救助訓練）



▲はしご車救出体験

## 3. 市民の安全確保を確実にする条件整備を進めます

情報や警報の伝達体制を整備するとともに、直接的・間接的に居住空間の安全を確保できるハード対策を進めます。また、交通インフラ等の耐震化や長寿命化を図るなど、様々な災害や危機事態に対する市民の安全確保を確実なものとしていきます。

## 主要な取り組みの事例

- デジタル式同報系防災行政無線<sup>8</sup>の整備方針の検討
- ICTやドローンを活用した災害情報の収集・処理システムの導入
- 第一次指定避難所への公衆無線LAN<sup>9</sup>の整備
- 木造住宅の耐震化など家庭の防災対策への支援
- 木造住宅からの大規模火災リスク軽減を図る感震ブレーカーの設置促進
- 島田市公共施設等総合管理計画を踏まえた公共施設の耐震化
- 横井中央線の電線類地中化による、市街地から広域避難地を結ぶ安全・安心な避難経路の確保
- 土砂災害から市民の命と財産を守るハード整備

めざそう値

## 一般住宅の耐震化率

H28(2016)  
80.8%H33(2021)  
95.0%

## 4. 広域の消防救急体制を含め、関係機関等との連携体制を充実強化します

広域消防救急体制のスケールメリットを最大限に活かして、火災・事故・災害の初動において市民の生命・財産を確実に守る体制を堅持します。

また、自衛隊、消防、警察、DMAT<sup>10</sup>等の広域応援部隊はもとより、指定地方公共機関<sup>11</sup>として指定を受けた事業所のほか、災害応援協定を締結した自治体や民間事業者、ボランティア活動を担う民間団体等との連携体制を充実・強化します。

## 主要な取り組みの事例

- 消防救急広域体制の維持と効果を高める取り組み
- 救命率向上のための、市民への応急手当の知識・技術の普及
- 関係機関、関係団体等との災害応援協定の締結及び協定に基づく連携体制の具現化の検証

めざそう値

## 関係機関等との合同訓練等の連携団体数

H28(2016)  
20団体H33(2021)  
25団体

## 用語解説

6【要配慮者】高齢者、障害者、乳幼児等の防災施策において特に配慮を要する者

7【ハザードマップ】災害時被害等の予測を地図で表したもの

8【デジタル式同報系防災行政無線】アナログ方式の同報系防災行政無線（屋外拡声器を介して、市町村役場から住民等に対して直接・同時に防災情報や行政情報を伝えるシステム）の伝送方式をデジタル化したシステム。近年の大規模災害の発生を教訓として、防災行政無線にはこれまで以上に多様化・高度化する通信ニーズ（画像伝送・データ伝送等）への対応が要求されるとともに、平常時における有効活用を図るために更なる改善が求められている。

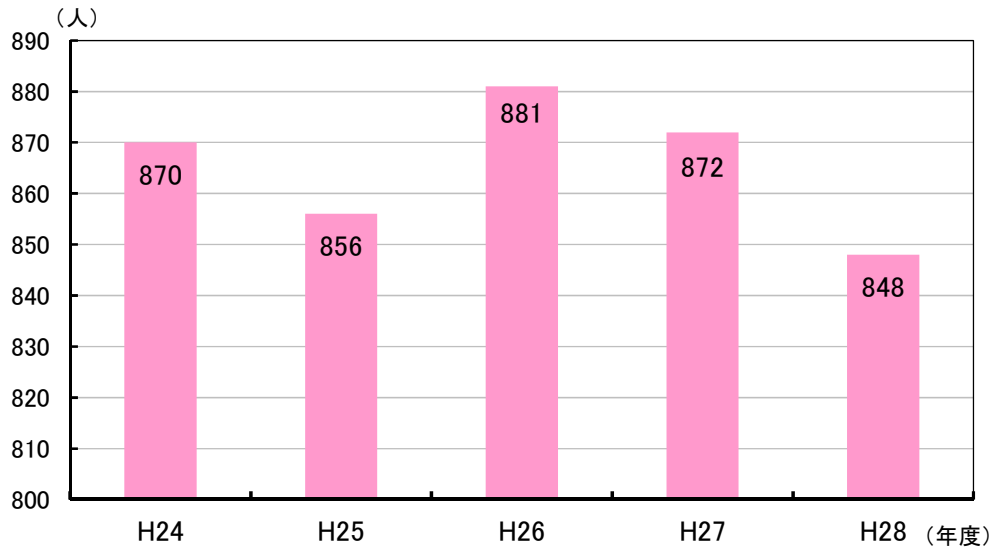
9【公衆無線LAN】無線LANを利用したインターネットへの接続を提供するサービスを指す。

10【DMAT】Disaster Medical Assistance Teamの略で、専門的なトレーニングを受け、災害急性期に活動できる機動性を有する、救命治療を目的とする医療チームのこと

11【指定地方公共機関】都道府県の区域において電気、ガス、輸送、通信、医療その他の公益的の事業を営む法人、地方道路公社その他の公共施設を管理する法人及び地方独立行政法人で、あらかじめ当該法人の意見を聴いて当該都道府県知事が指定する機関

## 関連データ

### ■消防団員数の推移



※各年度4月1日現在

### ■大規模地震災害に備えた対策状況

| 年度             | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   |
|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 耐震シェルター設置数 (件) | -     | -     | -     | -     | 7     |
| 防災ベッド設置数 (件)   | -     | -     | -     | -     | 7     |
| 家具の固定化実施数 (件)  | 27    | 22    | 5     | 9     | 17    |
| 住宅用火災警報器普及率    | 74.4% | 76.0% | 73.0% | 89.0% | 90.0% |

### ■災害応援協定の締結状況

| 協定締結先           | 協定締結数 |
|-----------------|-------|
| 国・県・市町・協会との協定   | 11    |
| 民間事業者との協定       | 50    |
| 医療機関・社会福祉施設との協定 | 21    |
| 旅館・ビジネスホテルとの協定  | 10    |

※平成29年4月1日現在



▲防災訓練（消火訓練）



# 健康で自分らしく暮らす

(健康づくり・地域医療)

## 基本的な施策の方向性

全国的な傾向と同様に当市でも、三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）が主な死亡原因となる割合が増えています。こうしたことから、望ましい生活習慣への改善や各種がん検診、特定健診への理解を深めることで、がんの早期発見・早期治療をはじめとする生活習慣病の発症予防・重症化予防を進めます。

また、うつ病など「こころの病」を発症する人が増加しています。自殺要因に大きく影響することから、からだの健康づくりに加え、こころの健康づくりへの取り組みも進めます。

市民の安全・安心の砦、そして、地域医療の核となる新市立島田市民病院については、平成32年度（2020年度）中の開院に向け建設事業を着実に推進していくとともに、医療の担い手（医師・看護師など）の確保・充実を目指します。

## 施策と内容

### 1. 健康の保持増進を促進します

「島田市健康増進計画」に基づき、生活習慣病の発症予防・重症化予防を図るため、地域の場の力（ソーシャルキャピタル）<sup>1</sup>を活用していきます。

また、「しまだ健幸マイレージ」<sup>2</sup>の拡充により、市民の健康づくりや生きがいにむけた取り組みを支援します。

#### 主要な取り組みの事例

- がん検診、特定健診の実施
- 糖尿病性腎症重症化予防に向けた取り組み
- 市民のセルフケア意識を高める「しまだ健幸マイレージ」活動の推進
- 健康伝道師の役割を持つ「健幸アンバサダー」の養成

めざす値

国民健康保険事業特定保健指導<sup>3</sup>実施率

H28(2016) 88.5% → H33(2021) 88.5%

めざす値

健幸アンバサダー<sup>4</sup>数（累計）

H28(2016) — → H33(2021) 800人

### 2. 食育を促進します

「島田市食育推進計画」に基づき、食を通じた健康づくりを継続的に支援するため、正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよう、積極的に食育<sup>5</sup>に取り組みます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「島田市食育推進計画」に基づく、市民一人ひとりが主体的に食育を実践できる環境づくり
- 家族や仲間と食事を取る「共食」の推進
- 学校給食を活用した食育の推進

めざす値

朝食を食べてくる子供の割合  
（5日間朝食を毎日食べた子供の割合）  
（小学校）

H28(2016) 92.9% → H33(2021) 95.0%

（中学校）

H28(2016) 90.7% → H33(2021) 93.0%

## 用語解説

- 1 【地域の場の力（ソーシャルキャピタル）】人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴
- 2 【しまだ健幸マイレージ】市民の健康づくりを応援するポイント制度で、運動や食事、健（検）診、社会参加など、自分に合った健康づくりに取り組みポイントを貯め、特典に応募できる仕組み
- 3 【特定保健指導】特定健診の結果から、生活習慣病の発症リスクが高く、生活習慣の改善による生活習慣病の予防効果が多く期待できる方に対して、保健師、管理栄養士などが行う生活習慣の見直しを促す指導のこと
- 4 【健幸アンバサダー】健康づくりに関する正しい知識や上手な情報の伝え方を学び、友人や近所の人など、周囲の人に情報を伝える人

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「健康の増進  
(健康診断や予防対策)」  
における市民満足度

H28(2016)  
58.0%  
68.6%

H33(2021)  
60.0%  
69.7%

# 政策分野1

## 防災・福祉・健康



▲歯と口のフェスティバル

### 3. 新市立島田市民病院の建設を推進します

平成32年度(2020年度)中の新市立島田市民病院の開院に向けて、着実に建設事業を推進していくとともに、関連する周辺環境整備事業を進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 急性期を中心とした医療を担う新病院の建設と災害拠点病院としての機能充実
- 新病院周辺に必要な道路、水路などの基盤整備の実施

めざそう値

#### 新市民病院建設事業進捗率

H28(2016)  
0.7%

H33(2021)  
97.3%

### 4. 地域医療の充実と確保を図ります

新市立島田市民病院建設と合わせて、地域医療連携の強化、救急医療及び災害医療体制の維持、医療と介護の連携推進、国民健康保険事業の安定運営等により、地域医療の確保を図ります。

#### 主要な取り組みの事例

- 市民・医療機関・行政がそれぞれの役割を果たす安定した地域医療体制の構築
- 圏域全体の医療機能の確保と救急医療体制の維持
- 在宅医療体制の整備、地域における介護と医療の連携強化
- 24時間365日訪問看護ステーションの機能拡充
- 市民病院における医療スタッフの確保
- 国民健康保険事業の安定的かつ健全な運営

めざそう値

#### 市民意識調査「医療の充実」における市民満足度

H28(2016)  
34.7%  
40.8%

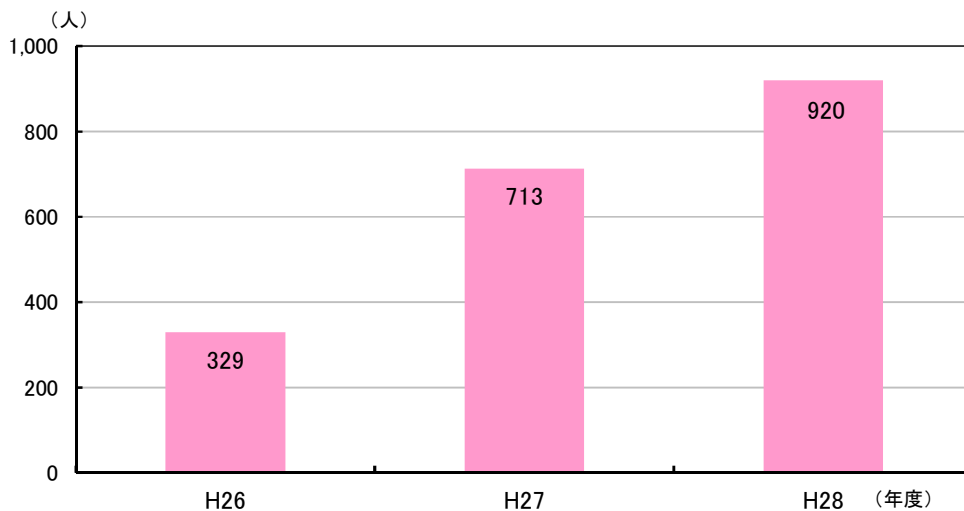
H33(2021)  
45.0%  
50.0%

#### 用語解説

- 5【食育】生きる上での基本であって、知育・徳育・体育の基礎となるものであり、様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実現することができる人間を育てること

## 関連データ

### ■しまだ健幸マイレージ参加者数の推移



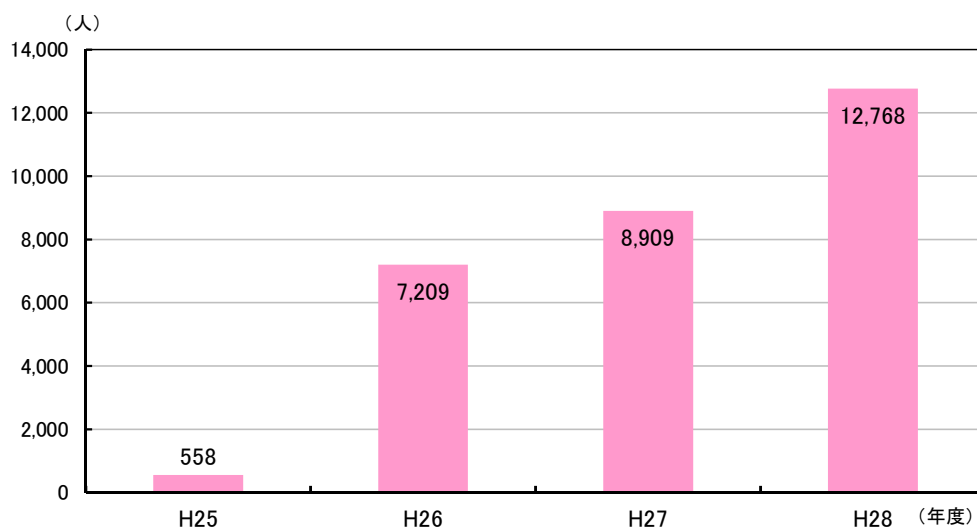
※H28年度は、2期制・短期(団体戦)の合計

### ■朝食欠食率の推移

単位：％

| 年度  | H24  | H25  | H26  | H27  | H28  |
|-----|------|------|------|------|------|
| 小学校 | 4.88 | 5.28 | 3.81 | 4.31 | 7.07 |
| 中学校 | 6.25 | 8.69 | 8.66 | 9.68 | 9.31 |

### ■食育普及活動（関係団体との共同事業を含む）参加人数の推移







▲新市立島田市民病院イメージ図（基本設計）

# 生涯を通じて誰もが生きがいを持ち安心して暮らす（高齢者・介護）

## 基本的な施策の方向性

一人ひとりの自立した生活と健康寿命の延伸を図るため、介護予防<sup>1</sup>や生きがいづくりを進めるとともに、誰もが安心して暮らすことができるよう、地域における支え合いの仕組みづくりや関係機関との連携による包括的かつ適切なサービスの提供に取り組んでいきます。

そして、医療や介護を必要とする状態になっても、住み慣れた地域で最期まで自分らしく暮らすことができる医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体となった「地域包括ケアシステム」の推進に向けて、各種施策を実施していきます。

## 施策と内容

### 1. 自立した生活と健康寿命の延伸を図ります

高齢者が自立した生活を続けることができるよう、介護予防事業を拡充するとともに、認知症予防や生きがいづくりの取り組みを支援し、心身の健康増進を図ります。

また、ボランティアなどの様々な主体からの協力を得ながら、身近な地域でそれぞれの経験を活かして活躍できる環境づくりを推進し、高齢者自身の生きがいや介護予防につなげます。

#### 主要な取り組みの事例

- 介護予防への取り組みを支援する「しまトレ<sup>2</sup>」の推進
- 気軽に集まり交流できる居場所の整備
- 生きがいづくりと健康増進のための、老人クラブ等の社会活動への参加促進・活動支援

めざす値

#### しまトレ実施箇所数

H28(2016)

—

H33(2021)

120 か所

### 2. 多様な主体による生活支援体制を整備します

それぞれの地域に合わせて「自助・互助・共助・公助」をバランスよく組み合わせた生活支援体制の整備を進め、地域の資源を活用しながら、地域のつながりを大切にする仕組みを構築します。

#### 主要な取り組みの事例

- 生活支援コーディネーター<sup>3</sup>の配置やサービスの担い手の発掘
- 高齢者同士の互助の体制整備

めざす値

#### 住民主体の生活支援サービス（家事支援等）実施団体数

H28(2016)

1 団体

H33(2021)

3 団体

### 3. 安心して暮らせる環境整備を推進します

住み慣れた地域で、自分らしく安心して生活することができる環境づくりを進めます。

生活環境の向上に加えて防災対策や防犯対策などを進め、すべての高齢者が安全で安心して暮らすことができるまちづくりを推進します。

#### 主要な取り組みの事例

- 高齢者を日常的に見守るネットワークの充実・強化
- 成年後見制度<sup>4</sup>の普及と活用促進

めざす値

#### 地域高齢者見守りネットワーク協力事業所数

H28(2016)

108 事業所

H33(2021)

190 事業所

#### 用語解説

- 1【介護予防】運動機能の低下や低栄養状態等からくる生活機能の低下により、要支援、要介護状態になることや、要介護状態が悪化することを防ぐこと
- 2【しまトレ】介護予防に効果的な体操
- 3【生活支援コーディネーター】地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たす者
- 4【成年後見制度】認知症、知的障害、精神障害等の理由により判断能力が不十分となった人が、財産管理や契約で不利益を被ることや、人間としての尊厳が損なわれることのないよう、主に法律面で支援する制度

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「高齢者の医療・介護・福祉の充実」における市民満足度

H28(2016)

33.1%

41.1%

H33(2021)

34.1%

42.0%

政策分野1  
防災・福祉・健康

▲シニアトレーニングルーム開放事業



▲居場所づくり事業

## 4. 心身の状態変化に応じた包括的支援を推進します

高齢者が住み慣れた地域で適切なサービスを受けられ、民間企業やNPO法人、地縁組織等の社会資源を活用することができるよう、地域の中で必要な支援につなげる中核的な拠点として、地域包括支援センター<sup>5</sup>の機能充実を図り、高齢者の心身の状態変化に応じた生活の質を確保します。また、高齢者に医療と介護サービスを一体的に提供するため、医療と介護の連携を強化していきます。

今後、認知症の方が増えていくと見込まれる中で、本人や家族、一人暮らしの認知症高齢者にとっても、地域で安心して暮らしていくための体制づくりを推進します。

## 主要な取り組みの事例

- 「地域ケア会議」や「自立支援型地域ケア会議」による課題の解決
- 在宅医療の支援体制の構築、地域における医療と介護の連携強化
- 認知症初期集中支援チームの取り組みの充実

めざす値

要支援認定者等の認定区分改善率

H28(2016)

—

H33(2021)

60.0%

めざす値

認知症カフェ<sup>6</sup>実施箇所数

H28(2016)

—

H33(2021)

5か所

めざす値

在宅等看取りの率

H27(2015)

37.2%

H33(2021)

40.0%

## 5. 介護保険サービスの適切な提供を推進します

高齢者が支援や介護が必要な状態となっても地域で自分らしい暮らしを継続できるよう、介護サービスの充実と介護保険事業の適正な運営に努め、将来にわたる安心な暮らしと制度の持続性を確保します。

## 主要な取り組みの事例

- 質の高い介護サービスの安定的な供給
- 要介護認定<sup>7</sup>の適正化
- ケアマネジメント<sup>8</sup>の点検とケアマネジャー<sup>9</sup>への支援
- 介護サービス提供事業所への指導を通じて質の高い適正なサービス提供の促進

めざす値

要介護・要支援認定率

H28(2016)

12.13%

H33(2021)

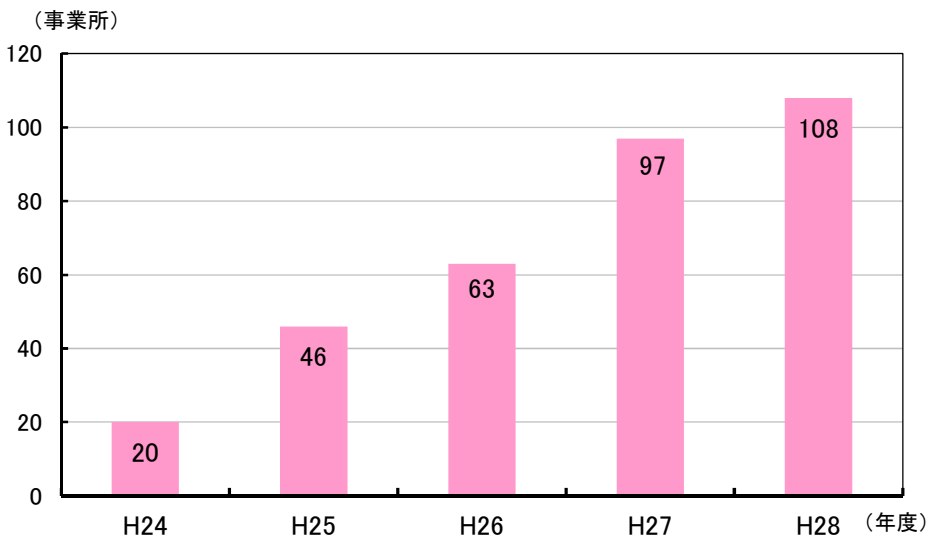
12.75%以下

## 用語解説

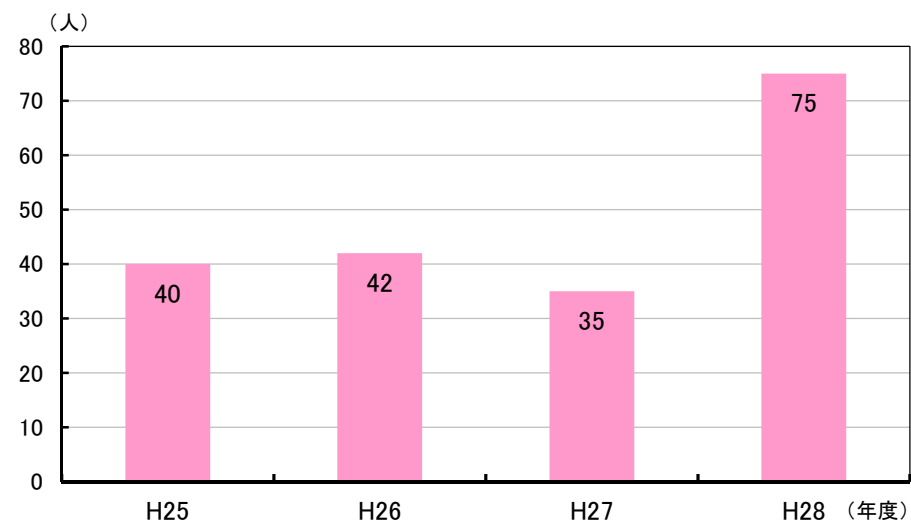
- 5【地域包括支援センター】高齢者が住み慣れた地域で、その人らしい生活を続けられるように、介護・保健・医療・福祉の幅広い相談に応じ、助言や支援を行う総合相談窓口。介護保険法に基づき、市に設置されている。
- 6【認知症カフェ】認知症の方やその家族が、地域の人や専門家と相互に情報を共有して理解し合うとともに、認知症の方の介護者の負担軽減を図る場所
- 7【要介護認定】介護保険制度では、寝たきりや認知症等で常時介護を必要とする状態（要介護状態）になった場合や、家事や身支度等の日常生活に支援が必要であり、特に介護予防サービスが効果的な状態（要支援状態）になった場合に、介護サービスを受けることができる。この要介護状態や要支援状態にあるかどうか、その中でどの程度かの判定を行うのが要介護認定（要支援認定を含む。以下同じ）であり、保険者である市町村に設置される介護認定審査会において判定される。
- 8【ケアマネジメント】利用者自身の心身の状況やニーズを捉え、尊厳をもって自立した生活ができるよう支援していく一連の過程。
- 9【ケアマネジャー】要介護または要支援の認定を受けた高齢者等から相談に応じ、その心身の状況に合わせて適切なサービスを利用できるよう、介護サービス計画（ケアプラン）等を作成し、介護サービス事業者や関係機関との連絡・調整を行う者

## 関連データ

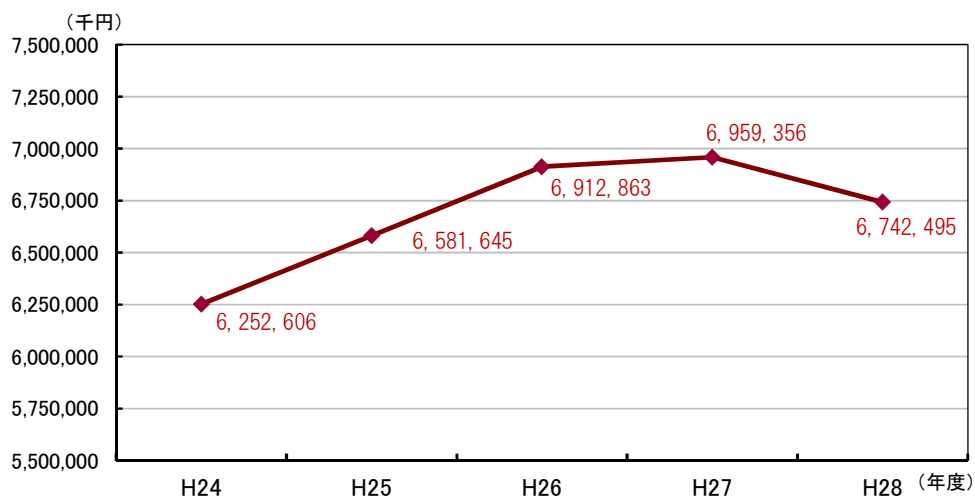
### ■地域高齢者見守りネットワーク協力事業所数の推移



### ■シニアトレーニング指導員養成講座受講者数（実人数）の推移



### ■介護保険給付費（決算額）の推移





▲認知症カフェ（「島田オレンジカフェ」）



# 弱い立場の人を支えあう

## (地域福祉・障害福祉)

### 基本的な施策の方向性

全国的な傾向と同様に、当市でも苦しい生活を余儀なくされている方が増えており、生活保護に至る前の段階から、支援を充実していく必要があります。

また、障害のある人が地域で安心して暮らすことができるように、行政の取り組みに加え、地域住民や事業者、関係機関が連携し、障害のある人もない人も共に認めあい、支えあいながら生活できる環境づくりが求められています。

市民一人ひとりが、いきいきと安心して暮らせるよう、地域における「ふれあい」「支えあい」「助けあい」の体制づくりを進め、地域の中で人と人との確かな絆を感じられるものとし

ます。

### 施策と内容

#### 1. 地域福祉活動を積極的に推進します

「島田市地域福祉計画」に基づき、地域住民と行政及び社会福祉協議会がそれぞれの役割分担のもと、地域内での交流機会を増やし、地域で活躍する人材を育て、地域における課題解決力を高めていく仕組みづくりを進めます。

また、地区社会福祉協議会<sup>1</sup>などが把握した福祉課題やニーズなどを、行政と社会福祉協議会が共有し、連携して支援することで、地域ぐるみで支え合い、助け合う活動の充実を図ります。

##### 主要な取り組みの事例

- 福祉関係団体との連携を強化した、地域福祉活動の充実
- 小地域福祉活動を推進する地区社会福祉協議会の設立支援

めざす値

##### 地区社会福祉協議会の設置数

H28(2016)

11 件

H33(2021)

20 件

#### 2. 自立した生活を送ることができるよう支援します

苦しい生活を余儀なくされている人が自立し、安定した生活を送ることができるように、生活困窮者自立支援制度<sup>2</sup>や生活保護制度に基づき支援します。

##### 主要な取り組みの事例

- 地域との連携による生活困窮者の自立支援
- 生活保護が必要される世帯が自立するための就労支援

めざす値

##### 生活困窮者の年間自立相談支援件数

H28(2016)

58 件

H33(2021)

69 件

#### 用語解説

- 【地区社会福祉協議会】地域の福祉課題の解決に向け、地域住民全員が福祉の担い手となり、住民同士がお互いに「支え合うこと」を目的に様々な活動を展開する任意の団体
- 【生活困窮者自立支援制度】生活困窮者に対し、自立相談支援事業、住宅確保給付金の支給、就労準備支援事業、家計相談支援事業、就労訓練事業、生活困窮世帯の子どもの学習支援、一時生活支援事業などの支援を行う制度のこと。平成27年4月から開始されている。

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査  
「福祉環境がよい」  
と感じる市民の割合H28(2016)  
69.1%  
77.2%H33(2021)  
80.0%  
87.0%政策分野1  
防災・福祉・健康

▲フードバンク。

## 3. 障害の相互理解と障害のある人の社会参加を促進します

障害の有無にかかわらず、地域に住むすべての人が互いに理解を深め、障害のある人の社会参加を促進し、自分らしく生きることができる社会の実現を目指します。

## 主要な取り組みの事例

- 障害のある人が社会参加できる環境づくり
- 障害の特性に応じたコミュニケーション支援の充実
- 障害のある人に対する理解の啓発

めざそう値

市民意識調査「障害者が生活しやすい環境づくり」における市民満足度

H28(2016)  
18.8%  
33.1%H33(2021)  
20.0%  
35.1%

## 4. 障害福祉サービスの充実に図ります

障害のある人が、住み慣れた地域で安心していきいきと暮らすことができるよう、障害福祉サービス<sup>4</sup>の充実に図ります。

## 主要な取り組みの事例

- 障害の特性や程度に応じた障害福祉サービスの提供
- 障害のある人とその家族が気軽に相談できる体制の充実
- 権利擁護施策<sup>5</sup>の推進や虐待防止対策の強化

めざそう値

計画相談支援の年間利用者数

H28(2016)  
859人H33(2021)  
985人

## 5. 障害者雇用・就労を促進します

障害のある人が能力と適性に応じた職に就き、地域で誇りをもって自立した生活を送ることができるよう、就労機会を拡大する取り組みを支援します。

## 主要な取り組みの事例

- 障害のある人の能力や適性に応じた雇用環境の整備・確保に向けた企業等への働きかけ
- 障害の特性に配慮した就労支援

めざそう値

障害者雇用率

H28(2016)  
1.97%H33(2021)  
2.30%

## 用語解説

3【フードバンク】品質に問題のないものの、やむなく捨てられてしまう食品を無償で提供してもらい、支援を必要とする人たちに対して、食品を届ける活動

4【障害福祉サービス】障害者の日常生活と社会生活を総合的に支援するための法律に基づき、国県によって仕組みが統一された「自立支援給付」と、地域での生活を支えるために、地域の実情に応じて実施される、市独自の「地域生活支援事業」がある。個々の障害のある人々の障害程度や勘案すべき事項（社会活動や介護者、居住等の状況）を踏まえ、個別に支給決定が行われる。

5【権利擁護施策】人権が侵されないよう保護するための施策



## 関連データ

### ■地区社会福祉協議会の一覧

| 名称           | 設立年月      |
|--------------|-----------|
| 御仮屋町社協       | 平成21年 1 月 |
| 第三地区社協       | 平成21年 3 月 |
| 道悦島地区社協      | 平成22年 1 月 |
| 岸町地区社協       | 平成22年 4 月 |
| 川根身成地区社協     | 平成24年 8 月 |
| 阿知ヶ谷・東光寺地区社協 | 平成25年 3 月 |
| 東町地区社協       | 平成25年 3 月 |
| 金谷地区社協       | 平成26年 3 月 |
| 初倉南小学校区地区社協  | 平成26年 4 月 |
| 第四地区社協       | 平成27年 4 月 |
| 大津地区社協       | 平成29年 3 月 |

出典：島田市社会福祉協議会ＨＰ

### ■生活保護対象被保護者数・被世帯数の推移

| 年度         | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 被保護者数（人）   | 277 | 287 | 302 | 305 | 318 |
| 被保護世帯数（世帯） | 201 | 208 | 226 | 239 | 250 |

### ■障害者就労支援の状況

| 年度  | 就労移行支援事業     |              | 就労継続支援事業     |              |              |              |
|-----|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
|     |              |              | A 型          |              | B 型          |              |
|     | 実利用人数<br>（人） | 延利用日数<br>（日） | 実利用人数<br>（人） | 延利用日数<br>（日） | 実利用人数<br>（人） | 延利用日数<br>（日） |
| H24 | 33           | 6,105        | 32           | 5,552        | 203          | 48,592       |
| H25 | 25           | 2,995        | 36           | 5,738        | 217          | 41,497       |
| H26 | 17           | 2,340        | 42           | 7,266        | 230          | 44,166       |
| H27 | 23           | 1,654        | 41           | 7,164        | 238          | 45,950       |
| H28 | 32           | 3,034        | 41           | 7,590        | 242          | 48,604       |

## 政策分野2

### 【子育て・教育】

#### 子育て・教育環境が充実するまちづくり

- 2-1 子どもを生ま育てやすい環境をつくる  
(子育て)
- 2-2 地域ぐるみの教育環境をつくる  
(学校支援・子供支援)
- 2-3 豊かな心を育む教育を進める  
(義務教育)
- 2-4 地域で学びの力を発揮する人材を育てる  
(社会教育)
- 2-5 生涯スポーツを楽しむ人を増やす  
(スポーツ活動)

# 子どもを生み育てやすい環境をつくる（子育て）

## 基本的な施策の方向性

少子化が進み核家族や共働き家庭が増加する中で、子どもと家族、子どもと地域の関係をとりにくく社会環境が目まぐるしく変化しています。

このような状況に柔軟に対応するため、子どもを真ん中に「島田ならではの子育て」「地域全体での子育て応援」に力を入れ、親と子への切れ目ない支援や子どもを社会全体で健やかに育てていく環境を整えていきます。

## 施策と内容

### 1. 家庭を持ちたくなる環境づくりを推進します

少子化の背景にある男女の未婚化には、家庭や子どもを持つことへの経済的な不安をはじめ、職場外などにおける出会いの場の減少といった課題が潜んでいます。

市内で家庭を持つきっかけづくりを積極的に行うとともに、家庭を持った後の夫婦生活や、子どもを産み育てることへの不安を軽減する取り組みにより、安心して生活できる環境を整えていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 家庭を持つきっかけづくりとなる出会いの場の提供
- 不妊治療や不育症治療等に要する経費の一部助成

めざす値

#### 結婚支援事業マッチング成立数

H28(2016)

37組

H33(2021)

31組

### 2. 子育てを温かく見守る環境をつくります

妊娠・出産・子育てに伴う不安や負担をできるだけ軽減するため、切れ目なく包括的に支援する体制を強化します。

併せて、地域における子育て支援を充実させ、子どもの健やかな成長を地域で見守る気運と子育てへの理解を高めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 子育てに関する必要な支援全般を担う「子ども家庭総合支援拠点」の整備
- 総合相談窓口「子育てコンシェルジュ」の業務内容の充実
- 地域の子育て支援センター<sup>1</sup>を通じた子育て仲間同士の交流機会の創出
- 育児サポーター<sup>2</sup>の派遣による子育てのスタート支援
- ファミリー・サポート・センター事業の充実
- ペアレントサポーター<sup>3</sup>と協働した「子育て広場」の開催
- 「島田市子育て応援サイトしまいく」による子育て情報の発信

めざす値

#### ファミリー・サポート・センター会員数

H28(2016)

415人

H33(2021)

424人

## 用語解説

- 【子育て支援センター】地域子育て支援拠点として子育て中の親子にとっての身近な支援場所。子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図り、子育て等に関する相談・援助の実施や子育て関連情報の提供・講習等を実施するため拠点
- 【育児サポーター】就学前の子どもと同居している妊娠中の母親や出産後間もない子どもをもつ母親に対して、家庭訪問により育児援助・相談を行う育児経験のある保育士
- 【ペアレントサポーター】妊婦から就学前までの保護者の居場所づくりの支援や、公共施設を使った読み聞かせ活動など、子どもの「生きる力」を培う上で重要な家庭教育をサポートする支援員

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「保育環境の  
充実や子育てへの支援」に  
おける市民満足度

H28(2016)  
41.0%  
55.7%

H33(2021)  
45.0%  
60.3%

政策分野2  
子育て・教育

▲子ども館プレイルームぼるね



▲初倉児童センター

## 3. 安心できる母子保健体制等を整えます

核家族化、少子化、晩婚化、そして地域のつながりの希薄化など、妊娠、出産、子育てにかかる不安や負担感を抱く市民が増えています。これらの不安な思いを軽減させ、母子をやさしく包み込む、温かな支援に努めていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 子育てに関わる総合相談窓口となる「子育て世代包括支援センター<sup>4</sup>」の運営
- 母子保健コーディネーター<sup>5</sup>を通じた妊娠期から出産、子育て期にわたる切れ目のない支援
- 乳幼児健康診査や健康相談の実施
- 重度の障害のある子どもの家庭への支援と育児負担の軽減
- 医療費助成を通じた乳幼児等の健全な育成
- ひとり親家庭に対する経済的支援と自立支援

めざそう値

子育て世代包括支援センターてくてくの  
相談件数（年間）

H28(2016)  
337 件

H33(2021)  
500 件

## 4. 子育てのしやすい環境を整えます

子どもの健全な育成のため、保育所等や放課後児童クラブ<sup>6</sup>の待機児童の解消に向けた取り組みを進め、保護者の就労支援にもつなげます。

また、子どもの学び・遊びの場や大人の悩みを相談できる場をつくり、子育て世代を支援する環境を整備していきます。

## 主要な取り組みの事例

- 保育ニーズに合わせた保育定員数の拡大や認定こども園<sup>7</sup>への移行支援
- 保育料の第2子半額、第3子以降の無償化
- 発達に課題のある子どもへの支援体制の構築
- 放課後児童クラブにおける待機児童の解消と指導員不足の解消
- 経済的に厳しい状況に置かれている子どもへの支援

めざそう値

保育所等の年度当初における待機児童数

H28(2016)  
24 人

H33(2021)  
0 人

## 用語解説

4【子育て世代包括支援センター】妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に対応するため、母子保健にかかる専門職が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から出産、子育て期にわたるまでの切れ目のない支援を行う拠点。島田市保健福祉センター1階に現在開設している。

5【母子保健コーディネーター】母子保健に関する専門的な知識を持った保健師

6【放課後児童クラブ】保護者が仕事等で昼間家庭にいない小学校に就学している児童を放課後の時間帯や夏休み等の長期休暇期間に預かる施設

7【認定こども園】幼稚園・保育所のうち、就学前の子どもにも教育・保育を提供する機能、地域における子育て支援を行う機能を備える施設について、都道府県から認定こども園としての認定を受けた施設

## 関連データ

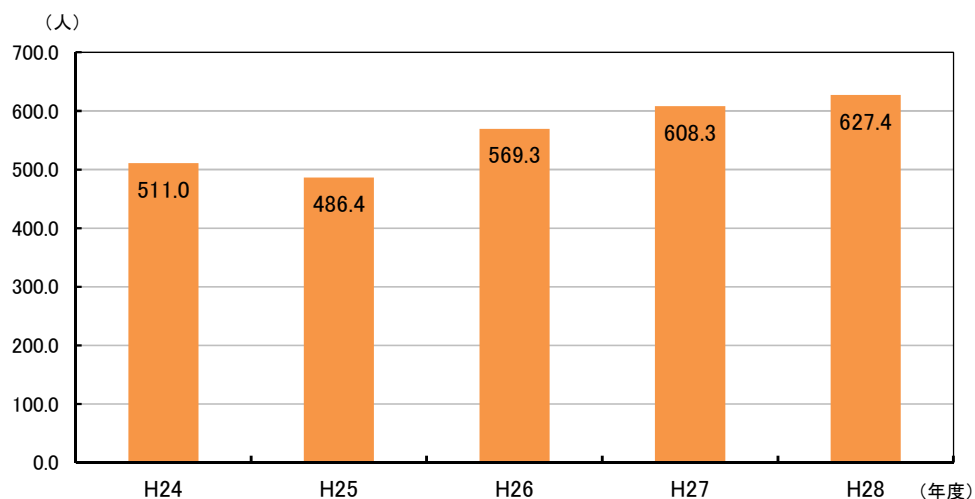
### ■ 1歳6か月児健康診査受診状況

| 年度     | H24  | H25  | H26  | H27   | H28  |
|--------|------|------|------|-------|------|
| 対象者（人） | 823  | 797  | 786  | 785   | 772  |
| 実施者（人） | 815  | 794  | 774  | 785   | 752  |
| 受診率（％） | 99.0 | 99.6 | 98.5 | 100.0 | 97.4 |

### ■ 3歳児健康診査受診状況

| 年度     | H24   | H25  | H26   | H27  | H28  |
|--------|-------|------|-------|------|------|
| 対象者（人） | 820   | 854  | 848   | 819  | 822  |
| 実施者（人） | 822   | 848  | 848   | 816  | 814  |
| 受診率（％） | 100.2 | 99.3 | 100.0 | 99.6 | 99.0 |

### ■ 放課後児童クラブ平均登録者数の推移





▲島田市子育てガイドブック



# 地域ぐるみの教育環境をつくる (学校支援・子供支援)

## 基本的な施策の方向性

社会環境が目まぐるしく変化している昨今、子供と親、子供と地域、子供と学校との関係が希薄化していく傾向にあります。当市は、世代を超えた地域の教育力が子供を育てるという趣旨のもと、生活体験や社会体験、自然体験などの学びの機会を創出しています。

少子化により児童・生徒数の減少が進む中で、地域目線から学校のあり方について検討していくことが求められています。地域全体が問題意識を持ちながら、地域の将来を担う子供たちのためになる教育環境を整えていく必要があります。

## 施策と内容

### 1. 地域全体で学校教育を支援します

行政を含め、地域全体で学校教育を支援することにより、教員が子供と向き合える時間を増やし、地域総ぐるみで教育力の向上を図ります。

#### 主要な取り組みの事例

- 地域や家庭が一体となって地域の教育力向上を図る「学校支援地域本部事業<sup>1</sup>」の実施
- 地域の教員OBや大学生、学校教育支援員<sup>2</sup>等と連携した寺子屋事業<sup>3</sup>の推進

めざす価値

#### 学校支援地域本部事業等ボランティア活動延べ人数

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 118人      | 370人      |

### 2. 地域の人・資源を活かした学びの場をつくります

子供たちの夢を膨らますことができるような教育活動を行います。

地域の自然や和文化を活かした学びの場を創出し、「感動する心」「みとめ合う心」「強い心」を持ったふるさと帰属意識の強い子供を育てます。

#### 主要な取り組みの事例

- 子供の夢を膨らませる活動や、地域資源を活かした教育の実践
- 中山間地域の豊かな自然とゆったりとした生活に触れられる機会の提供
- 「放課後子ども総合プラン<sup>4</sup>」に基づく放課後子ども教室の実施

めざす価値

#### 将来の夢や目標を持っている子供の割合

| (小学校)     |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 85.3%     | 88.0%     |

| (中学校)     |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 71.1%     | 72.0%     |

## 用語解説

- 【学校支援地域本部事業】地域教育協議会（運営委員会）、地域コーディネーター、学校支援ボランティアによって構成される地域全体で学校教育の支援を行う組織を設置し、学校・家庭・地域が一体となって教育を支える体制を整備する事業
- 【学校教育支援員】発達障害や学習障害など、特別な支援を必要とする子どもたちに対し、個別の対応を行う支援員
- 【寺子屋事業】社会総がかりで子供たちを育む環境づくりの推進に向けて、家庭等において主体的に学習に取り組む習慣を身に付けることができるよう、地域の教育力を活用して放課後等に学習支援を行う事業
- 【放課後子ども総合プラン】全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、厚生労働省所管の「放課後児童クラブ」と文部科学省所管の「放課後子供教室」を一体的あるいは連携して実施するという総合的な放課後対策事業のこと

## この柱のみんなでめざそう値

島田に住み続けたい人の  
割合(成人式アンケート)

H28(2016)  
57.5%

H33(2021)  
63.0%

## 政策分野2 子育て・教育



▲はつくら寺屋事業

### 3. 地域ぐるみで望ましい教育環境の実現を目指します

少子化の進行により、学校の児童・生徒数は減少傾向にあります。

児童・生徒の健全な成長を願う教育方法や学校施設等のあり方について、地域の方々と共に協議を進め、教育効果を高められる適正な規模の学校配置の実現を目指していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 子供たちのためになる適切な教育環境の実現

めざそう値

市民意識調査「小・中学校教育の充実」における市民満足度

H28(2016)  
47.2%  
66.3%

H33(2021)  
60.0%  
76.7%



▲サタデーオープンスクール

# 豊かな心を育む教育を進める (義務教育)

## 基本的な施策の方向性

子供たちの成長を支援していくため、新学習指導要領（小学校の外国語教科化や小中学校の道徳教科化など）への対応やＩＣＴ教育<sup>1</sup>の導入など、社会情勢の変化に応じた必要かつ適切な教育環境の整備を進めていきます。

さらに、老朽化が進んだ学校及び学校関連施設について計画的に改築や改修、修繕を進め、子供たちが安全・安心な学校生活を過ごすことができる環境を整えていきます。

また、少子化が進んでいる状況において、問題を抱える子供、支援が必要な子供の数は年々増加しているため、子供たちに平等な教育機会が提供できる体制を構築していきます。

## 施策と内容

### 1. 子供たちの成長を支える教育環境を構築します

グローバル化<sup>2</sup>に対応する外国語教育や情報化に対応するＩＣＴ環境の整備など、子供たちを取りまく社会情勢の変化を的確に捉え、子供たちが豊かな心や確かな学力等を身につけることができる教育環境の充実に努めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 幼稚園・保育所・認定こども園・小学校の連携によるきめ細やかな就学支援体制の推進
- 児童・生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上と、国際感覚を養う事業の推進
- 教科指導へのＩＣＴ機器の活用拡大
- 豊かな創造性を育むプログラミング教育の推進

めざす価値

ALTによる外国語の授業が楽しいと感じる児童・生徒の割合  
(小学校)

H28(2016) 94.0% → H33(2021) 95.0%

(中学校)  
H28(2016) 89.0% → H33(2021) 90.0%

### 2. 学校施設を計画的に整備します

長寿命化の視点を踏まえ、老朽化した学校施設を計画的に改築や改修、修繕を実施するとともに、児童・生徒及び教職員の健康面に配慮した設備更新を進めます。

また、学校生活をより安全・安心なものとするとともに、学校施設が災害時における避難所としての役割を果たすよう耐震補強工事を実施します。

#### 主要な取り組みの事例

- 小中学校施設の計画的な改築や改修、修繕のほかトイレ洋式化などの設備工事
- 空調機器の設置を検討するなど、学校環境衛生基準に沿った教育環境の整備

めざす価値

学校施設の不備等による事故件数

H28(2016) 0件 → H33(2021) 0件

#### 用語解説

<sup>1</sup>【ＩＣＴ教育】情報通信技術（ＩＣＴ）を教育で活用すること

<sup>2</sup>【グローバル化】情報通信技術の進展、交通手段の発達による移動の容易化、市場の国際的な開放等により、人、物、情報の国際的移動が活性化して、様々な分野で「国境」の意義があいまいになるとともに、各国が相互に依存し、他国や国際社会の動向を無視できなくなっている現象

## この柱のみんなでめざそう値

学校が楽しいと感じる  
児童・生徒の割合

H28(2016)  
小学校 91.1%  
中学校 86.0%

H33(2021)  
小学校 92.0%  
中学校 88.0%

## 政策分野2

### 子育て・教育



▲川根小学校校舎

### 3. 誰もが平等に教育を受けられる環境をつくります

特別な支援が必要な子供やその保護者を適切に援助し、誰もが平等な教育を受けられる環境を整えていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 生活困窮家庭への学校生活に必要な学用品や給食費等の支援
- 学校教育支援員<sup>3</sup>、スクールソーシャルワーカー<sup>4</sup>の配置による児童・生徒のサポート
- 不登校児童・生徒及びその保護者に対するきめ細やかな対応
- 関係機関と連携した、いじめ防止対策

めざそう値

不登校児童・生徒におけるチャレンジ教室登録者の割合

H28(2016)  
28.7%

H33(2021)  
33.3%

### 4. 安全・安心な学校給食を提供します

安全・安心な学校給食を提供するとともに、日常生活における食事への正しい理解と適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ります。

#### 主要な取り組みの事例

- 学校給食センターの効率的な運営と衛生管理の徹底
- 学校給食における地産地消の推進
- 計画的な施設改修と機器更新

めざそう値

学校給食における島田市産農産物の使用割合（重量）

H28(2016)  
37.17%

H33(2021)  
40.0%

#### 用語解説

3【学校教育支援員】発達障害や学習障害など、特別な支援を必要とする子供たちに対し、個別の対応を行う支援員

4【スクールソーシャルワーカー】いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など生徒指導上の課題に対応するため、教育分野に関する知識に加えて、社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、児童・生徒の置かれた様々な環境に働き掛けて支援を行う専門家



# 地域で学びの力を発揮する人材を育てる（社会教育）

## 基本的な施策の方向性

社会の多様化・高度化に伴い、市民一人ひとりが、生涯を通じて学びによる自己実現を図り、地域社会で活躍できる環境づくりが求められています。

そのため、地域の人たちの連携・協働を促し、子供からお年寄りまでライフステージに応じた多種多様な学習機会を提供することで、学んだ成果を社会活動に役立てることができる場を設けていきます。

昨今、少子高齢化や高度情報化社会の進展により、核家族世帯が増え、コミュニケーションが希薄化するなど、家庭をとりまく環境が急激に変化しています。

青少年が地域の中で、心身ともに健全に成長し、社会の一員として自立、活躍できるよう、家庭や地域が関わりを持ちながら教育力を高めていきます。

## 施策と内容

### 1. 生涯学習の充実を図ります

誰もが、いつでも、どこでも学習できる機会を提供するとともに、学習の成果が評価される環境を整備していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 学習のきっかけとなる魅力ある講座の開催
- 地域・学校・家庭等が連携・協働する学習機会の創出
- 地元就職やUターン就職への動機づけ

めざす値

しまだ楽習センター「ふれあい楽習講座」受講満足度

H28(2016)

76.3%

H33(2021)

81.3%

### 2. 青少年の健全な育成を支援します

心身ともに健やかで豊かな人間関係を持ち、社会で力を発揮できる自立した若者の育成を推進します。

また、学校や地域、関係機関と連携して、ニート<sup>1</sup>や引きこもり<sup>2</sup>など、困難を抱える子供や若者を支援していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 地域づくりの中核を担う青少年リーダーの養成
- 地域社会が一体となった青少年の見守り活動の推進
- 「しまだ大井川子ども・若者プラン」<sup>3</sup>に基づく支援
- 「島田市子ども・若者支援地域協議会」における関係機関との連携強化

めざす値

市民意識調査「青少年の健全育成」における市民満足度

H28(2016)

26.6%

48.6%

H33(2021)

28.0%

50.8%

## 用語解説

1 【ニート】学生でなく、現在働いていない、働くための職業訓練をしていない人

2 【引きこもり】社会参加の場がなく、就労や就学などの自宅以外での生活の場が長期にわたって失われている状態

3 【しまだ大井川子ども・若者プラン】子ども・若者が豊かな人間関係を築きながら、自立した個人として健やかに成長していくための支援計画

## この柱のみんなでめざそう値

生涯学習の成果を発表した  
人の数（年間）H28(2016)  
1,955人H33(2021)  
2,030人政策分野2  
子育て・教育

▲げんきキッズわくわくクラブ 稲刈り

## 3. 家庭教育を推進し子育て学習を支援します

たくましく生きていくために基本となる生活習慣や、必要となる豊かな情操、規範意識、思いやりの心などは、子育ての中で親から子へ言い聞かせて理解させなくてはなりません。その親に求められる教育力・子育て力を養い、高めていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 子供の基礎的な資質や能力の成長に重要な役割を担う「親力」の養成
- 仲間づくりの場となる家庭教育学級<sup>4</sup>の開催
- 家庭教育講演会を通じた地域の教育力の向上

めざそう値

夜間や休日に開催する家庭教育講座  
の年間参加者数H28(2016)  
296人H33(2021)  
300人

## 4. 図書館機能を充実させ読書活動を支援します

市民の自主的な学習、情報収集を支援するため、市民ニーズにあった蔵書資料を整備するほか、図書館ボランティアの育成や読書への関心を高める取り組みを推進します。

また、子供が小さい頃から読書に親しめるよう公民館等の図書コーナーを充実するとともに、イベントや読み聞かせ会の開催、学校での読書活動を支援します。

## 主要な取り組みの事例

- 人口に応じた標準蔵書資料数の整備と維持
- 誰もが快適に利用できる図書館機能の充実

めざそう値

人口1人当たりの年間図書貸出点数

H28(2016)  
5.95点/人H33(2021)  
7.28点/人

▲島田図書館



▲ぬいぐるみの図書館おとまり会

## 用語解説

4【家庭教育学級】家庭教育について親同士が学び合い、迷いや悩み、不安などの解決や解消、親同士のネットワークづくりなどを行う場



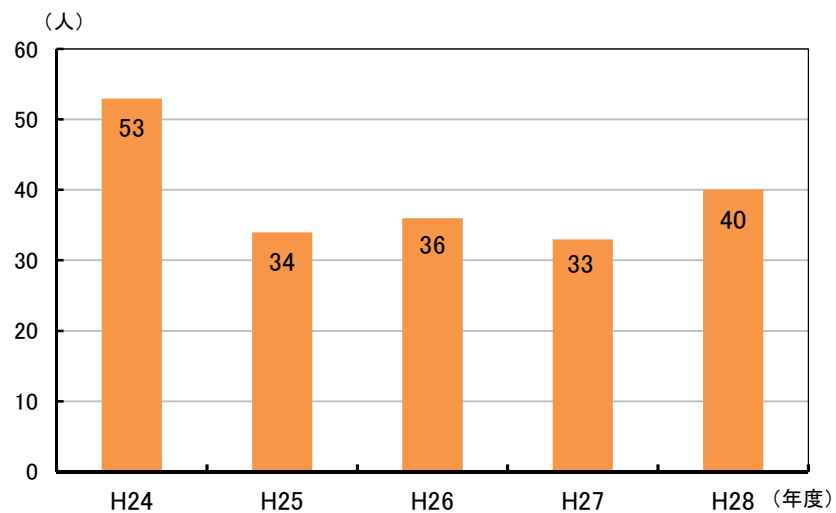
## 関連データ

### ■公民館施設等の利用者数の推移

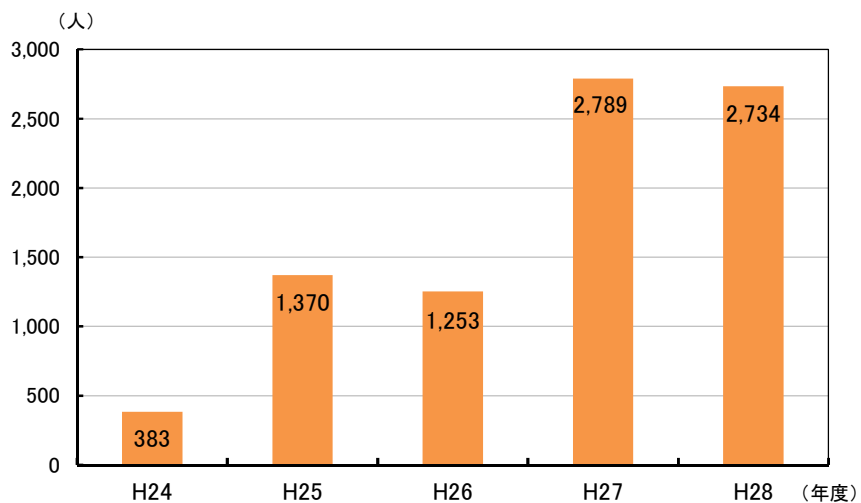
単位：人

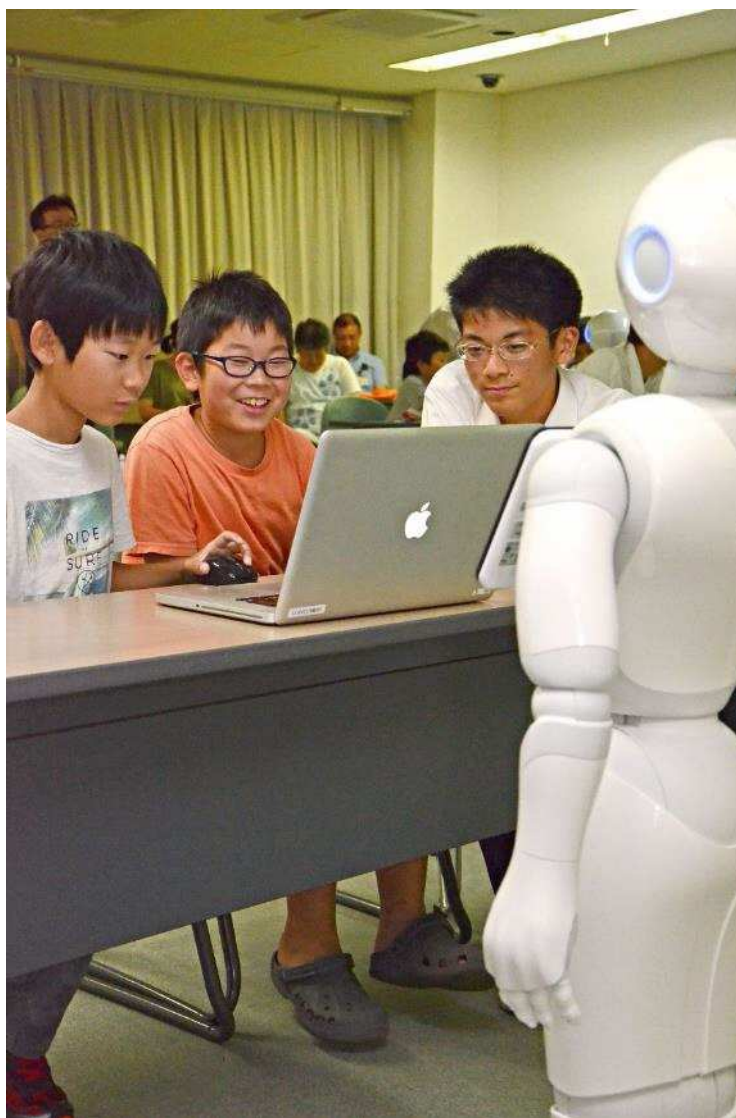
| 年度            | H24     | H25     | H26     | H27     | H28     |
|---------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 金谷公民館         | 36,684  | 37,019  | 40,869  | 43,008  | 39,085  |
| 初倉公民館         | 41,137  | 48,564  | 42,115  | 42,899  | 41,820  |
| 六合公民館         | 40,372  | 44,009  | 46,019  | 46,757  | 40,994  |
| 大津農村環境改善センター  | 10,967  | 11,659  | 12,963  | 12,130  | 14,793  |
| 伊久身農村環境改善センター | 2,800   | 2,703   | 2,777   | 2,255   | 2,055   |
| 北部ふれあいセンター    | 9,538   | 9,440   | 7,984   | 8,747   | 8,464   |
| 初倉西部ふれあいセンター  | 8,620   | 9,264   | 9,040   | 10,894  | 12,063  |
| 川根地区センター      | 12,968  | 15,004  | 10,605  | 9,759   | 12,114  |
| 合計            | 163,086 | 177,662 | 172,372 | 176,449 | 171,388 |

### ■しまだガンバ参加者数の推移



### ■家庭教育講座参加者数の推移





▲ペッパーを使用したプログラミング講座

# 生涯スポーツを楽しむ人を増やす (スポーツ活動)

## 基本的な施策の方向性

健康づくり・体力づくりを目的とした「市民ひとり1スポーツの実現」に向けて、子供からお年寄りまでの誰もがスポーツに親しむことができる環境づくりを目指します。

加えて、スポーツ活動の多様化が進む中で、高度なスポーツ活動へのニーズにも対応できる専門的かつ高い技術を持った指導者の育成を進めていきます。

また、モンゴル国ボクシングチームをはじめとする海外チームの2020年東京オリンピック事前合宿等を通じて、トップアスリートの競技力を身近に肌で感じられる機会を設けていくとともに、様々な分野にオリンピック・レガシー<sup>1</sup>を創出していきます。

## 施策と内容

### 1. 生涯スポーツを普及します

スポーツ推進委員などによる各種スポーツ教室の開催をはじめ、子供から高齢者までのスポーツ活動を支援します。また、取り組みやすいニュースポーツ<sup>2</sup>の普及・定着を図り、市民の健康増進の一翼を担います。

#### 主要な取り組みの事例

- 魅力的なジュニアスポーツクラブ<sup>3</sup>の開催
- 誰もが楽しめるニュースポーツ教室の開催
- ライフスタイルにあったスポーツ活動への支援

めざす数値

ニュースポーツ教室の延べ参加者数

H28(2016)

1,215人

H33(2021)

1,350人

### 2. 競技スポーツの推進を図ります

しまだ大井川マラソンinリバティをはじめとする全国レベルの大会の開催やトップアスリートの合宿誘致などにより、高いレベルのスポーツに触れる機会を創出します。

また、市民スポーツの競技力、技術力向上のため、各種大会の開催を支援します。

#### 主要な取り組みの事例

- 海外の2020年東京オリンピック選手団や全国の実業団、大学のチームなどの合宿誘致
- 当市にゆかりのあるスポーツ選手・団体の支援と選手と市民とがふれあう場の創出

めざす数値

体育協会登録団体の競技の種類数

H28(2016)

28種

H33(2021)

29種

#### 用語解説

1【オリンピック・レガシー】オリンピック・パラリンピック競技大会後に残る有形無形の社会的遺産

2【ニュースポーツ】トランポウオーク、バレーボール、ファミリーバドミントンなどの新しい競技

3【ジュニアスポーツクラブ】子供たちの基礎体力の養成やスポーツに親しむ場の提供のため、小学生を対象に開催するスポーツ教室

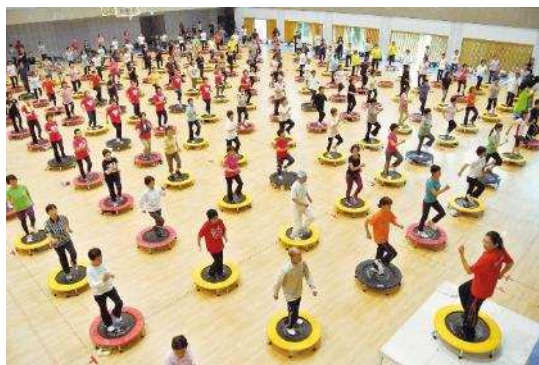
## この柱のみんなでめざそう値

市主催スポーツ大会  
への参加者数（年間）

H28(2016)  
2,944人

H33(2021)  
3,300人

## 政策分野2 子育て・教育



▲トランポウオーク

### 3. スポーツ活動を行う環境を整備します

年齢、性別を問わず誰もが安全・安心にスポーツを楽しむことができるよう、島田球場や大井川河川敷のスポーツ広場などの社会体育施設の整備を進めます。

また、学校体育施設を可能な範囲で開放することで、身近な場所でスポーツを楽しめる機会を創出します。

#### 主要な取り組みの事例

- 社会体育施設の利便性向上と計画的な施設整備
- 学校体育施設の開放
- 田代の郷整備事業地内における「多目的スポーツ・レクリエーション広場」の整備

めざそう値

施設年間利用者数（社会体育施設）

H28(2016)  
1,143,600人

H33(2021)  
1,258,000人

## 関連データ

### ■社会体育施設利用者数の推移

単位：人

|                | H24     | H25     | H26     | H27     | H28     |
|----------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 島田市総合スポーツセンター  | 318,730 | 313,945 | 314,662 | 322,021 | 329,018 |
| 中央公園庭球場        | 23,803  | 24,291  | 24,499  | 25,563  | 25,570  |
| 親子プール          | 8,227   | 8,329   | 7,599   | 6,583   | 6,381   |
| 伊太庭球場          | 935     | 1,495   | 1,479   | 1,216   | 1,401   |
| 島田球場           | 9,469   | 11,069  | 10,501  | 6,128   | 10,932  |
| 島田第二球場         | 5,387   | 6,245   | 6,255   | 8,143   | 8,356   |
| 第一多目的広場（サッカー場） | 2,235   | 4,463   | 5,710   | 22,286  | 25,059  |
| 陸上競技場          | 9,805   | 11,442  | 18,860  | 3,201   | 18,364  |
| サッカーグラウンド      | 6,270   | 6,510   | 5,920   | 8,620   | 8,129   |
| ソフトボールグラウンド    | 20,420  | 16,790  | 18,443  | 84,058  | 52,993  |
| 阿知ヶ谷グラウンド      | 2,966   | 2,397   | 3,082   | 2,805   | 2,558   |
| 金谷体育センター       | 29,186  | 28,813  | 29,431  | 31,038  | 28,821  |
| 金谷プール          | 2,310   | 2,021   | 1,547   | 1,981   | 1,919   |
| 北五和プール         | 75      | 80      |         |         |         |
| 川根野球場          | 2,485   | 2,369   | 3,041   | 2,890   | 1,744   |
| 川根体育館          | 4,358   | 6,027   | 2,929   | 3,063   | 2,217   |
| 合計             | 446,661 | 446,286 | 453,958 | 529,596 | 523,462 |



▲元旦マラソン



▲島田市総合スポーツセンター ローズアリーナ 室内プール

# 政策分野3

## 【経済・産業】

### 地域経済を力強くリードするまちづくり

- 3-1 雇用の創出や新技術の導入により地域経済を  
発展させる (地域経済)
- 3-2 世界に誇れる技術を持った中小企業を育て  
る (工業)
- 3-3 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを  
生み出す (商業)
- 3-4 地域の特色を活かした農林業を進める  
(農業・林業)
- 3-5 人と地域の魅力を伝える観光施策を進める  
(観光)



## 雇用の創出や新技術の導入により 地域経済を発展させる（地域経済）

### 基本的な施策の方向性

少子高齢化に起因する生産年齢人口<sup>1</sup>の減少をはじめ、エネルギー政策の転換<sup>2</sup>、ICTの進歩など、私たちを取りまく環境の変化は、雇用・労働、生産体制、流通といった地域の経済活動だけにとどまらず、市民生活にも大きな影響をもたらしています。

こうした変化に的確に対応しつつ生活の質を高め、新たなライフスタイルを獲得することが今の社会の潮流となっています。

これを好機と捉え、新分野への参入やICTの活用などを通して、新たな雇用を創出するとともに、地元での就職やU・I・Jターン<sup>3</sup>を促すことで、地域経済の持続的な発展を目指します。

### 施策と内容

#### 1. 活躍する人を育て、応援します

ICTに代表される科学技術の一層の進歩により、今後、市民の生活様式はますます多様化すると考えられます。また、高齢化もさらに進行すると考えられることから、増え続ける高齢者がいつまでも地域で暮らしていくためにも、生活の質の確保がますます重要となります。

このことは、将来の暮らしを下支えするための多種多様な雇用創出の可能性を示すものであり、これに積極的に取り組む人材を多角的に支援していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 事業者・起業希望者への支援の充実とニーズに合ったセミナー・交流会の企画・開催
- 子育て世代への支援を通じた女性の就業率向上
- クラウドソーシング<sup>4</sup>をはじめ、場所と時間にとらわれない新しい働き方の提案
- 若者のU・I・Jターン就職の促進
- 若者の自立を支援するためのセミナーなどの開催
- 高齢者に就労の場を提供するシルバー人材センターの支援

めざす値

##### 産業支援センターの相談件数（年間）

H28(2016) 1,377件 → H33(2021) 1,200件

めざす値

##### 産業支援センターの個別相談における満足度

H28(2016) 77.6% → H33(2021) 82.6%

#### 2. 経済活動の輪を広げていきます

地域の経済活動は、市民一人ひとりの個から、企業・事業者、団体などの組織体まで様々な主体によって行われています。

多くの主体がつながり、連携することで、経済活動の輪が拡大し、地域経済はより活性化されます。

##### 主要な取組の事例

- 産学の連携による、当市固有の資源を活かした魅力ある商品・サービス開発への支援
- 市内商業高校、工業高校などの生徒の自由で柔軟な発想の活用
- 市民等が、自らつくり上げ地域を盛り上げるイベントの支援

めざす値

##### 観光振興活動支援件数

H28(2016) 4件 → H33(2021) 6件

#### 用語解説

- 1【生産年齢人口】年齢別人口のうち労働力の中核をなす15歳以上65歳未満の人口層
- 2【エネルギー政策の転換】エネルギー需要の伸張に応じ、いかに供給するかという量的充足の方策から、地球温暖化の進行や東日本大震災を契機として、どのような社会づくりをするのかという視点から、どうエネルギーを選択するかという政策の論点
- 3【U・I・Jターン】大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称（Uターン、Iターン、Jターン）
- 4【クラウドソーシング】不特定の人（crowd=群衆）に業務委託（sourcing）するという意味の造語で、ICTを活用して必要な時に必要な人材を調達する仕組みのこと

## この柱のみんなでめざそう値

企業立地件数  
(累計件数)H28(2016)  
13 件H33(2021)  
23 件政策分野3  
経済・産業

▲島田市産業支援センター「おびサポ」

## 3. ICTの活用で、産業の活性化を推進します

ICTの発達により、企業の生産活動や流通システムの効率化など、多くのメリットが生まれています。これを契機に、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）など、新たなICTを効果的に活用し、産業の活性化を推進します。

## 主要な取り組みの事例

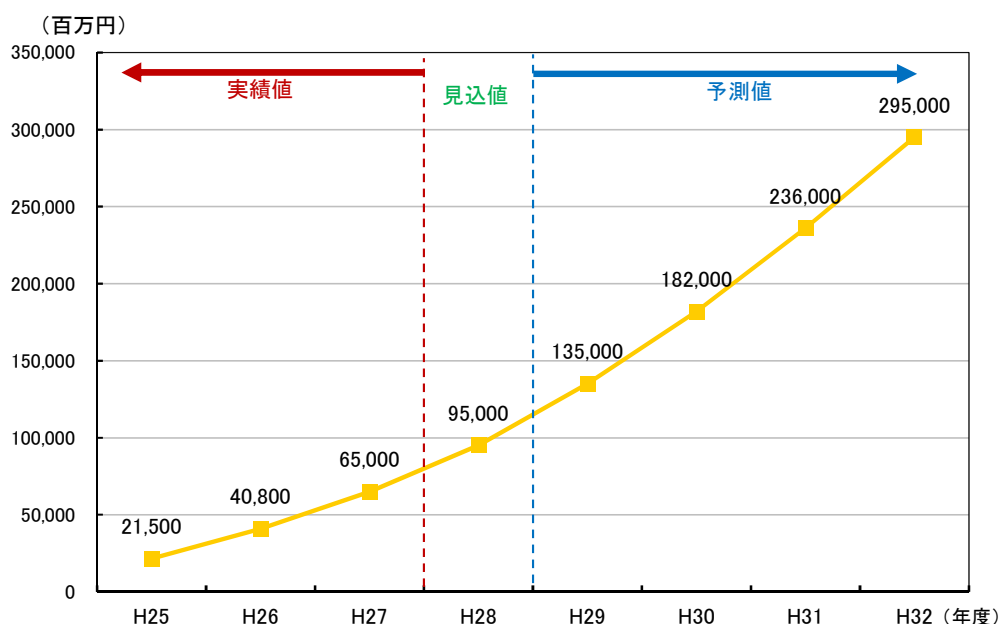
- 各産業が抱える課題に対するICTの効果的活用への支援
- IoTやAI等を活用した取り組みへの支援

めざそう値

ICTを活用した個別プロジェクト  
実施件数H28(2016)  
—H33(2021)  
4 件

## 関連データ

## ■クラウドソーシング市場規模見込



資料：「矢野経済研究所推計」

## 世界に誇れる技術を持った 中小企業を育てる（工業）

### 基本的な施策の方向性

ここに暮らす人が豊かな生活を維持するには、雇用の確保と地域内経済の好循環が必要です。そのためには、このまちの経済活動の中心を担う、高い技術力をもった中小企業のさらなる成長が求められます。

市内企業の大半を占める中小企業・小規模企業の健全な発展を支援するため、新たに制定した「島田市中小企業・小規模企業振興基本条例」に基づき、行政・事業者・各団体等がそれぞれの役割を全うすることが重要です。

### 施策と内容

#### 1. 中小企業をサポートし、経営基盤を強化します

市民生活の豊かさを支え、都市の活力となる雇用を生み出すためにも、地域産業を支える中小企業が、強固な経営基盤と力強い競争力を持たなくてはなりません。そのための支援をあらゆる角度から行っていきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 中小企業の経営基盤を強固なものとする設備投資や経営改善のサポート
- 新産業分野への進出や国内外への販路開拓、新規の創業・起業を目指す事業者に対する多角的な支援

めざす値

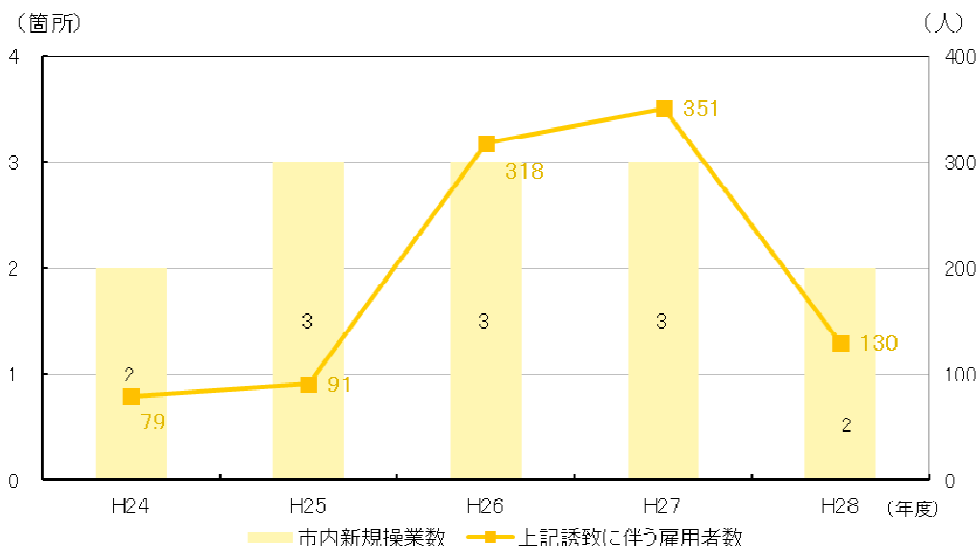
##### 販路拡大支援による年間成約件数

H28(2016)  
180件

H33(2021)  
200件

### 関連データ

#### ■ 企業誘致実績数及び雇用者数の推移



## この柱のみんなだめざそう値

設備投資等支援による  
年間目標効果達成企業数H28(2016)  
12件/年H33(2021)  
15件/年政策分野3  
経済・産業

▲内陸フロンティア推進区域上空写真

## 2. 付加価値の高い地域産業を創出します

新東名島田金谷インターチェンジ周辺をはじめ、高い交通結節機能を活かした物流拠点や生産拠点を形成し、当市の恵まれたアクセス性と地域資源からもたらされる経済効果を、市内全域へと波及させていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 企業ニーズに合致する立地環境を整えるための成長産業分野の動向等の幅広い情報収集
- 6次産業<sup>1</sup>など次世代の成長産業<sup>2</sup>を見据えた企業誘致
- 「内陸フロンティア推進区域<sup>3</sup>」をはじめとする工業用地の開発と周辺の基盤整備

めざそう値

内陸フロンティア推進区域  
成長産業企業立地数

H28(2016)

—

H33(2021)

2件

## 用語解説

- 1【6次産業】農山漁村の活性化のため、地域の第1次産業とこれに関連する第2次、第3次産業（加工・販売等）にかかる事業の融合した産業  
 2【成長産業】主に農林水産業の生産・加工・販売の一体化による6次産業、食品、医療品、医療機器、環境関連等の産業  
 3【内陸フロンティア推進区域】防災・減災と地域成長を両立させた魅力ある地域づくりを実現する「内陸のフロンティアを拓く取組」の静岡県全域への拡大に向け、市町の取り組みや事業の具体化強化のため、市町の申請に基づき県知事が指定する区域のこと。島田市では、新東名島田金谷インターチェンジ周辺が指定されている。

# 商店街や個店を支援し、地域のにぎわいを生み出す（商業）

## 基本的な施策の方向性

人口減少を伴う少子高齢化の進行は、商業活動にも大きな影響を及ぼしています。店舗経営者の高齢化が進み、個店の総数は減少の一途を辿っています。これに対応するため、後継者の確保や新規参入者の育成、経営者の意欲向上などが求められています。

まちのにぎわいを取り戻し、地域経済を好転させるため、中心市街地におけるリノベーション<sup>1</sup>支援をはじめとする各種支援制度の実施と同時に、市内各所に存在するにぎわいづくりの拠点となり得る集客施設等を最大限活用しながら、商店街の再生を図っていきます。併せて、商業振興の中核的担い手となる人材を育成することで、個々の商業者だけでなく、商店街全体の意欲を高めていきます。

さらに、買い物難民対策として、日常の生活必需品を提供する仕組みづくりを進めていきます。

## 施策と内容

### 1. 中心市街地のにぎわいづくりを進めます

「中心市街地活性化基本計画」に基づく振興策を、商店街や地域住民、関係団体、市内事業者等と連携して実施するとともに、おび通りなどをはじめとする賑わい創出拠点で開催される催事等を活用し、中心市街地のにぎわいづくりにつなげていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 賑わい創出拠点を活用した多彩なイベントの開催による中心市街地のにぎわいづくり
- リノベーション支援など、既存物件の利用価値を高める取り組みの推進

めざす価値

#### 空き店舗改善累計数

H28(2016)

—

H33(2021)

8 件

### 2. 地域に密着した商業サービスを展開します

地理的条件により買い物が不便な地域や高齢化、核家族化が進み移動が困難となった人たちが対象に、生活必需品を提供できる仕組みを構築していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 買い物弱者に対する移動販売や訪問販売などの買い物環境の整備

めざす価値

#### 買い物弱者対策 買い物事業参入者累計数

H28(2016)

—

H33(2021)

1 者

## 用語解説

<sup>1</sup>【リノベーション】既存の建物を改修し、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えたりすること



## この柱のみんなでめざそう値

中心市街地（本通二丁目  
交差点）の歩行者数

H28(2016)

2,008人/日

H33(2021)

2,200人/日

政策分野3  
経済・産業

▲しまだ元気市



▲島田の逸品カタログ

## 3. チャレンジする商店主を支援します

「島田市産業支援センター」をはじめとする産業支援機関等が実施する事業を通して、地域の核となる意欲ある商店主や起業を目指すチャレンジャー等の人材の育成を図り、多様で活力ある商業振興につなげます。

## 主要な取り組みの事例

- 「島田市産業支援センター」で実施する相談の質の向上と実効性の高いセミナーや交流会の企画・開催
- 「島田の逸品<sup>2</sup>」等の販路開拓支援
- 商業者団体などが実施する商店街のにぎわい創出事業への支援

めざそう値

商業のにぎわい創出年間支援件数

H28(2016)

17件

H33(2021)

20件

## 関連データ

## ■中心市街地の通行量（平日）の推移

単位：人

| 年度  | 本通二丁目交差点 |     | おび通り交差点 |     | 駅前通り交差点 |     | 合計    |       |
|-----|----------|-----|---------|-----|---------|-----|-------|-------|
|     | 歩行者      | 自転車 | 歩行者     | 自転車 | 歩行者     | 自転車 | 歩行者   | 自転車   |
| H24 | 1,517    | 794 | 854     | 671 | 1,024   | 357 | 3,395 | 1,822 |
| H25 | 1,950    | 570 | 1,464   | 639 | 1,218   | 171 | 4,632 | 1,380 |
| H26 | 1,992    | 623 | 1,171   | 442 | 1,080   | 711 | 4,243 | 1,776 |
| H27 | 1,985    | 731 | 1,281   | 559 | 1,072   | 199 | 4,338 | 1,489 |
| H28 | 2,008    | 846 | 1,316   | 622 | 941     | 312 | 4,265 | 1,780 |

## 用語解説

2【島田の逸品】島田市内で生産(又は企画)し販売されている製品の中から、市の魅力を日本、世界に発信するシンボリック的存在として認定した島田市が誇る産品



# 地域の特色を活かした農林業を進める（農業・林業）

## 基本的な施策の方向性

農林業従事者の高齢化や後継者の不足からくる担い手の減少、農林産物の価格低迷、荒廃農地・荒廃森林の拡大など地域農林業をとりまく状況が厳しさを増しています。

豊かな自然を背景に発展してきた歴史ある農林業を振興し継承するため、多様な担い手の育成と土地の有効活用、農林業の生産基盤整備を進めていきます。

また、農林産物の生産体制を向上し、供給体制を安定することで、地域の特性を活かした「稼ぐ農林業」を目指します。

## 施策と内容

### 1. 次の世代へつなげる生産体制を築きます

農林業を魅力あるものとし、意欲ある農林業者が安定的かつ継続的に経営できる環境を整備するとともに、新たな担い手の育成に力を注ぎます。

また、法人化の経営手法やＩＣＴの技術を取り入れるなど、農林業の新しいカタチにチャレンジする農林業者を支援します。

#### 主要な取り組みの事例

- 各地域の特色を活かした農林業の推進
- 認定農業者<sup>1</sup>やビジネス経営体<sup>2</sup>の育成、法人経営への誘導の促進など、多様な農業経営の担い手の確保
- 担い手への農地集積の促進
- 付加価値のあるお茶の栽培や売れるお茶の生産

めざす価値

#### 認定農業者数

H28(2016)  
391人

H33(2021)  
400人

### 2. 農林業生産基盤の整備を推進します

農林業の生産性を向上させるため、農道や農業用排水路、農地の基盤整備、林道の路網整備を積極的に進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 農業施設及び土地改良施設<sup>3</sup>の計画的な整備・維持管理
- 茶改植等を進める農業者の支援
- 林業の生産性を向上させる機械設備の導入促進と間伐事業や林道・施業道の整備、治山事業による木材生産の振興
- 有害鳥獣対策の推進

めざす価値

#### 茶改植実施面積 (平成23年度からの累計)

H28(2016)  
35.62ha

H33(2021)  
70.0ha

## 用語解説

- 1【認定農業者】効率のかつ安定的な農業経営の育成を図るため、農業者が、市町村が定めた「農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想」に示された育成すべき農業経営を目指すため作成した農業経営改善計画を市町村長が認定した農業
- 2【ビジネス経営体】家族経営から脱皮し、企業の経営感覚で、地域の農業を牽引していける経営体
- 3【土地改良施設】農業用排水施設、農業用道路その他農用地を保全又は利用上必要な施設

## この柱のみんなでめざそう値

担い手への農用地の  
集積率H28(2016)  
39.8%H33(2021)  
50.0%政策分野3  
経済・産業

▲お茶刈り

## 3. 農林資源の魅力を全国へと発信します

地元の農林産物を活用した6次産業化を推進していく中で、新たな地域資源を生み出しながら、当市の知名度を高めていきます。

また、当市の基幹作物で高い品質を持つ「お茶」については、「島田市緑茶化計画」<sup>4</sup>のプロモーションなどにより、活動を通じて認知度アップや消費・販路拡大に努めていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 販わい交流拠点への農林産物出荷販売等による農林業従事者の所得向上と地域農林業の活性化
- 島田茶、金谷茶、川根茶それぞれの特色を活かしたブランド化の推進
- 世界農業遺産「静岡の茶草場農法」の推進
- お茶の販売促進活動の国内外への展開
- 有機JAS<sup>5</sup>やFMC森林認証<sup>6</sup>など、各種認証制度の取得支援
- 大井川産材の利活用と生産拡大

めざそう値

## 有機・無農薬栽培茶園面積

H28(2016)  
15.84haH33(2021)  
50.0ha

## 関連データ

## ■用途別経営耕地面積の推移

単位:ha

| 年度  | 総面積   | 田   | 畑  | 茶園・果樹園 | その他 |
|-----|-------|-----|----|--------|-----|
| H7  | 1,737 | 638 | 28 | 1,065  | 6   |
| H12 | 2,554 | 635 | 46 | 1,865  | 8   |
| H17 | 2,785 | 549 | 50 | 2,186  |     |
| H22 | 2,682 | 524 | 39 | 2,119  |     |
| H27 | 2,455 | 443 | 62 | 1,950  |     |

## 用語解説

<sup>4</sup> 【島田市緑茶化計画】「お茶のまち島田」を市内外に発信するシティプロモーションの取り組み

<sup>5</sup> 【有機JAS】有機食品の検査認証制度のこと。農業や化学肥料などの化学物質に頼らないで、自然界の力で生産された食品を表しており、農産物、加工食品、飼料及び畜産物に付けられる。

<sup>6</sup> 【FMC森林認証】環境と経済を両立させた森林管理を第三者機関が評価・認定をする制度。効率的な森林経営の推進や安全管理の徹底など、世界水準の森林管理により、違法伐採等を防ぐことで、森林を保全する。

# 人と地域の魅力を伝える観光 施策を進める（観光）

## 基本的な施策の方向性

水と緑が織りなす豊かな自然環境に恵まれている当市は、旧東海道の宿場町として発展した歴史と文化を今に伝え、主産業のお茶に由来する「おもてなしの心」を大切にする風土が根付くまちです。そして、新東名高速道路や富士山静岡空港といった国内各地、そして世界へとつながる高速交通基盤と、蓬莱橋や川根温泉、大井川鐵道のSLなど多彩で特色ある地域資源を兼ね備えた、ここにしかない魅力があふれるまちでもあります。

ここ島田を広く発信し、周辺地域との連携・連動により多くの人々が活発に交流する、にぎわいがあふれるまちづくりを進めます。

## 施策と内容

### 1. 観光情報を効果的に発信し、観光による地域の活性化を目指します

地域外から多くの人々が訪れるよう、魅力ある観光資源を効果的に情報発信するほか、新たな観光プログラムを構築し、関係団体との連携による「観光で稼ぐ」体制づくりを進めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 効果的な観光情報の発信
- 大井川流域の魅力発信と地域DMO<sup>1</sup>事業の推進
- 広域的な連携による観光施策の展開
- 特色あるイベントを通じた観光交流人口の拡大

めざす値

市内観光地の認知度（市観光課ホームページへのアクセス件数）

H28(2016)

183,188件

H33(2021)

200,000件

## 関連データ

### ■観光ボランティアの状況

|      |   | 島田市観光ボランティアガイドの会     | かなや観光ボランティアの会     | 川根おもてなし人クラブ |
|------|---|----------------------|-------------------|-------------|
| 会員数  | 男 | 10人                  | 13人               | 17人         |
|      | 女 | 11人                  | 6人                | 3人          |
| 活動内容 |   | 市の観光振興・文化の発展及び地域の活性化 | 金谷地域の宣伝と観光施設等のガイド | 川根地域内の観光案内  |

#### 用語解説

1 【地域DMO】地域が主体となって行う観光地域づくりの推進主体。DMOは、Destination Management/Marketing Organizationの略

## この柱のみんなでめざそう値

観光交流客数（年間）

H28(2016)  
2,372,870人

H33(2021)  
3,000,000人

## 政策分野3 経済・産業



▲大名行列の大奴（島田大祭）



▲金谷茶まつり

## 2. 地域資源を活用した観光振興を図るとともに受け入れ態勢を強化します

歴史、文化、自然に由来する多彩な地域資源を活用した観光振興に努め、国内外の観光客を受け入れる体制を整備、充実します。

### 主要な取り組みの事例

- 高速交通網と鉄道網が交わることで生まれる交通乗換機能（モーダルコネクト）<sup>2</sup>がもたらす経済効果の大井川流域全体への波及
- 「蓬莱橋」周辺の基盤整備等による集客力の向上
- 当市の歴史、文化、自然に由来する多彩な地域資源を活用した観光振興
- 川根抜里・葛籠地区へのパラグライダーパークやキャンプ場の整備
- 観光施設、公共施設等を結ぶ観光周遊バス運行の検討

めざそう値

蓬莱橋年間利用者数

H28(2016)  
158,102人

H33(2021)  
200,000人



▲蓬莱橋

### 用語解説

2 【交通乗換機能（モーダルコネクト）】道路ネットワークやその空間を有効に活用しながら、交通モード間の接続をする機能のこと





▲新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺 賑わい交流拠点整備  
基本計画 施設イメージ図



▲鵜山森林公園

# 政策分野4

## 【環境・自然】

住みよい生活環境があり、自然とともに生きるまちづくり

4-1 地球環境の保全に貢献する

（新エネルギー・再生可能エネルギー・低炭素社会・資源循環型社会）

4-2 みどり豊かな自然を守り育む

（農地保全・森林環境・緑化活動）

4-3 水資源と水環境を守る

（水環境）

4-4 住みよい生活環境をつくる

（住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・男女共同参画・人権）



## 地球環境の保全に貢献する

(新エネルギー・再生可能エネルギー・低炭素社会・資源循環型社会)

### 基本的な施策の方向性

持続的な発展が可能となる地域社会の構築を目指し、市民一人ひとりが環境負荷の低減と地球環境の保全に貢献する強い意識を持たなくてはなりません。

資源を有効活用する低炭素・資源循環型社会<sup>1</sup>の実現を願う先進的な自治体として、新エネルギー<sup>2</sup>・再生可能エネルギー<sup>3</sup>の利活用などに向けた取り組みをより一層充実させ、市民一人ひとりの意識高揚につなげます。

### 施策と内容

#### 1. 新エネルギー・再生可能エネルギーを利活用します

新エネルギーである川根温泉の天然ガスを利用したコージェネレーションシステム<sup>4</sup>の運用や、伊太田代地区のメガソーラー発電、小水力発電<sup>5</sup>、田代環境プラザごみ焼熱式発電<sup>6</sup>による再生可能エネルギーを利活用することで、CO<sub>2</sub>排出削減に率先して取り組み、環境の保全に努めていきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 川根温泉の温室効果ガス<sup>7</sup>削減の取り組みを全国へ発信
- 当市の豊富な資源を活かした新エネルギー導入の調査研究
- 太陽エネルギー利用機器の設置支援
- 公共施設、一般家庭への蓄電システムの構築・導入

めざそう値

##### 太陽光補助金申請者の太陽電池設置容量（累計）

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| 8.2 MW    | 11.8 MW   |

#### 2. 低炭素社会・資源循環型社会を形成します

市民や事業者が、深刻化する地球温暖化などの地球環境問題を理解し、地球環境保全に向けた取り組みを実践できる社会を目指します。

##### 主要な取り組みの事例

- 国民運動「COOL CHOICE」<sup>8</sup>の周知、啓発
- エコアクション 21<sup>9</sup>の認証・登録の継続・拡大
- 田代環境プラザの適正な維持管理と施設の長寿化
- クリーンセンター設備の更新による、し尿処理能力の強化

めざそう値

##### COOL CHOICE 賛同者数（累計）

|           |           |
|-----------|-----------|
| H28(2016) | H33(2021) |
| —         | 1,500 人   |

#### 用語解説

- 【低炭素・資源循環型社会】低炭素社会とは、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）などの温室効果ガスの排出を、自然が吸収できる量以内に削減するため、低炭素エネルギーの導入などの環境配慮を徹底する社会。資源循環型社会とは、環境への負荷を減らすため、自然界から採取する資源をできるだけ少なくし、それを有効に使うことによって、廃棄されるものを最小限に抑える社会
- 【新エネルギー】「非化石エネルギーのうち、技術的には実用段階であるが経済的な理由から普及が十分に進んでおらず、利用促進を図るべきエネルギー源」として分類されるもので、太陽光発電や風力発電などが新エネルギーにあたる。
- 【再生可能エネルギー】「エネルギー源として永続的に利用することができると認められるもの」で、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスがこれにあたる。
- 【コージェネレーションシステム】環境負荷の少ない天然ガス等を燃料に用いて、必要な場所で電気をつくり、同時に発生する廃熱を蒸気・給湯・暖房・冷房などに有効利用するシステム
- 【小水力発電】中小河川や農業用水路、上下水道施設などの既設の水路における水流の勢いや落差を利用して発電する小規模な水力発電

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「地球環境  
対策や自然環境の保全」  
における重要度



## 政策分野4

### 環境・自然



▲田代環境プラザ

### 3. 資源の有効活用を推進します

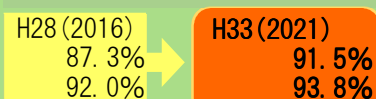
持続可能な地域社会の実現のため、限りある資源を有効活用し、資源循環型社会の形成を目指します。

#### 主要な取り組みの事例

- ごみの発生を抑制するマイグッズ運動の推進
- 「生活用品活用バンク」の利用促進
- ごみの再資源化への市民意識の向上

めざそう値

市民意識調査「ごみ・リサイクル  
対策」における重要度



### 4. 環境教育・学習を推進します

人と環境にやさしい持続可能な社会の構築を目指し、市民や企業・事業者、市民団体との連携のとれた諸施策を推進するため、環境教育・学習の機会を拡大します。

#### 主要な取り組みの事例

- 子どもをリーダーとする「アース・キッズ事業」の推進
- 出前講座等の実施を通じた、環境問題に対する市民一人ひとりの意識向上

めざそう値

アース・キッズ事業参加者数  
(累計)



#### 用語解説

- 6【ごみ廃熱式発電】ごみ処理施設でごみを処理する際に発生した廃熱を回収して再利用する発電
- 7【温室効果ガス】温室効果ガスは社会経済活動により生まれたもの、主に二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガス等がこれにあたる。
- 8【国民運動「COOL CHOICE」】2030年度の温室効果ガスの排出量を2013年度比で26%削減するという目標達成のために、日本が世界に誇る省エネ・低炭素型の製品・サービス・行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動
- 9【エコアクション21】環境への取り組みを適切に実施し、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持するとともに、環境コミュニケーションを行っている事業者を、認証し登録する制度

## 関連データ

### ■資源類収集実績の推移

単位：t

| 年度          | H24   | H25   | H26   | H27 | H28 |
|-------------|-------|-------|-------|-----|-----|
| カレット        | 732   | 702   | 720   | 712 | 666 |
| 古紙類（集団回収除く） | 1,684 | 1,434 | 1,152 | 905 | 768 |
| その他         | 620   | 593   | 634   | 599 | 622 |

※カレット：ガラス瓶を破砕して球状の粒にしたもの。

※その他：古布類（H26～）、ペットボトル、キャップ、トレイ、紙パック、ガラス陶磁器、食用油、乾電池、蛍光灯

### ■田代環境プラザ・ソーラーパークしまだ見学者数の推移

単位：人

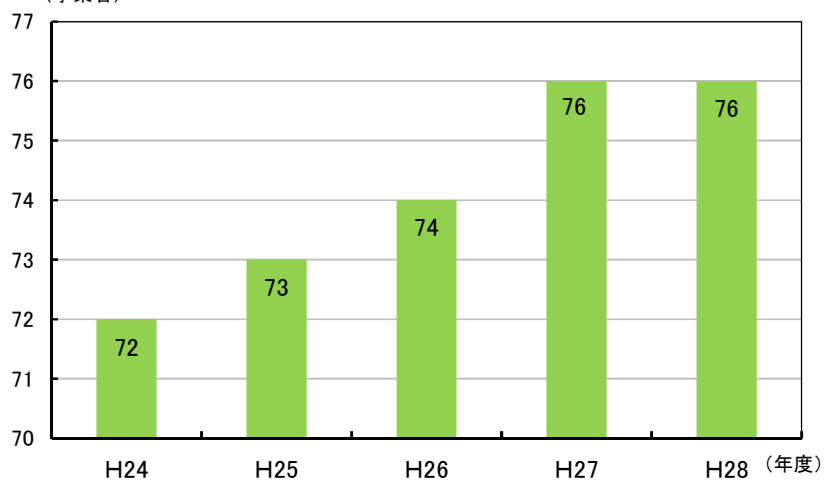
| 年度         | H24   | H25   | H26   | H27   | H28   |
|------------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田代環境プラザ    | 1,630 | 1,169 | 1,155 | 1,127 | 1,255 |
| ソーラーパークしまだ | -     | 76    | 85    | 0     | 175   |
| 合 計        | 1,630 | 1,245 | 1,240 | 1,127 | 1,430 |

※田代環境プラザ（H18.4～稼動開始）

※ソーラーパークしまだ（H26.1～運営開始）

### ■エコアクション21登録事業者数（累計）の推移

（事業者）



# ■アース・キッズ事業 参加校数・参加児童数の推移

| 年度       | H24 | H25 | H26 | H27 | H28 |
|----------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 参加校数（校）  | 7   | 8   | 9   | 8   | 11  |
| 参加児童数（人） | 259 | 385 | 427 | 395 | 533 |



▲アース・キッズ事業（自転車発電体験）

## みどり豊かな自然を守り育む (農地保全・森林環境・緑化活動)

### 基本的な施策の方向性

私たちの自慢である「山のみどり」「お茶のみどり」「まちのみどり」が映える空間を大切にしていきます。

特に、地球温暖化を防ぐ二酸化炭素を吸収する役割に加え、災害を防ぐ公益的な機能を保有している森林を、未来に引き継ぐ大切な財産として守り続けていきます。

### 施策と内容

#### 1. 森林環境の保全を図ります

森林環境の保全を図るとともに、森林環境を守り続けていくための情報収集と対策に努めます。

##### 主要な取り組みの事例

- 緑の大切さや木材資源を大切にする意識高揚
- 伊太田代地区とその近隣における希少動植物の監視と保護
- 企業との環境保全協定<sup>1</sup>締結機会の増加

めざそう値

伊太田代地区とその近隣における  
猛禽類<sup>2</sup>の生息・繁殖活動件数

H28(2016)  
2件

H33(2021)  
3件

#### 2. 農地や森林が持つ公益的機能の維持・回復を図ります

農地や森林が持つ水源涵<sup>3</sup>ようや地球温暖化防止などの公益的機能の維持・回復を図るため、農林地を適切に保全管理するとともに、荒廃農地、荒廃森林の再生や管理指導及び間伐などの森林施業を促進します。

##### 主要な取り組みの事例

- 農業振興地域整備計画に基づく農地の保全
- 島田市森林整備計画に基づく計画的な森林の保全と整備
- 荒廃農地の発生抑制と解消、中山間地における地域の実情に応じた対策の検討・実施
- 林道や作業道の整備促進
- 森林経営計画の樹立と実施等による適切な森林管理の推進

めざそう値

荒廃農地面積

H28(2016)  
33.5ha

H33(2021)  
30.0ha

#### 用語解説

- 1【環境保全協定】環境保全の1つの手段として、地方公共団体または住民と企業との間で締結される協定を指す。これらの協定は法令の規定基準を補完し、地域に応じた環境保全の目標値の設定、具体的な対策の明示などを内容とし、法律や条例の規定と並ぶ有力な環境保全対策の手段として広く利用されている。
- 2【猛禽類】タカ目とフクロウ目の鳥の総称。ワシ・タカ・トビ・フクロウなどがこれにあたる。
- 3【水源涵<sup>3</sup>よう】森林の土壌が、降水を貯留し、河川へ流れ込む水の量を平準化して洪水を緩和するとともに、川の流量を安定させること



## この柱のみんなでめざそう値

森林整備面積（年間）

H28(2016)  
252.82haH33(2021)  
305.0ha政策分野4  
環境・自然

▲ドウダンツツジ

## 3. まちの緑化を推進します

みどり豊かなまちづくりを推進するため、緑化運動の支援や啓発活動に努めます。

## 主要な取り組みの事例

- 市民や事業者が行う生け垣づくりの支援
- 花と緑で彩られた都市空間を創出する市民の自発的な活動の支援

めざそう値

## 生け垣づくり補助累計件数

H28(2016)  
1,131件H33(2021)  
1,186件

▲花の会（緑化団体）の活動

## ■緑化団体一覧（会員数は平成29年3月現在）

| 団体名     | 会員数（人） | 設立年月日      |
|---------|--------|------------|
| 島田市花の会  | 105    | 昭和32年4月1日  |
| 谷口美里会   | 16     | 平成8年8月4日   |
| 金谷牛尾花の会 | 12     | 平成17年9月1日  |
| 横岡花の会   | 10     | 平成17年4月1日  |
| 野の花の会   | 13     | 平成20年5月13日 |
| 花ともだち   | 14     | 平成20年4月1日  |



## 水資源と水環境を守る (水環境)

### 基本的な施策の方向性

市民生活、産業活動等に欠くことのできない水資源を、水質の保全はもとより安定的な水量の確保を確実なものとし、当市の恵まれた水環境を恒久的な財産として、次世代に引き継いでいきます。

### 施策と内容

#### 1. リニア中央新幹線整備工事の対策に取り組めます

リニア中央新幹線整備計画における南アルプストンネル等の施工に伴い、大井川流域の流量減少が懸念されることから、トンネル湧水の全量を大井川に戻すよう事業者（ＪＲ東海）にその対策を強く求めます。

##### 主要な取り組みの事例

- 事業が環境に与える影響を継続的に確認するとともに、環境保全措置<sup>1</sup>についての助言等を通じた影響の低減
- 工事着工前流量の全量確保に向け、大井川下流域の利水者11者と連携を密にした事業者（ＪＲ東海）への働きかけの継続
- 大井川水系の水利に関する調整及び協議

めざす値

##### 大井川の水環境に対する市民の関心度

|           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| H28(2016) | → | H33(2021) |
| 66.0%     |   | 70.0%     |

#### 2. 水資源を保全します

水資源は市民生活全般のみならず、産業活動等にとっても重要な資源であり、水質の保全及び水量の確保を将来的に維持していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 各家庭及び事業者に対する生活雑排水対策に関する指導・啓発
- 公共下水道普及率の向上と生活環境の改善

めざす値

##### 汚水処理人口普及率

|           |   |           |
|-----------|---|-----------|
| H28(2016) | → | H33(2021) |
| 58.49%    |   | 60.3%     |

#### 用語解説

<sup>1</sup>【環境保全措置】環境影響評価の結果をその事業にかかる環境の保全のための措置、その他のその事業の内容に関する決定に反映させるための措置をとることなどにより、その事業にかかる環境の保全について適正な配慮がなされることを確保すること

## この柱のみんなでめざそう値

一人1日最大給水量

H28(2016)

477L/人・日

H33(2021)

464L/人・日

政策分野4  
環境・自然

▲中学生の川ざらい

## 3. 水環境を守ります

豊かな自然環境に由来する水環境を市民共通の財産として守り、次世代に引き継いでいきます。

## 主要な取り組みの事例

- 水の大切さを伝える啓発活動を通じた大井川の水環境を守り続ける意識の高揚
- 市内一斉環境美化活動（川ざらい）の実施による生活環境の保全及び公衆衛生の向上
- 自然環境と開発が併存する田代の郷整備事業地内における生物多様性の保全

めざそう値

市内河川調査における環境基準達成率

H28(2016)

100%

H33(2021)

100%

## 関連データ

## ■公共下水道の整備状況

| 年度  | 供用面積(ha) | 供用開始<br>区域内人口(人) | 人口(市全体)<br>(人) | 普及率(%) |
|-----|----------|------------------|----------------|--------|
| H24 | 193.06   | 10,420           | 101,693        | 10.2   |
| H25 | 199.17   | 10,381           | 101,159        | 10.3   |
| H26 | 205.33   | 10,564           | 100,646        | 10.5   |
| H27 | 207.47   | 10,650           | 100,127        | 10.6   |
| H28 | 209.91   | 10,652           | 99,761         | 10.7   |

※各年度末現在

## 住みよい生活環境をつくる

(住宅・防犯・公共交通・交通安全・消費生活・男女共同参画・人権)

### 基本的な施策の方向性

快適な居住環境の整備や公共交通手段の確保・維持を図るとともに、交通事故や犯罪のないまちづくりを進め、地域住民の住みやすさを向上していきます。

また、市民一人ひとりが互いに人権を尊重しあうことを基本に、性別、年齢、国籍などにかかわらず、誰もが平等に活躍できる社会環境づくりを進めます。

### 施策と内容

#### 1. 快適な居住環境の確保、安定した市営住宅の供給に努めます

全国的な傾向と同様、民間住宅の新築件数が増える一方で、市内でも空き家が目立ちはじめています。その利活用あるいは撤去方法について、柔軟ですばやく対応できるシステムの確立を図ります。

公共が担う住宅政策として、「市営住宅等長寿命化計画」に基づき、市営住宅の供給による快適な住環境の確保と長期的な活用を図り、適切に維持管理していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 特定空き家<sup>1</sup>の発生抑制と一般空き家の流通促進
- 大井川川越遺跡周辺地区、新東名島田金谷インターチェンジ周辺地区について、住環境とのバランスが取れた地区計画<sup>2</sup>指定の推進
- 川根身成地区への生活道路・排水路整備による宅地開発の促進
- 市営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅の長寿命化と計画の見直し

めやす値

耐用年数が経過した住宅の残戸数  
(市営住宅)

H28(2016)  
110 戸

H33(2021)  
81 戸

#### 2. 防犯活動を推進します

犯罪のない社会を目指し、市民一人ひとりの防犯意識を高め、市民・地域・関係機関が一体となった安全・安心な地域づくりを進めます。

##### 主要な取り組みの事例

- 関連団体との連携を密にした防犯対策啓発活動の強化
- 犯罪情報の周知拡大に向けた情報提供
- 地域が主体的に行う子どもの見守り活動の支援

めやす値

年間犯罪発生件数  
(刑法犯認知件数)

H28(2016)  
441 件

H33(2021)  
400 件

#### 用語解説

- 1 【特定空き家】周辺の生活環境に深刻な影響を及ぼしている空き家のこと。そのまま放置すると著しく保安上危険または衛生上有害となる状態、適切に管理されていないため著しく景観を損なっている状態にあると認められる空き家のこと
- 2 【地区計画】一定のまとまりを持った「地区」の用途地域の規制を強化、緩和することを目的に、その地区の実情に合ったよりきめ細かい規制を行う都市計画法に基づく制度

## この柱のみんなでめざそう値

住みごこちがよいと  
感じる市民の割合

H28(2016)  
84.1%  
85.2%

H33(2021)  
85.0%  
85.9%

## 政策分野4 環境・自然



▲ワゴン車コミュニティバス

### 3. 公共交通の維持・確保に努めます

公共交通は、通学や通勤、通院時の移動手段として重要な役割を担っています。さらに、食料品や日常品を購入するための手段として、そして、自家用車の運転に不安を抱える高齢者の移動手段として、公共交通の重要性が一層増してきています。

広大な市域を持つ本市が、各地域での市民生活を維持し、地域間のネットワークを構築していくため、自治会やNPO団体、福祉をはじめ市関係部署等の連携による、効果的で持続性の高い公共交通体系を構築していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- コミュニティバスの運行の維持と地域の自主的な交通手段の構築による交通空白地域<sup>3</sup>の解消
- 公共交通としてタクシーを利用した移動手段の構築
- バスの利用実態や自主的な地域交通手段の構築に関する講座の開催を通じた、市民の公共交通に対する理解の深化

めざそう値

#### コミュニティバス利用者数

H28(2016)  
256,865人

H33(2021)  
250,000人

めざそう値

#### 地域公共交通 人口カバー率

H28(2016)  
64.5%

H33(2021)  
90.0%

めざそう値

#### 地域公共交通 エリアカバー率

H28(2016)  
69.9%

H33(2021)  
80.0%

### 4. 交通安全対策を推進し、安全な地域づくりを進めます

市民一人ひとりの交通安全意識を高めるとともに、交通安全施設等の整備を進め、交通事故のない安全な地域づくりを進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 交通安全運動の推進と交通安全意識の向上
- 交通安全施設（道路照明灯・道路反射鏡・道路標識・ガードレール等）の設置と維持管理
- 生活道路における危険箇所の解消
- 高齢者の運転免許証自主返納のサポート

めざそう値

#### 交通事故（人身事故）発生件数

H28(2016)  
718件

H33(2021)  
700件

#### 用語解説

3【交通空白地域】路線バス等が運行していない地域、既存バス停から離れている地域、鉄道駅から離れている地域の全てに該当する地域

## 施策と内容

### 5. 消費生活対策を推進します

市民一人ひとりが消費者として、自らの利益擁護のため自主的かつ合理的に行動できる社会を目指し、消費生活の安定と向上を図ります。

特に近年、未成年者や高齢者、障害のある人等の社会的弱者が被害に遭いトラブルに発展するケースが増大していることから、それらの未然防止を重点に対策を進めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 啓発活動強化による高齢者に対する悪質商法等の被害の未然防止
- 迷惑電話防止装置の設置促進
- 悪質商法等の最新情報の積極的な収集による相談対応力の強化

めざす価値

電話勧誘に起因する消費生活相談件数

H28(2016) 133 件 → H33(2021) 100 件

### 6. 男女共同参画社会の実現を目指します

男女が互いに尊重しあい、性別にかかわらず誰もが個性と能力を十分に発揮し、責任を分かち合う社会づくりを目指します。

#### 主要な取り組みの事例

- 第3次島田市男女共同参画行動計画による男女共同参画社会の実現に向けた施策の展開
- ワーク・ライフ・バランス<sup>4</sup>の推進

めざす価値

女性の社会進出を後押しする動きが広がることについての市民意識

H28(2016) 81.2% → H33(2021) 85.0%  
88.5% 90.7%

### 7. 人権が尊重される社会の実現を目指します

すべての人の人権が尊重され、誰もが安心して豊かに暮らせるまちづくりを目指します。

#### 主要な取り組みの事例

- 人権教育、人権の啓発活動の充実
- 人権擁護委員<sup>5</sup>による人権相談の実施
- 関係機関と連携した、虐待や家庭内暴力の早期発見・予防

めざす価値

人権啓発事業への年間参加者数

H28(2016) 461 人 → H33(2021) 500 人

## 関連データ

### ■市民相談・定例市民相談・特設市民相談 受付件数の推移

(件)

| 年度  | 行政相談 | 民事・家事相談 | 交通事故相談 | 消費生活相談 | 合計    |
|-----|------|---------|--------|--------|-------|
| H24 | 40   | 845     | 41     | 559    | 1,485 |
| H25 | 37   | 894     | 43     | 625    | 1,599 |
| H26 | 45   | 874     | 40     | 614    | 1,573 |
| H27 | 21   | 791     | 35     | 631    | 1,478 |
| H28 | 18   | 771     | 43     | 536    | 1,368 |

#### 用語解説

4 【ワーク・ライフ・バランス】仕事と生活の調和。国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できること

5 【人権擁護委員】人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり人権の考えを広める活動をしている民間ボランティア



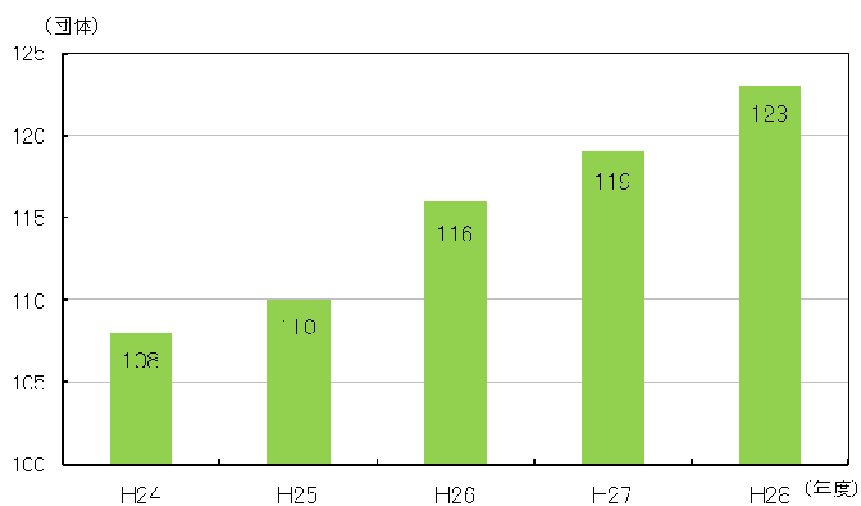


▲交通安全街頭広報



▲女性議会

## ■男女共同参画社会づくり宣言事業所・団体数の推移（累計）







▲コミュニティバス

## 政策分野5

### 【歴史・文化・地域】

歴史・文化がかがやく、人が集まるまちづくり

5-1 培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める  
(歴史・文化)

5-2 島田を知り、好きになってもらう  
(情報発信・シティプロモーション)

5-3 人との連携・交流が生まれる地域をつくる  
(移住・国際交流・多世代交流)

# 培われた歴史・文化で地域への理解と愛着を深める（歴史・文化）

## 基本的な施策の方向性

地域で育まれた歴史や文化、そして、そこに住む人が生み出す芸術は、私たちの想像力や表現力を高め、日常生活にうるおいを与えます。そこから人と人との交流が広がり、活力ある地域社会の実現にもつながっていきます。

様々なイベントを通じて、歴史・文化芸術は、教育、福祉、観光・産業、まちづくりといった多様な分野との関わりが見られるようになっていきます。市民、行政、議会の協働のもと、豊かな自然や、先人たちから受け継がれてきた文化、そして、今を生きる私たちが創造する新しい文化をまちづくりに活用し、次の世代へとつなげていきます。

## 施策と内容

### 1. 歴史資源を守り、活用を進めます

当市固有の財産である文化財をしっかりと保全・継承していきます。

大井川川越遺跡、諏訪原城跡、蓬莱橋といった由緒ある文化財を活かした魅力あふれるまちづくりを進め、国内外の人々に当市の歴史を情報発信していきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 大井川川越遺跡の保存管理と観光資源としての活用
- 諏訪原城跡の復元・保存整備と見学者の利便性向上につながる整備の推進
- 蓬莱橋周辺の施設や周辺の道水路整備
- 歴史文化基本構想の策定

めざす値

#### 市民意識調査「歴史を生かしたまちづくり」における市民満足度

| H28(2016) | H33(2021) |
|-----------|-----------|
| 39.7%     | 41.7%     |
| 56.0%     | 57.2%     |

### 2. 歴史に触れる機会を創出します

歴史・文化を伝えていく重要な役割を担う博物館をはじめ、当市の歴史を学ぶ「場づくり」、「機会づくり」を充実させ、地域への愛着を醸成します。

#### 主要な取り組みの事例

- 学校、自治会、市民活動団体等と連携した出前講座や体験学習の実施
- 博物館の常設展示内容の充実
- 収蔵品管理施設の改修

めざす値

#### 島田市博物館入場者数（分館含む）

| H28(2016) | H33(2021) |
|-----------|-----------|
| 57,395人   | 50,000人   |

※平成28年度は企画展「島田の刀鍛冶と天下三名槍」の入場者（23,389人）を含む数値。（参考：平成27年度博物館入場者数 42,810人）

## この柱のみんなめざそう値

市民意識調査「歴史・文化  
資源が豊かである」と感じ  
る市民の割合

H28(2016)  
31.8%  
34.3%

H33(2021)  
41.8%  
42.2%

政策分野5  
歴史・文化・地域

▲東光寺の猿舞（県指定無形民俗文化財）



▲島田市博物館

## 3. 文化・芸術に親しむ機会を充実します

文化・芸術活動への市民の参加を促すとともに、島田の文化を引き継ぐ人材の育成に力を入れていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 市民参加型、協働創造型、支援型の文化事業開催
- 街角ライブやアウトリーチ事業<sup>1</sup>の展開
- 「お茶のまち」の知名度の向上と島田市緑茶化計画の浸透
- 文化施設のあり方について一体的に検討

めざそう値

市民文化祭出展者、出演者、観客数計  
(年間)

H28(2016)  
9,100人

H33(2021)  
10,000人

## 4. 文化活動を支援し、文化芸術水準の向上を目指します

年齢や活動地域の違いを乗り越え、文化芸術活動に参加しやすい機会を創出するとともに、市民や団体が自ら行う文化活動を支援します。

## 主要な取り組みの事例

- 「(仮称)文化芸術推進計画」の策定
- 世界に向けて島田ならではの文化・芸術を発信する  
独創性豊かな文化・芸術創造事業を行う団体の支援

めざそう値

市民意識調査「文化活動への支援」  
における市民満足度

H28(2016)  
32.1%  
53.8%

H33(2021)  
42.1%  
62.3%

## 用語解説

1 【アウトリーチ事業】文化芸術に接する機会がない人々に芸術家や企画者側から働きかける活動（出前演奏など）

## 関連データ

### ■博物館本館・分館観覧者数の推移

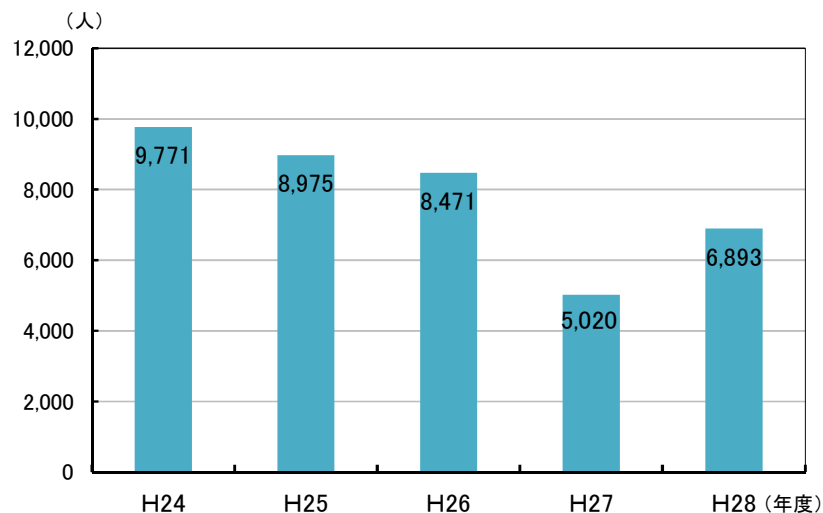
単位：人

| 年度        | H24    | H25    | H26    | H27    | H28    |
|-----------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 博物館本館観覧者数 | 27,455 | 27,598 | 19,037 | 25,553 | 36,651 |
| 博物館分館観覧者数 | 14,928 | 13,981 | 11,496 | 17,257 | 20,744 |
| 合計        | 42,383 | 41,579 | 30,533 | 42,810 | 57,395 |

### ■指定及び登録文化財の状況

| 種別    | 件数 | 指定内容                                                   |
|-------|----|--------------------------------------------------------|
| 国指定   | 7  | 島田宿大井川川越遺跡<br>諏訪原城跡<br>智満寺本道附本尊千手観音厨子<br>智満寺の十本スギ ほか3件 |
| 県指定   | 29 | 東海道石畳（菊川坂）<br>上志戸呂古窯跡<br>智満寺中門<br>島田鹿島踊 ほか25件          |
| 市指定   | 50 | 愛宕塚古墳<br>旧東海道と石畳（金谷坂）<br>河村家住宅<br>笹間神楽 ほか46件           |
| 登録文化財 | 3  | 徳兵衛酒店店舗兼主屋<br>徳兵衛酒店土蔵<br>旧片岡醸造所酒蔵                      |
| 合 計   | 89 | -                                                      |

### ■市民文化祭入場者数の推移







▲諏訪原城跡発掘



▲川越街道



## 島田を知り、好きになってもらう (情報発信・シティプロモーション)

### 基本的な施策の方向性

当市は、歴史や豊かな自然に育まれた魅力ある地域資源にあふれています。  
近年、高速交通網の発展がもたらす活気とここに住む人々の温かさから、住みよいまちとして認知され、島田市のイメージは着実に向上しています。  
こうした背景をもとに、豊かな自然とほどよい都会の調和のとれた都市ブランド<sup>1</sup>を確立し、市民が愛着と誇りを持ち、誰もが訪れたいくなるまちを目指していきます。  
魅力ある地域資源をさらにみがきをかけ、市民や事業者、団体と効果的な連携を図り、戦略的なシティプロモーションを展開します。

### 施策と内容

#### 1. 効果的に情報を発信し、島田に行ってみたくなるイメージを高めていきます

新聞、テレビのほかインターネットやソーシャルメディア<sup>2</sup>など、人々が情報を得る手段が多様化しています。あらゆる人に欲しい情報がしっかりと届くよう、効率的で整理された情報発信が求められています。

魅力ある地域資源をPRするため、様々なメディアを効果的に活用するとともに、市民自ら発信する情報も活かしながら、多面的・複合的な広報活動を進める必要があります。

##### 主要な取り組みの事例

- 広報紙のほか、多様なメディアと連携した行政情報の積極的な発信
- 国内有数の合宿地としてのPR
- ふるさと寄附金制度を通じた島田の地域産業の振興

めざす値

島田市公式 SNS (Facebook, Twitter 等) のフォロワー数

H28(2016) 5,176 件 → H33(2021) 5,700 件

めざす値

島田市公式ホームページの総ページビュー数

H28(2016) 2,884,538 件 → H33(2021) 2,902,000 件

#### 用語解説

1 【都市ブランド】「まちの個性や魅力」による都市の持つブランド力

2 【ソーシャルメディア】インターネット上で展開される情報メディアのあり方で、個人による情報発信や個人間のコミュニケーション、人の結びつきを利用した情報流通などといった社会的な要素を含んだメディアのこと

## この柱のみんなでめざそう値

都市の魅力度  
(地域ブランド調査)H28(2016)  
545 位H33(2021)  
400 位政策分野5  
歴史・文化・地域

▲アンテナショップの出店（駿河湾沼津SA）

2. 島田市緑茶化計画をはじめとしたシティプロモーションの推進により、  
島田のブランド力を高めます

2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催や賑わい交流拠点施設がオープンする機会は、観光・商業の分野に留まらず、当市の都市ブランド力をあげる新たなチャンスです。

ブランドメッセージ等を効果的に活用し、国内外に向けた様々なプロモーションを戦略的に展開します。

## 主要な取り組みの事例

- 国内外に向けた様々なプロモーション戦略の展開
- 「日本一のお茶のまち 島田」を多くの人に伝える機会の創出
- 「島田市緑茶化計画」の認知度向上

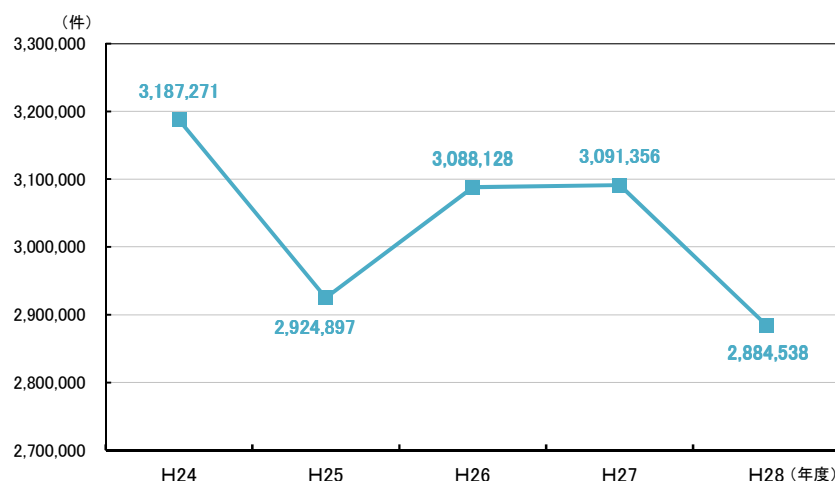
めざそう値

島田市の認知度（地域ブランド調査）

H28(2016)  
578 位H33(2021)  
400 位

## 関連データ

## ■島田市ホームページ総ページビュー数（年間件数）の推移



## 用語解説

- 3 【ブランドメッセージ】市の魅力や地域の独自性や優位性などをわかり易く表現し、これからのまちづくりの方向性を示すものであり、シティプロモーション活動の「要」となるもの

## 人との連携・交流が生まれる地域をつくる（移住・国際交流・多世代交流）

### 基本的な施策の方向性

当市の自然・歴史・文化、地域資源から湧き上がる都市イメージは広く浸透されつつあり、ブランド化を推進する取り組みが功を奏しています。

今後、島田の良さ、魅力に触れることのできる機会を生み出し、当市に興味を持ち、行ってみたいと感じる人、住んでみたいと思う人が増えるよう、積極的にPRしていく必要があります。

さらに、これまで良好な関係を築き上げてきた国内外都市とお互いの強みや特性を活かした交流を推進し、魅力と知名度を高めながら世界の中での当市の存在感を増していきます。

### 施策と内容

#### 1. 移住支援を促進します

当市の中山間地域、特に川根地域は過疎化が進み、人口減少が顕著となっています。今後も持続可能な社会を構築していくため、当市の自然の豊かさや心の温かさをアピールしながら、川根地域をはじめ市内全域への移住を支援していく必要があります。

首都圏等からの移住希望者に対して、子どもを健やかに育てられる環境や就労情報等をPRすることで移住の地として選ばれ、ここでの定住につながる施策を展開します。

##### 主要な取り組みの事例

- 「地域おこし協力隊」の積極的な受け入れ
- 首都圏等における移住相談会や体験ツアーの開催
- 空き家バンク事業<sup>1</sup>や空き家改修補助など、既存の資源を活用した移住政策の展開

めざす値

##### 移住相談件数（年間）

H28(2016)

104 件

H33(2021)

156 件

#### 2. 国内・国際交流を推進します

国外へつながる時間や距離が縮まっています。

世界における当市の存在感を高めるため、これまで良好な関係を築き上げてきた国内外都市との間で、お互いの強みや特性を活かした交流を推進し、都市の魅力を高めていきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 国内姉妹都市である氷見市との多分野にわたる交流
- 海外姉妹都市・友好都市等との交流事業
- 市民が主体となって進める海外交流活動の側面支援

めざす値

##### 市民意識調査「国際交流や都市間交流の推進」における市民満足度

H28(2016)

27.2%

49.3%

H33(2021)

30.0%

52.4%

#### 用語解説

1【空き家バンク事業】空き家情報をインターネット等で移住・定住希望者に情報提供する事業

## この柱のみんなでめざそう値

県外からの移住件数  
(累計)H28(2016)  
31件H33(2021)  
80件政策分野5  
歴史・文化・地域

▲移住定住ポータルサイト「住んでしまだ」

## 3. 幅広い世代が交流し、このまちへの愛着が湧く意識を醸成します

市民がこのまちに愛着と誇りを持ちながら、住み慣れた場所でいつまでも住み続けたいという願いをかなえていきます。そのためにも、子どもから高齢者までの幅広い世代が活発に交流するまちを目指します。

## 主要な取り組みの事例

- 子どもを中心に幅広い世代が交流するイベントの開催や地域で子どもを見守る活動の支援
- 子どもから高齢者まで一緒に過ごすことができる、居場所づくりに関する調査・研究

めざそう値

先進的自治会活性化事業新規実施団体数(累計)

H28(2016)

—

H33(2021)

5団体

## 関連データ

## ■島田市が締結している姉妹都市・友好都市の一覧

| 種別 | 種別   | 都市名           | 都市提携締結日     |
|----|------|---------------|-------------|
| 国外 | 姉妹都市 | リッチモンド市(アメリカ) | 昭和36年12月12日 |
|    | 友好都市 | 湖州市(中国)       | 昭和62年5月30日  |
|    | 姉妹都市 | ブリエンツ町(スイス)   | 平成8年8月10日   |
| 国内 | 姉妹都市 | 氷見市           | 昭和62年4月15日  |



# 政策分野6

## 【都市基盤】

ひと・地域を支える都市基盤が充実するまちづくり

- 6-1 安全で快適な生活基盤を整える  
(生活道路・河川・公園・上下水道等・通信)
- 6-2 地域と地域の活発な交流を支える道をつくる  
(幹線道路)
- 6-3 便利で魅力あるまちの拠点をつくる  
(都市計画)



## 安全で快適な生活基盤を整える (生活道路・河川・公園・上下水道等・通信)

### 基本的な施策の方向性

社会経済情勢が成熟期への移行をたどる中で、高度成長期に整備された道路・河川・公園・上下水道・下水道などの老朽化が一斉に進行しています。

社会資本は「造る」から「守る」に重点が置かれ、道路舗装の打替えや橋りょうの長寿命化、上下水道関連施設等の耐震化など、計画的に整備、更新していく必要があります。

一方、スマートフォンをはじめとする、瞬時に大量の情報を入手し様々な処理を可能とする情報通信機器が普及する中で、情報通信基盤を充実していくことが、今の時代に必要なことであると認識されています。光ファイバ網などの通信インフラを整え、市内全域の情報格差是正を図っていきます。

### 施策と内容

#### 1. 生活道路の整備を計画的に進めます

日常生活に欠くことのできない道路について、幅員が狭い箇所や舗装の劣化が激しい箇所などを計画的に改修していきます。

また、点検を主眼においた道路パトロールを日常的に実施し、不具合の早期発見、早期補修に努めることで、安全・安心な道路環境を提供します。

##### 主要な取り組みの事例

- 生活に身近な道路の側溝改修、舗装修繕、道路拡幅等の計画的な推進
- 道路照明灯のLED化

めざす値

##### 市道の整備率

H28(2016)  
38.4%

H33(2021)  
40.1%

#### 2. 橋りょう・河川の整備により、市民の安全を守ります

「橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、計画的な修繕や耐震補強工事を実施します。

また、断面不足<sup>2</sup>によって大雨時に危険度が高まる河川や、生活雑排水による環境悪化が著しい河川を計画的に改修します。

##### 主要な取り組みの事例

- 橋梁長寿命化修繕計画や道路施設の点検結果を踏まえ、優先度を考慮した修繕工事の実施
- 災害対策として中小河川の改修や排水路の整備

めざす値

##### 橋りょうの長寿命化修繕工事実施率

H28(2016)  
33.0%

H33(2021)  
100.0%

#### 用語解説

1【LED】発光ダイオード(light emitting diode)の略。電圧をかけた際に発光する半導体素子(電子部品)のこと

2【断面不足】現況堤防断面が計画堤防断面より不足している状態

3【公共水域】水質汚濁防止法によって定められる、公共利用のための水域や水路のことをいう。河川、湖沼、港湾、沿岸海域、公共溝きよ、かんがい用水路、その他公共の用に供される水域や水路。ただし、下水道は除く。

4【世帯カバー率】整備済地域の世帯数を住民基本台帳に基づく当該地域の世帯数で除した割合

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「安心して暮らせる居住環境の整備」における市民満足度

H28(2016)  
36.1%  
47.9%

H33(2021)  
40.0%  
51.7%

## 政策分野6 都市基盤



▲ばらの丘公園

### 3. 親しみやすい公園緑地を整備します

公園緑地は、市民に安らぎと親しみを与える憩いの場としての機能に加え、災害時には避難地として重要な役割を担う社会基盤です。

除草や補修などの日常の維持管理作業により快適な環境の整備に努めていくほか、新たな公園整備や老朽化した施設の改修等を進めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「緑の基本計画」に基づく向島町公園の整備
- 希少品種である「帯桜」の植樹による桜の花が咲き誇る景観の創出

めざそう値

#### 公園愛護会団体数

H28(2016)  
46 団体

H33(2021)  
49 団体

### 4. 上下水道等関連施設の効率的な整備を進めます

市民が安心して快適な暮らしができる水環境の提供を目指し、施設の改修や配水管を整備・更新します。

また、住環境に配慮した公共水域<sup>3</sup>の水質汚濁を防止するため、汚水処理にかかる施設や設備の緊急度・優先度に応じた整備・更新を進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 将来負担をできる限り抑えた更新計画による持続可能な水道サービスの提供
- 「下水道長寿命化計画」や「ストックマネジメント計画」に基づく浄化センターや、その他施設の設備・機器の計画的な改修
- 公共下水道事業認可区域外における合併処理浄化槽への付け替え支援

めざそう値

#### 市民意識調査「上下水道の整備」における市民満足度

H28(2016)  
40.3%  
49.8%

H33(2021)  
41.0%  
50.6%

### 5. 誰もが快適に利用できる地域情報通信基盤の整備を進めます

超高速ブロードバンドサービスは世帯カバー率<sup>4</sup>が9割を超えているものの、一部中山間地域では整備が行き届いていない場所があります。すべての市民が等しく高度情報化社会の恩恵を享受できるよう地域情報通信基盤の整備を進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 超高速ブロードバンド未整備地区の解消
- コミュニティ施設などの地域拠点におけるＩＣＴ機器や通信網の整備

めざそう値

#### 超高速ブロードバンド 世帯カバー率

H28(2016)  
92.01%

H33(2021)  
100%

## 関連データ

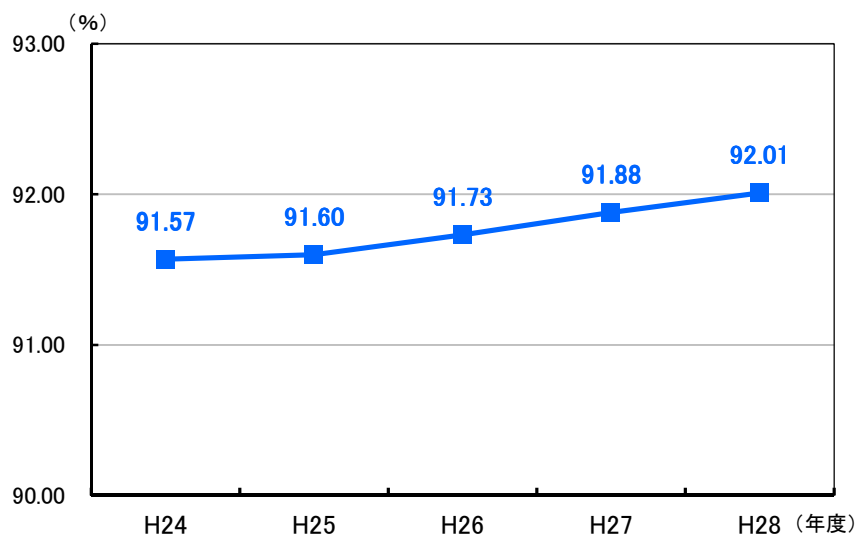
### ■市道の整備状況

| 年度     | H24            | H25            | H26            | H27            | H28            |
|--------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|
| 実延長（m） | 1, 113, 927. 5 | 1, 114, 404. 3 | 1, 115, 541. 6 | 1, 115, 807. 1 | 1, 121, 148. 4 |
| 本数（本）  | 3, 614         | 3, 618         | 3, 623         | 3, 627         | 3, 658         |

### ■橋りょうの長寿命化修繕工事実施率の推移

| 年度     | H26  | H27   | H28   |
|--------|------|-------|-------|
| 実施数（橋） | 3    | 7     | 20    |
| 実施率（％） | 3. 0 | 11. 0 | 33. 0 |

### ■超高速ブロードバンド 世帯カバー率の推移





▲帯桜記念植樹



### 基本的な施策の方向性

国道1号4車線化や大代インターチェンジの完成型フルインター化<sup>1</sup>、金谷御前崎連絡道路の菊川インターチェンジへの接続とそれに伴うフルインター化、国道473号の新東名高速道路島田金谷インターチェンジから国道1号大代インターチェンジまでの4車線化、空港アクセス道路県道吉田大東線の新設など、国・県による主要広域幹線道路の整備が大規模に進められています。

これらを補完する幹線道路を計画的に整備することによって、陸・空・海が結節し、地域間の活発な交流から生み出される波及効果を、市内至るところへと行き渡らせていきます。

### 施策と内容

#### 1. 幹線道路の整備を推進します

広域幹線道路との連携を強化することで、市民の利便性の向上に加え、ヒトやモノが活発に交流する道路ネットワークを構築します。

##### 主要な取り組みの事例

- 横岡新田牛尾線や島竹下線をはじめ、広域幹線道路への連絡機能を強化する幹線道路の整備
- 通勤・通学時等の安全確保につながる幹線道路の計画的な整備

めざす価値

##### 都市計画道路の整備概成率

H27(2015)  
87.4%

H33(2021)  
90.9%



▲谷口中河線

#### 用語解説

<sup>1</sup>【フルインター化】高速道路や有料道路のように他の道路と区分された閉鎖的な道路区間と、一般の道路とを結ぶ立体交差式の上下線に対して全て乗り降りすることができる出入口

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「主要な  
道路の整備」における  
市民満足度

H28(2016)  
54.7%  
59.4%

H33(2021)  
59.7%  
64.8%

## 政策分野6 都市基盤



▲東町御請線

## 2. 広域幹線道路の整備促進を行います

様々な分野の交流を促し経済活動を活発化させる広域幹線道路の整備について、国や県に対して強く働きかけていきます。

### 主要な取り組みの事例

- 国・県に対する、国道1号島田金谷バイパス及び藤枝バイパス4車線化の整備促進、東光寺インターチェンジフルインター化の事業着手の働きかけ
- 国・県との連携した国道1号、国道473号など広域幹線道路の早期完成
- 志太3市をつなぐ志太中央幹線、小川島田幹線とはばたき橋の4車線化の整備促進の働きかけ
- 富士山静岡空港と中心市街地を結ぶ空港アクセス道路島田ルート of 早期着手と東名高速道路吉田インターチェンジやはばたき橋をつなぐ南原ルート（県道吉田大東線）の県に対する整備促進の要望

めざそう値

「国道1号島田金谷バイパス4車線化事業」及び「国道473号金谷相良道路Ⅱ工区整備事業」の整備率

H28(2016)  
29.2%

H33(2021)  
80.0%

## 関連データ

### ■広域幹線道路の整備率（事業費ベース）の推移

単位：％

| 年度                  | H24 | H25 | H26  | H27  | H28  |
|---------------------|-----|-----|------|------|------|
| 国道1号島田金谷バイパス4車線化事業  | 0.2 | 1.0 | 3.0  | 6.0  | 14.0 |
| 国道473号金谷相良道路Ⅱ工区整備事業 | 2.0 | 5.0 | 21.0 | 37.0 | 52.0 |



## 基本的な施策の方向性

江戸時代、大井川の川越しで栄えた当市は、時代を超え、富士山静岡空港の開港や新東名高速道路の開通、さらに、金谷御前崎連絡道路の国道1号への接続などにより、交通の要衝としての確固たる地位を築いています。ヒト・モノが大交流する拠点の形成と、その効果を起爆剤に地域活性化へとつなげていくことが、私たちの大きな役目です。

一方、今の時代がもたらす社会経済全般に関わる人口減少・少子高齢化問題は、行政経営をはじめ様々な影響を与えています。

広大な市域を持つ当市が、効率よく柔軟に行政サービスを提供していくためには、各地域の拠点に必要な機能を集約し、拠点間のつながりを充実した「コンパクト+ネットワーク」の考えに基づく「まちづくり」が必要です。

## 施策と内容

### 1. 都市計画マスタープラン<sup>1</sup>を見直し集約型都市の実現を目指します

静岡県が実施する都市計画基礎調査をもとに都市計画マスタープランの見直しを図り、将来にわたって都市機能が維持できる集約型都市（コンパクトシティ）の実現を目指します。

#### 主要な取り組みの事例

- 都市計画マスタープランの改訂作業
- コンパクトな都市構造を実現する立地適正化計画の必要性の検討

めざす価値

市民意識調査「計画的な土地利用の推進」における市民満足度（再掲）

| H28 (2016) | H33 (2021) |
|------------|------------|
| 13.9%      | 14.9%      |
| 21.0%      | 22.4%      |

### 2. 地域景観の向上を図ります

豊かな自然がもたらす美しい景観や価値ある歴史景観は、当市固有のものとして後世に引き継いでいかなくてはなりません。

良好な景観の形成と風致の維持を図るため、景観計画に基づいた重点地区を指定するほか、県条例に沿った屋外広告物の管理に努めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 大井川川越遺跡周辺地区の景観計画重点地区<sup>2</sup>への指定
- 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区の景観計画重点地区への指定

めざす価値

市民意識調査「心地よい景観の形成」における市民満足度

| H28 (2016) | H33 (2021) |
|------------|------------|
| 44.8%      | 49.7%      |
| 60.3%      | 65.8%      |

### 3. 新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区（内陸フロンティア推進区域）の開発整備を進めます

賑わい交流拠点の整備や工業用地の造成などによる都市的土地利用を進め、「稼ぐ拠点」を創出し、産業の活性化につなげるまちづくりを進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「内陸フロンティア推進区域」の開発整備の推進
- 堤間地区や牛尾山地区への企業誘致の促進
- 関連する企業や団体と連携した「新東名島田金谷インターチェンジ周辺賑わい交流拠点」の整備

めざす価値

内陸フロンティア推進区域  
企業立地面積

| H28 (2016) | H33 (2021) |
|------------|------------|
| —          | 8ha        |

#### 用語解説

- 【都市計画マスタープラン】取り組むべき都市づくりの施策の方向性を示し、都市全体における総合的な土地利用の方針として、将来の都市像を明確にすることを目的とした計画
- 【景観計画重点地区】景観計画区域のうち、特に美しい景観形成に向けて、重点的かつ計画的に整備していく必要のある地区

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「計画的な  
土地利用の推進」における  
市民満足度

H28(2016)  
13.9%  
21.0%

H33(2021)  
14.9%  
22.4%

## 政策分野6 都市基盤



▲川根鵜山七曲りパラグライダーパーク

### 4. 富士山静岡空港周辺プロジェクトを進めます

にぎわいの創出と交流人口の拡大を目的に空港周辺の基盤整備を行い、県が運営する「ふじのくに茶の都ミュージアム」や民間事業者を整備主体とする旧金谷中学校跡地周辺の利活用を県と連携して進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「空港ティーガーデンシティ構想」や「ふじのくに茶の都しずおか構想」、「旧金谷中学校跡地の活用に向けた基本計画」に基づく、民間事業者による施設整備を県と連携して推進
- 静岡空港隣接地域賑わい空間創生事業による周辺のまちづくりの推進
- 富士山静岡空港新幹線新駅の設置に向けた取り組みを県と連携して推進

めざそう値

市民意識調査「富士山静岡空港を活用したまちづくり」における市民満足度

H28(2016)  
22.7%  
30.8%

H33(2021)  
35.0%  
46.7%

### 5. 新たな交流拠点の形成を図ります

川根地域の大井川鐵道家山駅と川根温泉を大井川流域観光の拠点と位置づけ、野守の池やパラグライダーパーク、鵜山森林公園キャンプ場などの多彩な地域資源と有機的に結ぶことで、魅力あるエリアづくりを進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 川根地域集落ネットワーク圏の形成
- 大井川鐵道家山駅周辺におけるにぎわいを生み出す施設の整備
- 大会誘致を見据えた、パラグライダーパークの知名度向上
- 鵜山森林公園キャンプ場の運営支援

めざそう値

川根温泉及び川根温泉ホテルの  
年間利用者数

H28(2016)  
399,962人

H33(2021)  
412,000人

### 6. 六合駅駅前広場の整備を進めます

人口増加が顕著な六合地区では、六合駅利用者数が増加し、送迎車両による混雑の常態化等が課題となっています。地域交通の中核となる六合駅駅前広場の整備を進め、利用者の利便性と安全性を高めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- JR六合駅駅前広場における乗降スペースの拡大や通路シェルターの設置
- 六合駅周辺における道路交通の円滑化

めざそう値

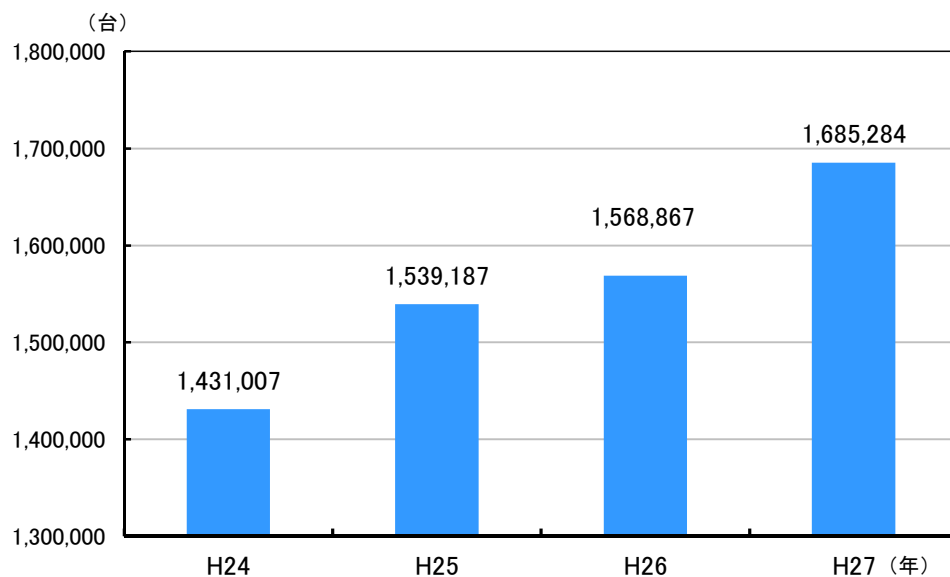
市民意識調査「公共交通機関の充実」における六合地区満足度

H28(2016)  
37.0%  
40.0%

H33(2021)  
37.7%  
40.7%

## 関連データ

### ■新東名高速道路島田金谷インターチェンジ入出交通量の推移



出典：静岡県統計年鑑

### ■JR市内主要駅の1日平均乗降客数の推移

単位：人

| 年度  |       | H24    | H25    | H26    | H27    |
|-----|-------|--------|--------|--------|--------|
| 島田駅 | 一般    | 3,723  | 3,721  | 3,586  | 3,660  |
|     | 定期券利用 | 7,694  | 7,671  | 7,372  | 7,534  |
|     | 合計    | 11,417 | 11,392 | 10,958 | 11,194 |
| 六合駅 | 一般    | 2,045  | 2,031  | 1,940  | 1,988  |
|     | 定期券利用 | 4,187  | 4,174  | 4,049  | 4,112  |
|     | 合計    | 6,232  | 6,205  | 5,989  | 6,100  |
| 金谷駅 | 一般    | 1,485  | 1,467  | 1,451  | 1,477  |
|     | 定期券利用 | 2,721  | 2,782  | 2,706  | 2,699  |
|     | 合計    | 4,206  | 4,249  | 4,157  | 4,176  |
| 合計  | 一般    | 7,253  | 7,219  | 6,977  | 7,125  |
|     | 定期券利用 | 14,602 | 14,627 | 14,127 | 14,345 |
|     | 合計    | 21,855 | 21,846 | 21,104 | 21,470 |

# ■富士山静岡空港利用者数の推移

単位：人

| 年度                        | 利用者総数   | 内訳      |         |
|---------------------------|---------|---------|---------|
|                           |         | 国内線     | 国外線     |
| H21<br>(H21.6.4～) (開港1年目) | 527,862 | 351,577 | 176,285 |
| H22 (開港2年目)               | 555,459 | 316,082 | 239,377 |
| H23 (開港3年目)               | 411,880 | 266,413 | 145,467 |
| H24 (開港4年目)               | 446,755 | 251,329 | 195,426 |
| H25 (開港5年目)               | 459,006 | 292,900 | 166,106 |
| H26 (開港6年目)               | 549,179 | 305,002 | 244,177 |
| H27 (開港7年目)               | 698,652 | 309,083 | 389,569 |
| H28 (開港8年目)               | 611,361 | 334,902 | 276,459 |

出典：静岡県資料



▲富士山静岡空港



▲新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺 賑わい交流拠点整備 基本計画 マルシェ施設内イメージ図

# 政策分野7

## 【行財政】

### 人口減少社会に挑戦する経営改革

- 7-1 みんなの協力でまちをつくる  
(市民協働)
- 7-2 安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める  
(行財政改革・人材育成・情報公開)
- 7-3 都市間連携による地域の活性化を進める  
(広域連携)
- 7-4 公共施設を賢く持って、賢く使う  
(公共施設の保全・再編・利活用)



# みんなの協力でまちをつくる (市民協働)

## 基本的な施策の方向性

人口減少や少子高齢化という現代社会の課題は、住民の孤立や自治会の担い手不足、役員の高齢化などを引き起こし、身近な地域社会に大きな影響を与えています。

サービスを縮めながら充実させていく「縮充」の考え方が、これからの行政のあるべき方向です。地域課題に的確に対応していくためには、広く市民の声に耳を傾け、協働のまちづくりをさらに深化させていかななくてはなりません。

まちづくりは市民の手の中にあるという意識を醸成し、市民一人ひとりの生活の満足度を高める、市民参加による地域主体のまちづくりを進めていきます。

## 施策と内容

### 1. 協働のまちづくりを推進します

子育て、防災、防犯、環境美化から総合的な地域福祉の推進まで、あらゆる分野において、市民の主体的な参画や、地域の学校、企業、様々な団体活動等のさらなる活性化を支援し、協働のまちづくりを進めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 協働のまちづくりに対する意識の普及・啓発を図るとともに、(仮称)自治基本条例の制定を目指す
- 「市民活動センター」の運営による住民主体のまちづくりへの支援
- 協働のまちづくりを担う人材の育成
- まちづくり支援事業交付金を通じた、団体が主体的に取り組む事業の支援
- 事業者のCSR(社会貢献活動)への協力

めざす値

#### 市民活動団体登録数

H28(2016)

86 団体

H33(2021)

116 団体

### 2. 地域主体のまちづくりを推進します

自主性・自発性・自立性を尊重した活動をより一層促進し、地域主体のまちづくりを進めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 自治会・町内会と連携した地域課題への対応
- 地域活性化に取り組む各コミュニティ委員会<sup>2</sup>の活動の支援

めざす値

#### まちづくり支援事業実施件数

H28(2016)

19 件

H33(2021)

23 件

#### 用語解説

- 1【自治基本条例】市政運営や自治に関する基本理念や、市民等(通勤・通学者、事業者等を含む)・議会・行政の役割と責務を明らかにするとともに、3者による協働のまちづくりを進めるために必要な仕組みやルールを定める条例
- 2【コミュニティ委員会】住みやすい地域社会の創出のために活動する島田市内の各地区のコミュニティ組織

## この柱のみんなでめざそう値

市民意識調査「住民の  
市政への参加の推進」  
における重要度H28(2016)  
69.6%  
82.2%H33(2021)  
72.0%  
83.9%政策分野7  
行財政

▲市民協働ワークショップ

## 3. 平和に向けたまちづくりを推進します

「島田市平和都市宣言」に基づき、市民一人ひとりが平和の尊さを再認識し、共に安心して暮らせるまちづくりを目指します。

## 主要な取り組みの事例

- 平和祈念事業の実施や平和都市宣言の啓発

めざそう値

## 平和祈念式典参加者数

H28(2016)  
460人H33(2021)  
500人

▲島田空襲被爆者慰霊のつどい

## 関連データ

## ■まちづくり支援事業交付金実績の推移

| 年度              | H24       | H25       | H26       | H27       | H28       |
|-----------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 交付対象団体数<br>(団体) | 28        | 9         | 15        | 18        | 19        |
| 交付金額(円)         | 5,976,368 | 1,149,940 | 1,832,481 | 1,606,592 | 1,661,800 |

## 安定的・継続的な市民目線の行財政運営を進める（行財政改革・人材育成・情報公開）

### 基本的な施策の方向性

国・地方の財政状況が総じて厳しい状況が続く中で、時代の要請として、地方は独自性を発揮しながら地方創生<sup>1</sup>の取り組みを深化させ、市民に対して柔軟で的確な行政サービスを提供していくことに力を注がなくてはなりません。

そのため、市民に最も身近な場所で行政サービスを提供する基礎自治体の役割を認識し、強固な財政基盤の確立と市民の視点に立った効率的・効果的な行政運営を念頭に、サービスの質の向上に努めていきます。

### 施策と内容

#### 1. 行財政改革を進めます

限られた経営資源の中で市民の視点に立ち、多様化する市民ニーズや行政課題に適切かつ迅速に対応していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 行政経営戦略に基づく行動計画の策定と進捗管理
- 行政運営の最適化を図る「トータル・マネジメント」の構築
- 中期財政計画に基づく安定的な財政運営

めざす値

##### 行政経営戦略行動計画の達成度（再掲）

H28(2016)

83.7%

H33(2021)

90.0%

#### 2. 人材育成を推進し組織力を強化します

多様化する市民ニーズに応えるため、地域の実情に合った政策を企画できる人材を研修制度、人事評価制度の充実を図る中で育成していきます。

##### 主要な取り組みの事例

- 職員研修を通じた人材育成の推進と組織力の強化
- 島田市定員管理計画に基づく、正規職員の戦略的な採用と配置
- 多様な雇用形態による効率的な組織運営

めざす値

##### 公募研修の応募者割合

H28(2016)

59.9%

H33(2021)

73.0%

#### 用語解説

<sup>1</sup>【地方創生】国内の各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をかたちづくること。その主要な柱（政策）として、東京一極集中の解消、地域社会の問題の解決、地域における就業機会の創出などが据えられている。

この柱のみんなでめざそう値

行政経営戦略行動計画  
の達成度H28(2016)  
83.7%H33(2021)  
90.0%政策分野7  
行財政

▲島田市地域若手交流会

## 3. 開かれた市政を推進します

市政や市民生活に必要な情報を、様々な情報媒体を活用しわかりやすく提供します。  
また、広報活動と広聴活動の連携を十分に機能させ、市民からの意見や助言を施策等に的確に反映させていきます。

## 主要な取り組みの事例

- 市民生活に密着した地域情報の提供
- 市政運営の透明性・公平性の向上
- 市が保有する公的データの活用機会の拡充に向けた、カタログサイト<sub>2</sub>の運用

めざそう値

市民意識調査「情報公開など行政の  
透明性の向上」における市民満足度

|      | H28(2016) | H33(2021) |
|------|-----------|-----------|
| 満足度  | 28.1%     | 38.0%     |
| 不満足度 | 43.8%     | 53.5%     |

## 4. 行政情報システムの安定運用・最適化に努めます

市民サービスを維持・向上させるため、行政情報システムの安定稼働に努めるとともに、データセンター<sub>3</sub>やクラウドサービス<sub>4</sub>等の利用を踏まえ、システムの最適化を目指します。  
また、高度化・複雑化するサイバー攻撃<sub>5</sub>に備え、情報セキュリティ強化への取り組みを推進します。

## 主要な取り組みの事例

- マイナンバー制度の適正な運用と行政情報システムの安定稼働
- オンラインサービスの拡充による市民の利便性向上と地理的格差解消
- 災害時の業務継続に必要な情報システム及び情報通信環境の整備に向けた手法の検討

めざそう値

電子申請システム<sub>6</sub> 手続登録件数

|      | H28(2016)      | H33(2021) |
|------|----------------|-----------|
| 登録件数 | 43件※<br>(145件) | 73件       |

※楽習センターの指定管理化を予定していることから、平成28年度手続登録件数145件からしまだ楽習センター講座申込手続件数102件を引いた数値としている。

## 用語解説

- 2【カタログサイト】「島田市オープンデータの推進に関する指針」に基づき、島田市が保有する情報のオープンデータ化を進めるための基盤
- 3【データセンター】サーバーを設置するために、高度な安全性等を確保して設計された専用の建物・施設のこと。サーバーを安定して稼働させるため、無停電電源設備、防火・消火設備、地震対策設備等を備え、I Dカード等による入退室管理などでセキュリティが確保されている。
- 4【クラウドサービス】インターネット等のブロードバンド回線を経由して、データセンターに蓄積されたコンピュータ資源を役務（サービス）として、第三者（利用者）に対して遠隔地から提供するもの。なお、利用者は役務として提供されるコンピュータ資源がいずれの場所に存在しているか認知できない場合がある。
- 5【サイバー攻撃】インターネットの通信機能を悪用して、情報技術関連のインフラを破壊し、テロに匹敵する甚大な被害を社会にもたらす犯罪行為
- 6【電子申請システム】インターネットに接続されたパソコン、モバイル端末（携帯電話、スマートフォン等）を使って行政機関に申請や届出を行うためのシステム

## 関連データ

### ■主要財政指標の推移

| 年度                              | H24        | H25        | H26        | H27        | H28        |
|---------------------------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 財政力指数 <sup>1</sup><br>(3か年平均)   | 0.749      | 0.750      | 0.755      | 0.756      | 0.756      |
| 経常収支比率 <sup>2</sup>             | 89.8       | 90.5       | 91.6       | 88.5       | 89.9       |
| 実質赤字比率 <sup>3</sup>             | —          | —          | —          | —          | —          |
| 連結実質赤字比率 <sup>4</sup>           | —          | —          | —          | —          | —          |
| 実質公債費比率 <sup>5</sup><br>(3か年平均) | 10.0       | 9.6        | 8.8        | 8.1        | 7.8        |
| 将来負担比率 <sup>6</sup>             | 51.5       | 35.5       | 25.0       | 6.8        | —          |
| 地方債 <sup>7</sup> 現在高(千円)        | 42,829,458 | 42,948,575 | 43,244,173 | 42,598,719 | 41,027,320 |

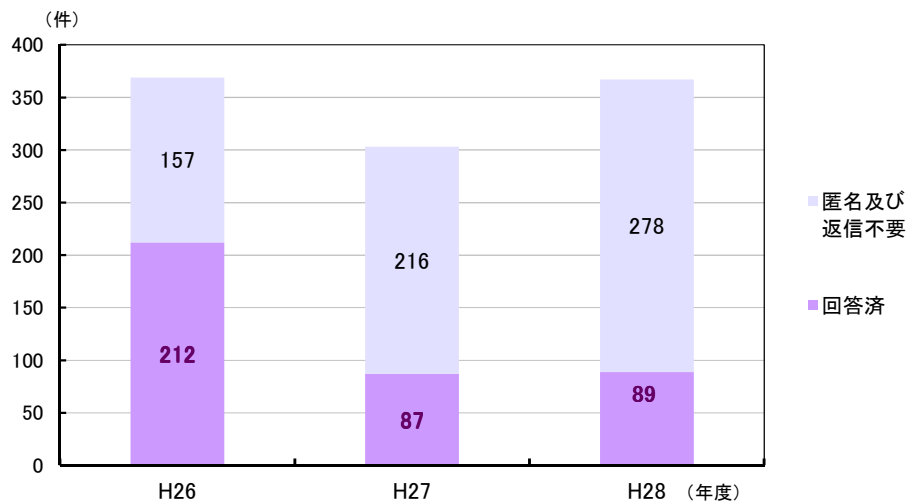
### ■職員数及び職員定数の推移

単位：人

| 年度   | 市長部局<br>(水道含む) | 議会<br>各種委員会 | 病院  | 合計    |
|------|----------------|-------------|-----|-------|
| H24  | 574            | 130         | 717 | 1,421 |
| H25  | 571            | 128         | 711 | 1,410 |
| H26  | 567            | 124         | 711 | 1,402 |
| H27  | 563            | 126         | 722 | 1,411 |
| H28  | 568            | 132         | 730 | 1,430 |
| (定数) | 743            | 225         | 800 | 1,768 |

※各年度4月1日現在

### ■市長への手紙受理件数及び回答数の推移



### 用語解説

- 【財政力指数】地方公共団体の財政力を示す指数。財政力指数が高いほど、普通交付税算定上の留保財源が大きいことになり、財源に余裕があると言える。
- 【経常収支比率】義務的性格の経常経費に、経常一般財源収入がどの程度充当されているかを示したものの
- 【実質赤字比率】地方公共団体の一般会計等を対象とした実質赤字額を標準財政規模に対する割合で示したもの
- 【連結実質赤字比率】公営企業会計を含む当該地方公共団体の全会計を対象とした実質赤字額及び資金の不足額を標準財政規模に対する割合で示したもの
- 【実質公債費比率】地方公共団体の借入金の返済額の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示したもの
- 【将来負担比率】地方公共団体が抱える負債の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で示したもの
- 【地方債】地方公共団体が1会計年度を超えて行う借入れ





▲住民票の写し等コンビニエンスストア交付サービス



# 都市間連携による地域の活性化を進める（広域連携）

## 基本的な施策の方向性

人口減少や少子高齢化が進む中で、行政サービスを維持しつつ新たな行政ニーズへ柔軟に対応していくことが求められています。

そのため、他の自治体と多様な分野、多様な形で連携し、社会情勢の変化に対応しながら効率的・効果的な取り組みによる地域の活性化を進めていきます。

## 施策と内容

### 1. 近隣市町と連携した広域行政を推進します

静岡県中部5市2町や志太3市などの枠組みにより近隣市町と連携することで、経済活動の活性化や市民活動の活性化、行政活動の効率化が生み出す住民生活への波及効果を高めていきます。

#### 主要な取り組みの事例

- 「しずおか中部連携中枢都市圏<sup>1</sup>」における連携事業の推進
- 志太3市（島田市、焼津市、藤枝市）の連携による行政サービスの向上、地域の活性化に資する事業の推進
- 藤枝市とのICT分野の連携を通じた、地域の次代を担う人材の育成や地域産業の成長基盤の構築、ライフスタイルに即した新たな働き方の提案と提供

めざそう値

広域連携関連事業の「めざそう値」

達成度

H28(2016)

—

H33(2021)

100%



▲志太3市市長会談

#### 用語解説

<sup>1</sup> 【しずおか中部連携中枢都市圏】国（総務省）の連携中枢都市圏構想に基づき、連携中枢都市宣言を行った静岡市を中心に、島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、吉田町、川根本町が連携市町となって形成した都市圏で、圏域における地方創生を目指し、多極的な広域連携を推進するもの

## この柱のみんなでめざそう値

「しずおか中部連携  
中枢都市圏ビジョン」  
K P I 達成度

H28(2016)

—

H33(2021)

100%

政策分野7  
行財政

▲しずおか中部連携中枢都市圏 合同調印式

## 2. 県外自治体との連携を推進します

県外の姉妹都市や災害協定を締結した都市とさらなる連携を深めるほか、人口規模、地域特性に類似性を持ち、共通の行政課題を抱える自治体と新たな連携を図ることで、周辺にない魅力を持つまちづくりを目指します。

## 主要な取り組みの事例

- 都市間の連携を通じた、島田市の魅力向上

めざそう値

富山県氷見市姉妹都市提携事業に  
おける公募参加人数の割合

H28(2016)

—

H33(2021)

50%



▲島田駅北口広場イルミネーション

# 公共施設を賢く持って、賢く使う (公共施設の保全・再編・利活用)

## 基本的な施策の方向性

高度成長期以降に集中的に整備された公共施設（公共建築物、インフラ等）の老朽化が一斉に進行する中、人口減少、少子高齢化や厳しい財政状況を踏まえつつ、公共施設の品質、保有量、管理費の適正化を計画的に進め、ムリ・ムラ・ムダのない公共施設の経営を目指します。

公共施設を市民全体の財産と捉え、市民にとって利用価値の高いものとなるよう、市民と行政が共に公共施設の将来像を考える環境を創出します。

## 施策と内容

### 1. 公共施設のあり方検討を進めます

公共施設の整備や運営維持に関するこれまでの手法を見直し、総合的かつ計画的な取り組みを通して持続可能な行財政運営に貢献します。

#### 主要な取り組みの事例

- 「公共施設等総合管理計画」の内容の周知
- 公共施設の評価に基づく用途別の方向性の整理
- 公共施設保有量の適正化に向け、「建物」を残すことと「サービス」を残すことの違いを踏まえた検討
- 「予防保全型」の維持管理手法などの導入による、施設の長寿命化と長期的費用の削減

めざす価値

公共施設のあり方に対し関心を持っている市民の割合

H28(2016)

—

H33(2021)

85.0%

### 2. 効率的に公共施設を整えます

まちづくりの視点を踏まえつつ公共施設全体の最適な配置を実現するため、公共施設の更新・統廃合・長寿命化の取り組みを総合的かつ計画的に推進します。

#### 主要な取り組みの事例

- 市役所本庁舎、旧島田市民会館及び市民総合施設プラザおおりのあり方の一体的な検討
- 支所機能のあり方も含めた旧金谷庁舎の跡地利用の検討
- 児童・生徒にとって望ましい教育環境の整備や地域コミュニティにおける役割等を踏まえた学校施設のあり方の検討

めざす価値

公共施設の減価償却率

H28(2016)

56.9%

H33(2021)

57.0%

## この柱のみんなでめざそう値

公共施設管理運営費  
の市民1人当たりの  
負担額

H28(2016)  
19,766 円/人

H33(2021)  
19,000 円/人

## 政策分野7 行財政



▲市役所本庁舎

### 3. 公的不動産<sup>1</sup>を戦略的に管理・活用します

公共施設の統廃合に伴い未利用となる土地・建物が発生することを見据え、市が保有する公的不動産全体を経営資源と捉えて、戦略的に管理・活用することを通して行政経営効率の向上に努めます。

#### 主要な取り組みの事例

- 民間の資金や経営能力などを取り入れた公的不動産の管理活用手法の検討
- 活用見込みのない公的不動産の売却・貸付を通じた財源の確保

めざそう値

公的不動産の管理・活用に向け公民連携手法の導入を検討した案件の累計数

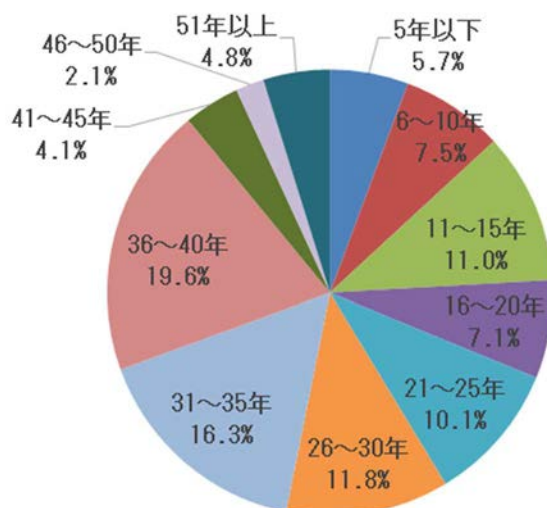
H28(2016)  
1 件

H33(2021)  
10 件

### 関連データ

#### ■ 公共施設の築年数別延床面積割合

平成29年3月末現在（339 施設、354,685.51 m<sup>2</sup>）



#### 用語解説

<sup>1</sup> 【公的不動産】 地方公共団体が保有する各種不動産



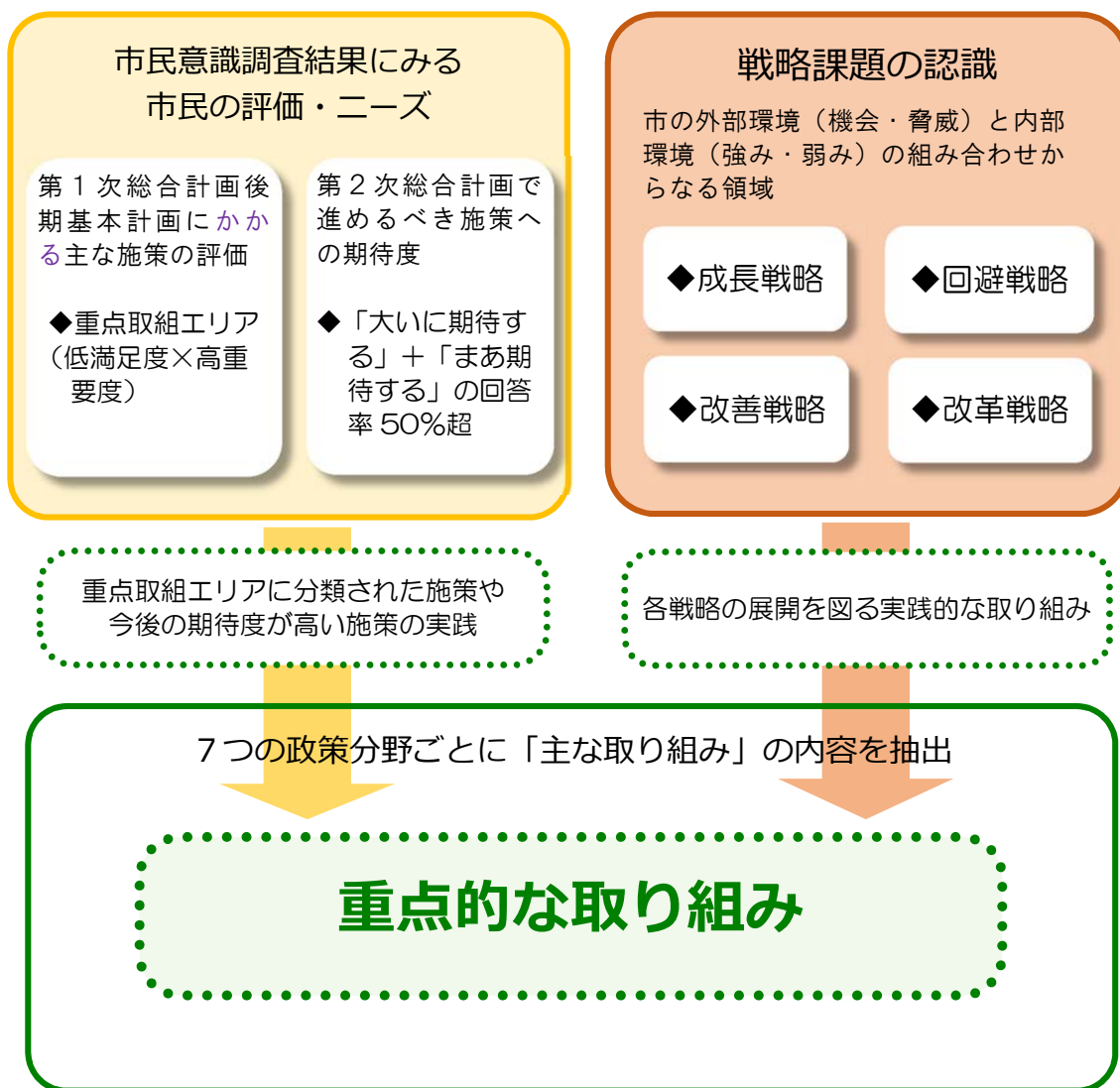
## 2. 重点的な取り組み

### (1) 設定について

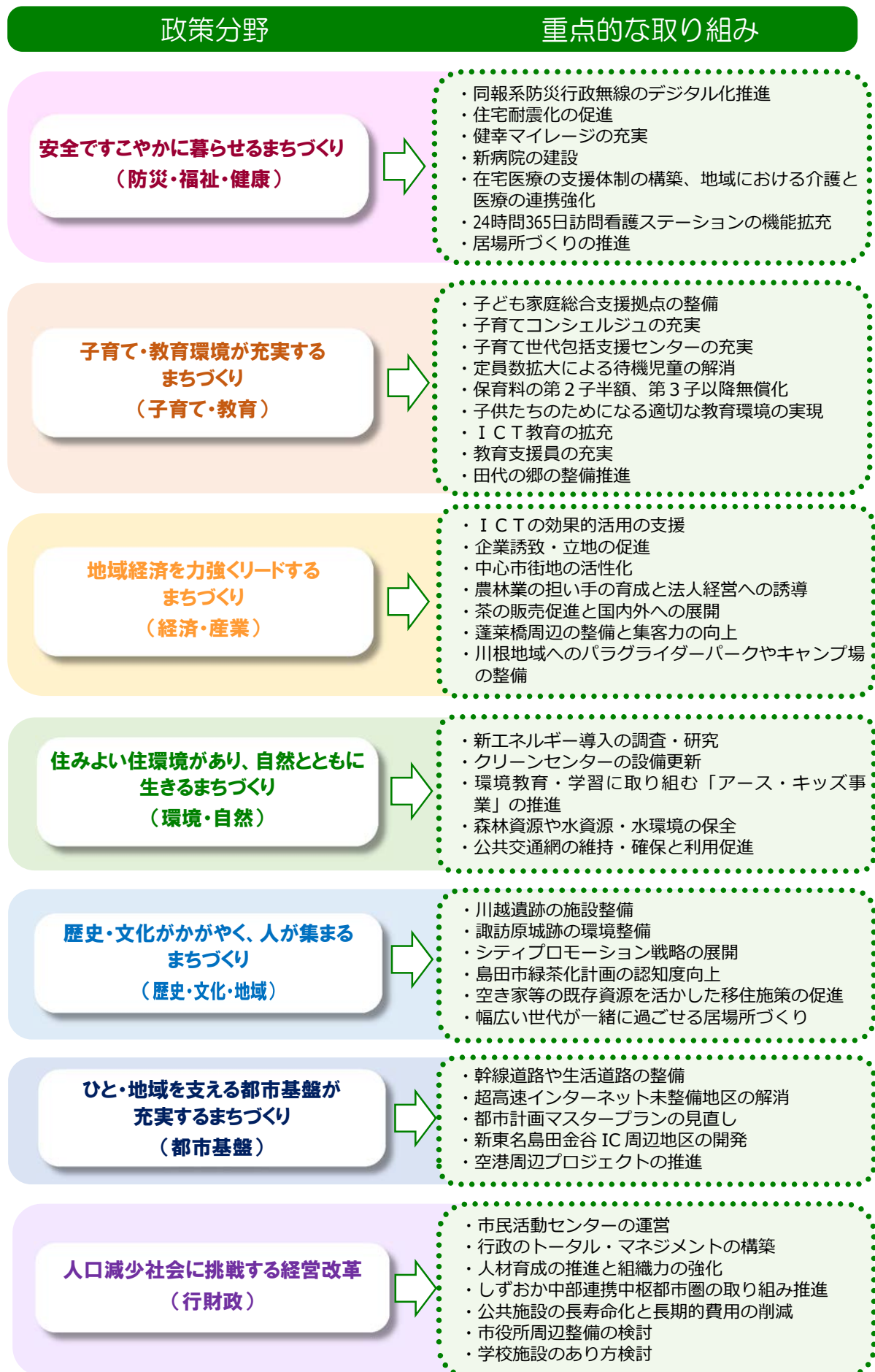
人口減少、少子化・超高齢社会にあって、今後も持続的にまちづくりを進めていくためには「第2次総合計画」に位置づけた施策の、より重点的・効果的な実行が求められます。

このため、前期基本計画では、市民意識調査結果にみる施策・事業にかかる市民の評価・ニーズや、まちづくりに関する戦略課題の認識を踏まえて、分野別まちづくりの方向性に示す7つの政策分野ごとに重点的な取り組みを抽出します。

#### ■ 設定概念図



## (2) 重点的な取り組みの内容





### 3. 地域別まちづくりの方向性

都市の将来的な構造や土地利用などを踏まえた、市民生活に身近な地域ごとのまちづくりの方向性を示すとともに、「1. 分野別まちづくりの方向性」に位置づける取り組み内容と連動する、各地域に関わる主な事業を掲載します。

#### (1) 地域区分とまちづくりの方向性に示す内容

下記の要素を踏まえた6地域を設定します。

##### 地域区分

- 既存の地域コミュニティや中学校区を踏まえた基本単位とします。
- 地形・地物（道路等）や土地の利用状況などの地域特性を考慮します。
- 将来的な都市の開発動向や、地域内外の交流等の状況を考慮します。



## ■まちづくりの方向性に示す内容

6つの地域ごとに以下の事項を示します。

### 地域の概況等

- ・各地域の立地概要、人口、世帯数の動向、主な資源、また、アンケート調査、タウンミーティング実施結果などを示しています。

### 〇〇地域のまちづくりの「テーマ」

地域の将来あるべき姿をキャッチフレーズで示します

### まちづくりの方針

- ・土地の利用のあり方や、まちづくりを進める具体的な取り組みについて、ポイントとなる内容を示します。

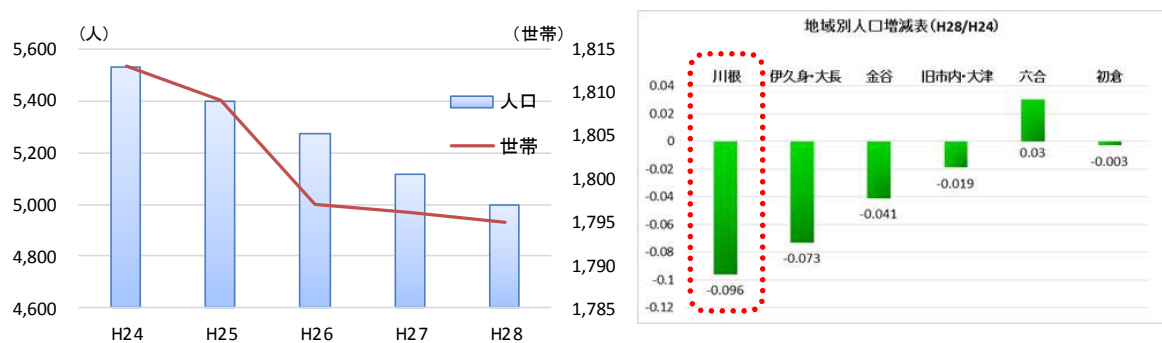
| 分 野      | 地域で実施する事業                                                                                     |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・分野別まちづくりの方向性に示す区分を基本に、当該地域で実施が想定される事業を示します</li> </ul> |
| 子育て・教育   |                                                                                               |
| 経済・産業    |                                                                                               |
| 環境・自然    |                                                                                               |
| 歴史・文化・地域 |                                                                                               |
| 都市基盤     |                                                                                               |
| 行財政      |                                                                                               |

## ① 川根地域

### 地域の概況

- ・川根地域は市域最北部に位置し、大部分が森林で占められています。地域の中心となる家山地区には大井川鐵道家山駅が設けられ、周辺部には市街地が形成されています。
- ・豊かな自然を背景とする大井川七曲りの景勝地や川根温泉、野守の池など、多彩な観光資源を有しています。
- ・地域の人口・世帯数は平成28年12月末時点で4,996人・1,795世帯となっています。人口・世帯ともに減少傾向が見られ、市内で最も人口減少が進んでいます。

#### ■人口・世帯の状況



### 地域の主な資源

- ・川根温泉 ・桜トンネル ・野守の池 ・大井川「鵜山の七曲り」と朝日段
- ・大井川鐵道（S L） ・笹間神楽 ・塩本牛代のエドヒガン

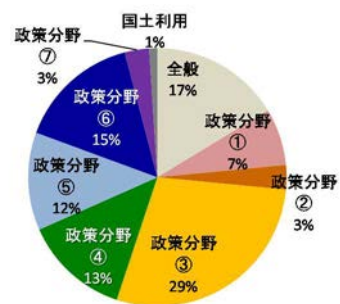
### 地域のニーズ

#### ■アンケートによる施策ニーズ

|   | 満足度<br>(「満足」+「やや満足」) | 重要度<br>(「重要」+「やや重要」) |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | ごみ・リサイクル対策           | 地震・水害など災害に強いまちづくり    |
| 2 | 健康の増進                | 高齢者の医療・介護・福祉の充実      |
| 3 | 心地よい景観の形成            | 医療の充実                |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査（平成29年1月）

#### ■タウンミーティング時の意見傾向



島田市タウンミーティング2017



▲鵜山の七曲り



▲上塩本牛代のエドヒガン



▲笹間神楽

## 川根地域のまちづくりの「テーマ」

### 雄大な自然を背景に、多彩な交流と活力を生み出す地域

#### まちづくりの方針

##### ●土地利用に関する内容

森林・農地・河川などの自然環境や水資源を保全し、多彩な交流と活力を生み出し、多様なライフスタイルに対応できる住環境を形成する土地利用を目指します。

##### ●まちづくりのポイント

- ・大井川の両岸に広がる中山間地として、桜、温泉、野守の池等の地域資源を活かし、地域での交流や滞留性の向上と消費の促進を図り、活力あるまちづくりを進めます。
- ・地域の魅力を都市圏に向けて発信・PRするとともに、空き家の活用などを促進し、移住へとつなげていきます。
- ・身近な生活道路の整備等の基盤整備を図るなど、定住したくなる居住環境をつくりします。
- ・地域における支えあいの仕組みづくりや包括的なサービスの提供、地域ぐるみの子どもへの教育支援などにより、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らせるまちづくりを進めます。

| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                               |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車更新事業（家山、身成、上河内）</li> <li>・地域包括支援センター運営事業 ・ 川根地区移動支援サービス事業</li> <li>・川根介護予防拠点施設管理運営事業</li> </ul>                                                             |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールバス運行事業</li> <li>・島田市山村都市交流センター運営事業（施設改修）</li> </ul>                                                                                                           |
| 経済・産業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域林道整備事業（改良・舗装）</li> <li>・パラグライダーパーク整備事業</li> <li>・鶴山森林公園キャンプ場整備運営事業</li> <li>・川根温泉施設維持管理事業</li> <li>・家山駅周辺整備事業</li> </ul>                                        |
| 環境・自然    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川根温泉メタンガス利活用事業</li> <li>・旧川根町清掃センター解体整備事業</li> </ul>                                                                                                              |
| 歴史・文化・地域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊派遣事業</li> <li>・移住・定住促進事業</li> </ul>                                                                                                                       |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路改良事業（石上日掛線・抜里循環線・駅前駿遠橋線・西向島線）</li> <li>・川根地区定住化促進基盤整備事業</li> <li>・河川改修事業（石風呂地内排水路など）</li> <li>・抜里簡易水道建設改良事業（水源・配水池・送配水管布設工事）</li> <li>・飲料水供給施設整備工事</li> </ul> |

## ② 伊久身・大長地域

### 地域の概況

- ・伊久身・大長地域は市域中東部に位置し、地域の大半は都市計画区域外で森林・農地が多くを占めています。
- ・豊かな自然を背景に田代の郷温泉や野外活動センター「山の家」などの体験型施設がにぎわいを見せています。
- ・地域の人口・世帯数は平成28年12月末時点で5,049人・1,751世帯となっています。市内では川根地域に次いで人口減少が進んでいる一方、世帯数は増加に転じています。

#### ■人口・世帯の状況



### 地域の主な資源

- ・やまめ平 ・やまゆり ・山の家 ・田代の郷温泉 ・上相賀の大カヤ ・杉澤の大カヤ
- ・神座みかん

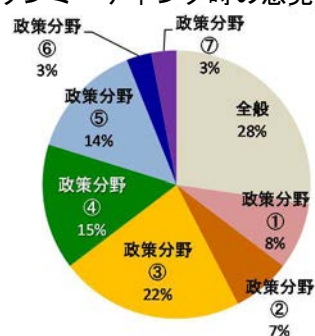
### 地域のニーズ

#### ■アンケートによる施策ニーズ

|   | 満足度<br>（「満足」＋「やや満足」）    | 重要度<br>（「重要」＋「やや重要」） |
|---|-------------------------|----------------------|
| 1 | ごみ・リサイクル対策              | 地震・水害など災害に強いまちづくり    |
| 2 | 健康の増進（健康診断や予防対策）        | 医療の充実                |
| 3 | 主要な道路（地域間を結ぶ比較的広い道路）の整備 | 保育環境の充実や子育てへの支援      |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査（平成29年1月）

#### ■タウンミーティング時の意見傾向



島田市タウンミーティング 2017



▲田代の郷温泉



▲上相賀の大カヤ



▲山の家



## 伊久身・大長地域のまちづくりの「テーマ」

## 水と緑の自然に育まれたふれあい豊かな暮らしやすい地域

## まちづくりの方針

## ●土地利用に関する内容

清流が流れるなど、ここにしかない自然景観を守り、心地よい緑の里山空間の中で、安全・快適な暮らしが確保できる土地利用を目指します。

## ●まちづくりのポイント

- ・自然、農林産物、水環境などの豊かな地域資源を活かした産業振興を図るとともに、集落間の有機的なネットワークを充実し、地域住民がともに支え合いながら暮らしを維持できるまちづくりを進めます。
- ・里山の魅力を広く発信し、都市住民との交流や多世代が交流できる機会を生み出すことにより、地域への移住へとつなげます。
- ・生活道路や河川等の生活基盤の整備を図るほか、地域の強いつながりを活かし、自然災害の備えが十分で安全・安心を実感できるまちづくりを進めます。
- ・教育環境の整備を図り、地域が持つ力で子供を育てるまちづくりを進めます。
- ・自然と調和した美しい景観づくりを進めます。

| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                                                             |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防団可搬ポンプ更新事業（小川、鍋島、丹原、神座）</li> <li>・地域包括支援センター運営事業</li> </ul>                                                                                                                                   |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育環境適正化事業</li> <li>・神座小学校耐震補強事業</li> <li>・伊太小学校屋内運動場屋根改修事業</li> <li>・小学校屋内運動場屋根改修事業</li> <li>・小・中学校施設改修事業（受水槽・便所）</li> <li>・スクールバス運行事業</li> <li>・島田市野外活動センター運営事業</li> <li>・田代の郷整備事業</li> </ul>  |
| 環境・自然    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・伊太田代地区保全事業</li> </ul>                                                                                                                                                                           |
| 歴史・文化・地域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域おこし協力隊派遣事業</li> </ul>                                                                                                                                                                         |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落ネットワーク圏形成支援事業</li> <li>・伊太地区道路整備事業</li> <li>・川口鍋島線改良事業</li> <li>・河川改修事業（神座地内排水路など）</li> <li>・危険橋除去事業（相賀・伊久美）</li> <li>・小川簡易水道建設改良事業（浄水場・配水管布設整備工事）</li> <li>・犬間簡易水道建設改良事業（配水池整備工事）</li> </ul> |



### ③ 金谷地域

#### 地域の概況

- ・市域西部に位置する金谷地域は、東海道本線が通るほか大井川鐵道の起点であり、さらに新東名高速道路や国道1号の東西軸、国道473号の南北軸が交差する、広域交通網の要衝にあたります。
- ・地域の北部は主に森林・農地となっており、南部の一体は牧之原台地の茶畑が広がっています。また、地域の中央部の大井川に接する一帯は、緑地に沿って工業地が形成されています。
- ・地域の人口・世帯数は平成28年12月末時点で19,141人・6,724世帯となっています。人口減少が進んでいますが、世帯数は増加しています。

#### ■人口・世帯の状況



#### 地域の主な資源

- ・諏訪原城跡 ・旧東海道石畳 ・上志戸呂古窯跡 ・牧之原大茶園 ・金谷茶まつり
- ・金谷大井川川越し太鼓 ・志戸呂焼 ・安田の大シイ ・牧之原公園のカタクリ
- ・牧之原公園の夜景（日本夜景遺産）

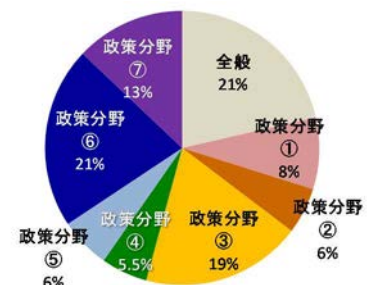
#### 地域のニーズ

##### ■アンケートによる施策ニーズ

|   | 満足度<br>(「満足」+「やや満足」)    | 重要度<br>(「重要」+「やや重要」) |
|---|-------------------------|----------------------|
| 1 | ごみ・リサイクル対策              | 医療の充実                |
| 2 | 主要な道路（地域間を結ぶ比較的広い道路）の整備 | 地震・水害など災害に強いまちづくり    |
| 3 | 健康の増進（健康診断や予防対策）        | 高齢者の医療・介護・福祉の充実      |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査（平成29年1月）

##### ■タウンミーティング時の意見傾向



島田市タウンミーティング2017



▲二の曲輪北馬出の門（諏訪原城跡）



▲牧之原公園の夜景



▲旧東海道石畳

## 金谷地域のまちづくりの「テーマ」

### 茶文化を守り伝え、多彩な交流と新たな活力を生み出す地域

#### まちづくりの方針

##### ●土地利用に関する内容

自然・歴史・文化を守り伝えながら、安全で快適な暮らしが確保され、交通アクセスの優位性を活かした新たな活力を創造する土地利用を目指します。

##### ●まちづくりのポイント

- ・自然環境や農地保全との調和のもとに、新東名高速道路島田金谷インターチェンジ周辺地区開発や旧金谷中学校跡地の有効活用を図り、多彩な交流と新たな活力を生み出します。
- ・奥大井や市内中心部、富士山静岡空港等へのアクセス性の向上につながる幹線道路や生活道路の整備を進めます。
- ・インターチェンジ周辺の優れた立地特性を活かした企業誘致により、新たな就業の場を確保します。
- ・地震や自然災害に備える防災面の強化を図り、安全・安心な生活空間を確保します。
- ・歴史・観光資源の保全・活用を図るとともに、里山風景や大茶園のパノラマなどを活かした美しい景観づくりに努めます。
- ・良好な自然環境のもと、子供たちの教育環境を充実します。

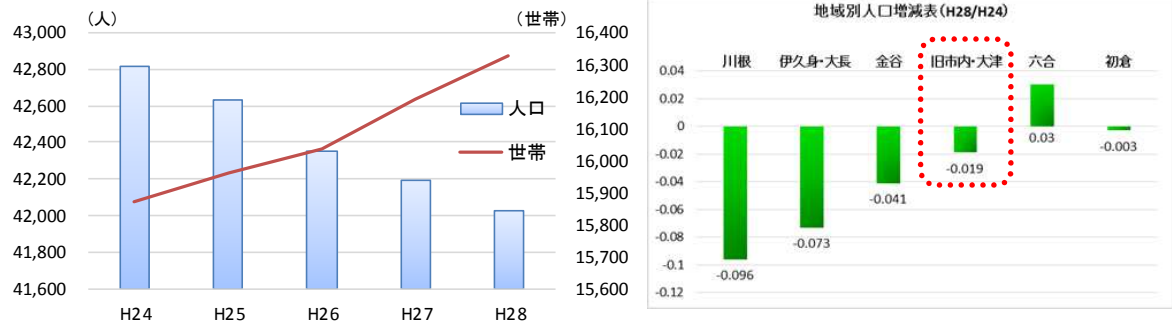
| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                  |
|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車購入事業（猪土居、島、横岡）</li> <li>・地域包括支援センター運営事業</li> </ul>                                                                                             |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ施設運営・施設整備事業</li> <li>・金谷小学校改修事業（屋根・便所等）</li> <li>・スクールバス運行事業（金谷小・五和小・金谷中）</li> <li>・生涯学習推進事業（東海道金谷宿大学） ・金谷図書館施設改修事業</li> </ul>               |
| 経済・産業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶園基盤整備事業（県営事業負担金）</li> <li>・大井川流域観光事業（SLフェスタ開催）</li> <li>・金谷茶まつり事業費補助金</li> <li>・地域林道整備事業（施業道福用線）</li> </ul>                                         |
| 環境・自然    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・クリーンセンター設備更新事業</li> </ul>                                                                                                                            |
| 歴史・文化・地域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・諏訪原城跡整備事業 ・カタクリ園改修事業</li> </ul>                                                                                                                      |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・市道改良事業（堂山谷北線ほか）</li> <li>・河川改修事業（早川・沢根川ほか）</li> <li>・横岡新田牛尾線改良事業 ・二軒家牛尾線改良事業</li> <li>・島竹下線改良事業 ・番生寺島線改良事業</li> <li>・島田金谷インターチェンジ周辺地区開発事業</li> </ul> |
| 行財政      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・旧金谷庁舎跡利用事業</li> </ul>                                                                                                                                |

#### ④ 旧市内・大津地域

##### 地域の概況

- ・旧市内・大津地域は、市域の中心部に位置し、東海道本線島田駅、市役所ほか、市民病院などの公共施設、商業・業務施設が立地する市の中心的な機能が集積しています。
- ・地域の北側の範囲は主に森林・農地ではあるものの一部宅地化されており、地域の南側は大井川に沿って工場が分布しています。
- ・地域の人口・世帯数は、平成28年12月末時点で42,023人・16,326世帯となっており、人口減少が進んでいますが、世帯数は増加しています。

##### ■人口・世帯の状況



##### 地域の主な資源

- ・島田宿大井川川越遺跡 ・蓬萊橋 ・智満寺 (十本スギ・鬼払い)
- ・大井川マラソンコース「リバティ」 ・中央公園 ・ばらの丘公園 ・帯祭り
- ・鹿島踊 ・大名行列 ・島田髷 ・帯桜

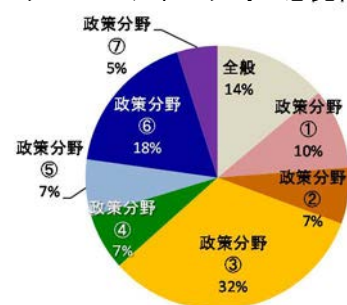
##### 地域のニーズ

##### ■アンケートによる施策ニーズ

|   | 満足度<br>(「満足」+「やや満足」)    | 重要度<br>(「重要」+「やや重要」)  |
|---|-------------------------|-----------------------|
| 1 | ごみ・リサイクル対策              | 医療の充実                 |
| 2 | 健康の増進                   | 高齢者の医療・介護・福祉の充実、健康の増進 |
| 3 | 主要な道路(地域間を結ぶ比較的広い道路)の整備 | 地震・水害など災害に強いまちづくり     |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査 (平成29年1月)

##### ■タウンミーティング時の意見傾向



島田市タウンミーティング 2017



▲川越遺跡



▲智満寺



▲大奴 (島田大祭)

## 旧市内・大津地域のまちづくりの「テーマ」

大井川の恵みと交通の利便性を活かした、人々が出会い歩きたくなる地域

### まちづくりの方針

#### ●土地利用に関する内容

当市の中心部としてにぎわいと活力を育み、安全・安心で快適な暮らしを支える土地利用を目指します。

#### ●まちづくりのポイント

- ・島田駅周辺やおび通り周辺などを、様々な人が行き交うにぎわいのある交流の核として活性化を図ります。
- ・教育施設や福祉施設などを地域のコミュニティの拠点とし、身近な自然や歴史的資源を活かした交流を促進します。
- ・医療機能をはじめ福祉や子育て支援機能を充実するほか、生活に身近な道路の改修や避難地として機能する公園づくりを進めるなど、安心して生活できる快適な居住地とします。
- ・森林、農地などの緑地に縁取られ、大井川の水辺空間に愛着と親しみを持ち、既存集落や新たな住宅地が調和するまちづくりを進めます。
- ・歴史・文化などの地域資源、観光資源の保全・活用を図り、景観づくりにも配慮しながら地域の魅・を高めます。

| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車購入（稲荷町、落合）</li> <li>・横井中央線電線共同溝整備事業 ・急傾斜地崩壊対策事業（野田旗指地区）</li> <li>・地域包括支援センター運営事業</li> </ul>                                                                                                                                            |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの居場所づくり事業</li> <li>・放課後児童クラブ施設運営・施設整備事業</li> <li>・島田第四小学校改築事業 ・島田第一小学校改修事業</li> <li>・大津小学校屋内運動場耐震補強事業 ・島田第三小学校屋根改修事業</li> <li>・しまだ楽習センター共同駐車場整備事業</li> <li>・島田球場施設改修事業 ・総合スポーツセンター改修事業</li> </ul>                                         |
| 経済・産業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おび通り活性化事業 ・空き店舗等対策事業補助金</li> <li>・農業農村整備事業（蓬萊農道、蛭川農道、野田金ヶ谷排水路）</li> <li>・蓬萊橋周辺整備事業</li> </ul>                                                                                                                                                |
| 環境・自然    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・污水管渠整備事業（公共下水道事業）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                 |
| 歴史・文化・地域 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・川越遺跡整備事業 ・島田大祭文化財調査事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                             |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・幹線道路改良事業（本通り御飯屋線、蓬萊橋線ほか）</li> <li>・島田駅南地区まちづくり幹線道路整備事業</li> <li>・河川改修事業（波田川ほか）</li> <li>・都市公園安全安心対策緊急総合支援事業 ・向島町公園整備事業</li> <li>・天神原配水池更新事業 ・老朽管更新事業（天神原・旗指配水区）</li> <li>・配水池耐震化事業（千葉配水池） ・地下水源施設耐震化事業（上水道）</li> <li>・新病院建設関連整備事業</li> </ul> |
| 行財政      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・島田市役所本庁舎周辺整備事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                    |



## ⑤ 六合地域

### 地域の概況

- ・市域東部に位置する六合地域は、東海道本線の六合駅が立地する東の玄関口に当たります。
- ・地域北部は茶などが生産される山間地が広がり、南部は大井川に接する緑地が見られ、ＪＲ六合駅を中心に市街地が形成されています。
- ・地域の人口・世帯数は平成28年12月末時点で15,852人・5,766世帯となっています。人口・世帯数とも増加傾向にあり、市内で唯一、人口増加が見られる地域です。

#### ■人口・世帯の状況



### 地域の主な資源

- ・東光寺日吉神社（猿舞）
- ・東光寺悠久の森
- ・香橋寺の大ナンテン（県天然記念物）

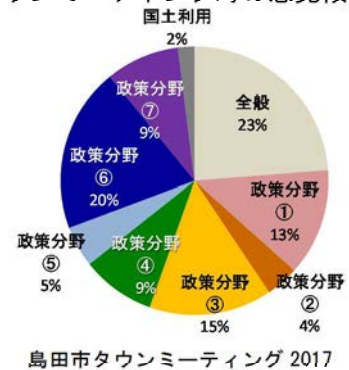
### 地域のニーズ

#### ■アンケートによる施策ニーズ

|   | 満足度<br>（「満足」＋「やや満足」） | 重要度<br>（「重要」＋「やや重要」） |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | ごみリサイクル対策            | 地震・水害など災害に強いまちづくり    |
| 2 | 健康の増進                | 高齢者の医療・介護・福祉の充実      |
| 3 | 主要な道路の整備             | 交通安全対策               |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査（平成29年1月）

#### ■タウンミーティング時の意見傾向



▲東光寺の猿舞



▲東光寺悠久の森



▲香橋寺の大ナンテン

## 六合地域のまちづくりの「テーマ」

### 緑がうるおう多様な世代が交流する暮らしやすい地域

#### まちづくりの方針

##### ●土地利用に関する内容

緑豊かな環境を保全し、地域の声を踏まえた、安全で豊かな暮らしを確保する土地利用を目指します。

##### ●まちづくりのポイント

- ・ 公民館や学校が立地するＪＲ六合駅周辺を地域の暮らしを支える生活拠点とし、活発な地域コミュニティ活動等を活かした、多世代が交流する暮らしやすいまちづくりを進めます。
- ・ 地域内の東西・南北を行き交う幹線道路や安全な歩行等を確保する生活道路、上水道等の都市基盤の整備を進め、生活利便性の向上と災害に強いまちづくりを進めます。
- ・ 北部の緑豊かな森林や河川の水辺環境など、身近な自然環境を大切に保全するほか、地域の歴史や文化を伝える伝統芸能を地域の財産として、次世代に継承していきます。
- ・ 安全、安心な暮らしのための、地域における支えあいの仕組みをさらに発展させ、包括的なサービスを提供できる体制を整えます。

| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括支援センター運営事業</li> <li>・ 急傾斜地崩壊対策事業負担金（姥ヶ谷地区）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後児童クラブ施設運営・施設整備事業</li> <li>・ 小・中学校便所改修事業（六合東小・六合中）</li> <li>・ 小・中学校受水槽・高置水槽改修事業（六合東小・六合中）</li> <li>・ 六合公民館施設管理運営事業</li> </ul>                                                                                                                                                                                              |
| 経済・産業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 農業農村整備事業（岸町地内用水路改修）</li> <li>・ 県営土地改良事業負担金（農地整備〔東光寺岸〕）</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 細島南部1号・6号線改良事業・東町東西1号線改良事業</li> <li>・ 東光寺谷川周辺道路改良事業</li> <li>・ 河川改修事業（道悦二丁目地内排水路）</li> <li>・ 細島排水区第1雨水幹線整備事業</li> <li>・ 都市公園安全安心対策緊急総合支援事業</li> <li>・ 県道島田大井川線配水管整備事業（上水道）</li> <li>・ 地下水源耐震化事業（上水道）</li> <li>・ 谷口道線改良事業</li> <li>・ 阿知ヶ谷東光寺線改良事業</li> <li>・ 東町御請線改良事業</li> <li>・ 道悦旭町線改良事業</li> <li>・ 六合駅駅前広場整備事業</li> </ul> |



## ⑥ 初倉地域

### 地域の概況

- ・市域の最南部に位置する初倉地域は、東名高速道路吉田インターチェンジや富士山静岡空港に接する、広域交通網の要衝にあたります。
- ・地域西部は牧之原台地の茶畑が広がり、北西部は大井川に接する緑地、北東部は、吉田インターチェンジに至る範囲に工業地が形成されています。
- ・地域の人口・世帯数は平成28年12月末時点で12,910人・4,862世帯となっています。人口の増減に波があり、人口減少率は比較的緩やかな地域となっています。

#### ■人口・世帯の状況



### 地域の主な資源

- ・愛宕塚古墳 ・種月院のナギ ・のたり松 ・牧之原大茶園 ・中條金之助影昭像
- ・おせん女踊り ・初倉レタス

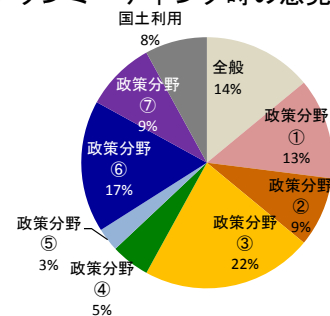
### 地域のニーズ

#### ■アンケートによる施策ニーズ

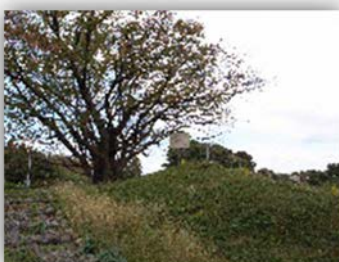
|   | 満足度<br>（「満足」＋「やや満足」） | 重要度<br>（「重要」＋「やや重要」） |
|---|----------------------|----------------------|
| 1 | ごみ・リサイクル対策           | 医療の充実                |
| 2 | 主要な道路の整備             | 高齢者の医療・介護・福祉の充実      |
| 3 | 健康の増進                | 健康の増進                |

平成28年度島田市総合計画市民意識調査（平成29年1月）

#### ■タウンミーティング時の意見傾向



島田市タウンミーティング 2017



▲愛宕塚古墳



▲のたり松



▲おせん女踊り

## 初倉地域のまちづくりの「テーマ」

### 緑と歴史が調和した、活発な交流を生み出す地域

#### まちづくりの方針

##### ●土地利用に関する内容

高い交通アクセス性を有しながら自然と歴史が調和する、快適な暮らしと人と人との活発な交流を生み出す土地利用を目指します。

##### ●まちづくりのポイント

- ・富士山静岡空港や東名高速道路など、広域交通拠点としての特性を活かした都市基盤の整備や企業・商業施設の立地を進めます。
- ・富士山静岡空港や東名高速道路のほか、市内中心部につながる幹線道路や、それらを補完する生活道路の整備を進め、交流と活力を生み出す都市基盤の充実を図るとともに、地域の安全性・快適性を確保します。
- ・牧之原台地に広がる茶畑の保全・整備を進めます。
- ・地域における支えあいの仕組みづくりや包括的なサービス提供、地域ぐるみの子どもへの教育支援、放課後の居場所づくり等により、多世代が安心して暮らせるまちづくりを進めます。
- ・社会教育施設を中心に、生活や教育・文化の交流拠点づくりを進めます。

| 分 野      | 地域で実施する主な事業                                                                                                                                                                                 |
|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 防災・福祉・健康 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・消防ポンプ車購入事業（湯日）</li> <li>・地域包括支援センター運営事業</li> </ul>                                                                                                  |
| 子育て・教育   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後児童クラブ施設運営・施設整備事業</li> <li>・教育環境適正化事業</li> <li>・小学校屋根改修事業（初倉小・初南小）</li> <li>・小・中学校便所改修事業（湯日小）</li> <li>・南部学校給食センター施設設備更新事業・施設改修事業</li> </ul>      |
| 経済・産業    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・茶園基盤整備事業（県営事業負担金）</li> <li>・県営土地改良事業負担金（南原坂部）</li> <li>・農業農村整備事業（旧初下横井西排水路）</li> <li>・農業振興事業（空港隣接地域賑わい空間創生事業：岡田原農道、本村カザシ水路ほか）</li> </ul>            |
| 環境・自然    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般廃棄物最終処分場返却のための覆土事業</li> <li>・住宅団地污水处理場管理運営事業</li> </ul>                                                                                           |
| 都市基盤     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活道路改良事業（沖田鎮守原線・吹木線ほか）</li> <li>・河川改修事業（犬ヶ沢・勝間田川ほか）</li> <li>・配水池耐震化事業（湯日）</li> <li>・地下水源施設耐震化事業（初倉浄水場ほか）</li> <li>・色尾大柳線改良事業 ・谷口中河線改良事業</li> </ul> |

## 4. 計画の推進に向けて

総合計画を推進していく上で、留意すべき基本的な考え方を以下に示します。

### (1) 選択と集中による効率的な施策・事業推進

今後の財政運営は一層厳しさを増すものと見込まれており、選択と集中の考え方に基づき、中長期的な視点からみた市の重要政策分野について重点的な対応を図り、効率的に施策・事業を推進します。計画期間においては、当市への人口定着及び市民の豊かな暮らしの実現に向けて、行政と市民や市民団体、企業等様々な組織・団体が一丸となり、地方創生に関する取り組みも重点的に推進していきます。

### (2) PDCA サイクルに基づく進行管理・評価

総合計画に基づいて実施される施策・事業について、PDCAサイクルに基づく進行管理を行います。

なお、評価にあたっては、最終的にどうなることを目指すかという「目標指標」を設定した進捗管理を行うとともに、施策・事業の担当課による評価だけでなく、市民や有識者などの複合的な視点を取り入れた評価を行います。

### (3) 健全で持続可能な市政運営

民間企業経営の考え方である「何のために行うのか」というビジョンの設定、継続的に成長していくための戦略作成、ヒト・モノ・カネ・情報という資源を効率的・効果的に使用し、持続的に発展させていく基本的な考え方を取り入れることにより、市民から信頼される市政運営の推進が図られます。そのため、行政運営の手法についても、民間企業の経営手法を参考とし、独自の行政経営手法を確立していきます。

## 5. 前期基本計画を推進するための財政計画

下表は、一般財源の収入（１．歳入）と経常的な経費（２．歳出）を見積もったものであり、歳入と歳出の差（投資的経費充当一般財源）と国・県補助金や基金、地方債を有効活用して、新規事業、ハード事業を展開していきます。

### (1) 歳入

(百万円)

| 区 分 (年度)                 | H30 (2018) | H31(2019) | H32(2020) | H33(2021) |
|--------------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 地方税                      | 14,090     | 14,061    | 13,941    | 13,941    |
| 地方交付税 <sup>1</sup>       | 6,508      | 6,308     | 6,008     | 6,008     |
| 地方特例交付金 <sup>2</sup>     | 79         | 79        | 79        | 79        |
| 地方譲与税 <sup>3</sup> ・税交付金 | 2,273      | 2,473     | 2,773     | 2,773     |
| 財産収入                     | 131        | 66        | 33        | 16        |
| 使用料及び手数料                 | 262        | 262       | 262       | 262       |
| 繰越金                      | 1,500      | 1,500     | 1,500     | 1,500     |
| 歳入合計                     | 24,843     | 24,749    | 24,596    | 24,579    |

※地方交付税には、普通交付税、特別交付税に加え臨時財政対策債発行可能額を含んでいます。

### (2) 歳出

(百万円)

| 区 分 (年度)         | H30 (2018) | H31(2019) | H32(2020) | H33(2021) |
|------------------|------------|-----------|-----------|-----------|
| 人件費              | 4,657      | 4,836     | 4,856     | 4,766     |
| 物件費              | 5,230      | 5,288     | 5,237     | 5,238     |
| 維持補修費            | 279        | 276       | 274       | 263       |
| 扶助費              | 2,455      | 2,469     | 2,485     | 2,501     |
| 補助費等             | 2,179      | 2,197     | 2,256     | 2,270     |
| 投資・出資・貸付金        | 250        | 302       | 522       | 827       |
| 公債費 <sup>4</sup> | 4,676      | 4,516     | 4,134     | 4,042     |
| 繰出金 <sup>5</sup> | 3,232      | 3,262     | 3,348     | 3,348     |
| 積立金              | 400        | 400       | 400       | 300       |
| 歳出合計             | 23,358     | 23,546    | 23,512    | 23,555    |

|                          |       |       |       |       |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|
| 歳入と歳出の差<br>(投資的経費充当一般財源) | 1,485 | 1,203 | 1,084 | 1,024 |
|--------------------------|-------|-------|-------|-------|

#### 用語解説

- 【地方交付税】地方団体間の財源の不均衡を調整し、一定の行政サービスを提供できるよう国から地方団体に配分されるもの
- 【地方特例交付金】国の制度変更等により、減収が生じた場合などに補填される交付金
- 【地方譲与税】本来地方に帰属すべき税源を、一旦国税として徴収したのち、地方団体に配分されるもの
- 【公債費】借り入れた地方債の元利償還金
- 【繰出金】一般会計と特別会計等との間において支出される経費

